

特238-593



1200501096556

238

593

農務省商工局
保險課長
村上隆吉著

簡易生命保險事業論



始



持238
593

1/15/4



言

商工局

寄贈本



簡易生命保險事業ハ生命保險事業ノ一種ナリ然レトモ簡易生命保險ハ普通生
 命保險ト異ル特質ヲ有スルヲ以テ其事業ノ方法ハ必シモ同一ナラス其經營ニ
 付テ特ニ之ヲ講究スル必要アリ抑モ簡易生命保險ハ最近ニ開始セラレタルモ
 ノナレトモ其發達顯著ニシテ其效果ノ偉大ナルモノナリ即チ獨逸ノビスマー
 ク公カ極力強制労働保險ノ制定ニ努メタルニ對シ英國ノグラッドストン氏カ
 熱心簡易生命保險ノ實施ニ悉シタルトハ兩偉人カ社會組織ノ缺點ニ注目シ下
 級人民ノ地位ノ改良ニ關スル一大政策ヲ樹テタルノ着眼ニ於テハ共ニ多大ノ
 尊敬ヲ博スヘキモノナリ論者曾テ明治三十六年始メテ保險行政事務ニ關與シ
 我邦ノ各地方ニ於ケル所謂類似保險事業ノ調査ニ從事スルニ當リ其惡弊ノ存
 スル所ヲ矯メ適切ナル生命保險事業組織ヲ考究スルノ必要ナルコトヲ深ク感
 シタリ然シテ爾後保險法研究ノ歩ヲ進ムルト共ニ此希望ヲ滿サンカ爲メニハ

簡易生命保險事業ノ實施ニ如クコトナキヲ思ヒ又勞働保險ノ調査ニ關與スルニ至リテモ亦此事業ノ必要ヲ信スルノ念ヲ堅フシタリ其後明治三十九年ニ至リ政府ノ命ヲ受ケテ伯林ニ於ケル第五回生命保險萬國會議ニ出席シテ簡易保險ニ關スル各國學者ノ論議ヲ與リ聞クヲ得テ且ツ其途次英米獨ニ於ケル簡易保險事業ノ一斑ヲ視ルト共ニ此事業ハ我邦ノ事情ニ照シテ最モ緊要ニシテ速ニ之ヲ實施セサルヘカラサルモノナルコトヲ益々確信スルニ至レリ然シテ此事業タルヤ下級人民ノ地位改良ニ關スル經濟上及社會政策上ノ一大問題ナルカ故ニ慎重ナル研究ヲ爲サンコトヲ欲スレトモ我邦ニ於テハ此種ノ研究ノ公表サレタルモノ殆ント全クナキノミナラス外國ニ於テモ此事業ニ關スル特別ノ立法例、學說、統計及著書等ノ參考ニ資スヘキモノ甚タ少シ固ヨリ論者ノ寡聞ノ致ス所ナリト雖トモ微力ニシテ多數ノ材料ヲ蒐集スルヲ得ス僅ニ保險ニ關スル一般ノ著書及統計並ニ簡易生命保險ニ關スル二三ノ學說ヲ讀ンテ漸ク本論ヲ草スルノ止ムヲ得サルニ至リシナリ故ニ論者ノ菲才ニシテ此一大社會政策ヲ論スルノ不遜ニ過クルハ固ヨリ之ヲ信スト雖トモ唯一點ノ信念ノ存スル

所ヲ述ヘテ世上識者ノ一顧ノ榮ヲ擔フコトヲ得ハ誠ニ幸甚トスル所ナリ

明治四十一年一月

村上隆吉識

簡易生命保險事業論目次

緒言

第一章 名稱

簡易生命保險—小口生命保險—無診查保險—人民保險—工業保險

第二章 沿革

濫觴—葬祭俱樂部—工業保險—死亡金庫—人民保險

第三章 簡易生命保險ノ意義

保險契約者—保險金額—保險料—無診查—集金

第四章 簡易生命保險事業ノ效果

生命保險ノ必要—下級人民ニ對スル生命保險—間接ノ效果

第五章

簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル比較

保險金額—最高制限—算定方法—削減期間、保險料—保險料額—支拂時期—支拂方法、無診査—マサチユセツ州法律—視診—メヂカル、インスペクター、死亡表—國民死亡表—選擇死亡表、保險金受取人、被保險者

第六章

簡易生命保險ノ勞働保險ニ對スル比較……………二一

事業ノ主體—職業組合—疾病金庫—保險業者—勞働保險監督廳—普通保險會社—官業、事業ノ性質—強制ト任意—官營ト私營、被保險者ノ範圍—災害保險、疾病保險及老廢保險ノ被保險者—工業保險ノ被保險者—簡易保險ノ被保險者、保險種類ノ差—災害、疾病及老廢保險ト生存、死亡及生死混合保險、保險料ノ負擔—企業者—勞働者—國庫—下級人民、勞働保險ト簡易保險ノ併行

第七章

簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點……………三二

性質上ノ弱點ノ存在、死亡率ノ高度—事業ノ性質上—事實上—獨逸ニ於ケル事實—米國ニ於ケル事實、保險料ノ高價—純保險料—死亡率ノ狂ヒノ爲メニスル附加保險料—營業費ノ爲メニスル附加保險料—保險料ノ比較、營業費ノ多額、失效契約ノ多大—保險料不拂ニ因ル失效—失效契約多大ノ原因—多大ノ事實—失效ニ因ル損害—保險契約者ニ與フル損害—保險者ニ與フル損害、保險金削減期間—其弊害、代理店組織ニ基ク不便、被保險者ノ地位ノ劣弱

第八章

外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ發展……………五三

世界ニ於ケル簡易生命保險事業ノ分布—英米獨ニ於ケル事業ノ狀況—英米獨ニ於ケル簡易生命保險保險料—米國工業保險契約總額増加ノ狀況—獨逸人民保險新契約高増加ノ狀況

第九章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ集中……………五七
事業集中ノ必要ノ理由―事業集中ノ事實―英米獨ニ於ケル狀況

第十章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ組織……………六三
私立會社―普通簡易生命保險會社ノ兼業、官業組織―英國郵便保險―瑞西郵便鐵道保險―新西蘭養老金制度、其他ノ制度―在伯林ウイールヘルム皇帝救恤基金―瑞西ニ於ケル保險料補助

第十一章 外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關スル法令……………六九
英國―生命保險會社條例―フレンドリー、ソサイエティー條例―コレクティング、ソサイエティー及工業保險會社條例、米國―マサチユセツツ州法律、獨逸―保險契約法草案
外國ニ於ケル簡易生命保險事業改良意見……………七七

第十三章 我邦ニ於ケル小額生命保險思想ノ普及……………九六
生命保險思想ノ根本―キルド―葬祭俱樂部―死亡金庫―契―講―共濟保險―其盛況―其弊害―下級人民ノ生命保險思想―簡易生命保險事業ノ基礎

第十四章 我邦ニ於ケル勞働問題……………一〇五
勞働者ノ地位ノ改良、他働的手段―有形―アルバイター―コロニー―エルホールングス、ハウス―菜園―無形―強制勞働保險、自働的手段―職工消費組合―職工貯金組合―職工共濟組合―工業保險―簡易保險

第十五章

簡易生命保險事業實施ノ必要……………一〇一

生命保險ノ必要—下級人民ニ對スル簡易保險事業ノ經濟上ノ必要—賃銀勞働者ニ對スル社會問題上ノ必要—一般下級人民ニ對スル社會政策上ノ必要

第十六章

我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險事業ノ弱點……………一二六

普通生命保險事業ニ對スル抵觸—保險金額—保險料支拂ノ方法、普通生命保險事業トノ競爭—保險料—無診査—不健康體ノ集團—競爭ノ困難、其他ノ弱點—死亡表ノ不完全—死亡率ノ高度—不可爭條項ニ關スル疑問—保險料ノ高價—保險料徵收ノ困難—被保險者ノ地位ノ不定—契約失效ノ多大—人意的危險ノ多大—代理店ノ弊害—被保險者ノ保險思想

第十七章

我邦ニ於ケル簡易生命保險事業ノ計畫……………一五〇

計畫ニ對スル批評、保險金額ノ最高限—保險金ノ算定方法—保險料ノ高價—團體契約—保險金削減期間—災害ニ因ル死亡—保險料支拂ノ時期—保險料支拂ノ方法—集金—保險料ノ算定—無診査—死亡表—失效豫防—失效救濟—營業費ノ節約—其他

第十八章

結論……………一六四

官營論、所謂官業組織、特種會社

第一章 名稱

簡易生命保險トハ普通ノ生命保險ニ對スル名稱ナリ保險契約締結ノ方法比較的簡易ナリトノ理由ニ依リ簡易生命保險若クハ簡便生命保險ト名ケ或ハ其保險金額カ普通生命保險ニ對シ比較的小額ナルヨリ小口生命保險若クハ小額生命保險ト稱シ或ハ被保險者ノ身體ニ對シ醫的診査ヲ行ハストノ理由ニ依リ無診査保險トモ云フ獨逸ニ於テハ中流以下一般多數ノ人民ノ爲ニ行ハル、ト云フ主旨ニ依リ之ヲ人民保險ト稱シ又強制ノ方法ニ依ラスシテ勞働保險ノ效果ヲ舉クルモノナリトノ理由ヲ以テ私營勞働保險ト名ツク英米ニ在リテハ此種ノ保險ハ一般ニ工業勞働者ニ對シテ行ハル、ガ故ニ工業保險ノ稱アリ然シテ本論ニ於テ簡易生命保險ト爲シタルハ此名稱ガ我邦ニ於テ最モ通俗ニ用ヒラレ居ルヲ信シタレハナリ

簡易生命保險ハ最近ニ發達シタル生命保險ノ一種ナリ其公ニ研究セラレタルハ千八百五十三年英國議會ニ於テ討議セラレタルヲ嚆矢ト爲スガ如シ然シテ事業ガ實施セラレタルハ英國「ブルデンシアル」生命保險會社カ工業保險ノ名稱ヲ以テ千八百六十四年ヨリ之ヲ經營シタルヲ以テ始トス米國ニアリテハ千八百七十四年「ブルデンシアル」及「メトロポリタン」兩生命保險會社、獨逸ニアリテハ千八百八十二年ニ至リテ「フジードリヒ、ウキルヘルム」生命保險會社カ此事業ヲ開始セリ始メ英國ニアリテ下級人民殊ニ勞働者カ平生貯蓄ノ餘裕ナクシテ一旦死亡シタル場合ニ於テ其葬式費用ヲモ支辨スル能ハサル窮狀ヲ救濟セン爲メ相互ノ方法ヲ以テ所謂葬祭俱樂部ナルモノヲ設立シタルコト是レ今日ノ工業保險ノ濫觴ナルカ如シ此葬祭俱樂部ハ幾多ノ經驗ト失敗トヲ重テタル後所謂友愛組合フレンディン、フレイニエ、フレイニエトナリ更ニ工業保險インダストリアル、インシュランストナリタルモノ、如シ獨逸ニアリテモ學者ハ

所謂人民保險ノ起源ハ死亡金庫ステルベンカウセニアリト云フ蓋シ死亡金庫ハ今日モ尙ホ多ク存在スト雖トモ其支拂金額ハ少キニ失シテ時トシテハ埋葬費ニモ足ラス又其業務ノ執行ハ十分ナル學理的基礎ヲ有セス其成績佳良ナラサルヲ以テ漸次人民保險ノ發達ヲ見ルニ至リタルカ如シ現ニ事業ノ範圍比較的廣大ナル死亡金庫ニアリテハ組織ヲ改メテ相互會社ト爲シ專ラ所謂人民保險ヲ營ミ居ルモノアルナリ

斯ノ如ク簡易生命保險ハ一種ノ生命保險ニ外ナラサレトモ專ラ普通生命保險ノ恩澤ニ浴シ能ハサル下級人民ノ需用ニ應スル爲メ殊ニ其死亡ノ場合ニ於テ埋葬費用ヲ得セシメンカ爲メ先ツ死亡保險トシテ開始セラレ最近三十年間ニ於テ著シキ發達ヲ爲シタルモノナリ然シテ今日ニアリテハ簡易生命保險ハ單ニ死亡保險ノミナラス生存保險ニ付テモ亦行ハル殊ニ小兒ノ保險ノ如キ其最も重要ナル種類ノ一タリ

我邦ニ於テハ普通生命保險事業モ僅ニ明治十四年始メテ實施セラレタルノミニシテ簡易生命保險ハ未タ之ヲ開始シタルモノナシ唯明治三十五年及三十六

年ノ交二三ノ生命保險會社カ之ヲ兼業センコトヲ出願シ又同三十九年末ニ於
テ某簡易生命保險株式會社ノ設立ニ付免許ヲ申請シタルモノアレトモ未タ營
業ノ免許ヲ得タルモノナシ

第三章 簡易生命保險ノ意義

簡易生命保險ハ賃銀勞働者若クハ一定シタル少額ノ俸給ニ衣食スル者ニ對ス
ル一種ノ生命保險ナリ其特色トスル所種々アレトモ重ナルモノヲ擧クレハ保
險金額ヲ比較的小額ト爲シ從テ些少ナル保險料ヲ支拂ヒテ生命保險ニ加入ス
ルコトヲ得セシメ其保險料ノ支拂ニ付テモナルヘク之ヲ容易ナラシメンカ爲
メ週拂若クハ月拂ノ方法ニ依リ一年度ノ保險料ヲ多クノ回數ニ分割シテ之ヲ
支拂ハシメ且ツ適當ナル時期ニ於ケル保險料ノ支拂ヲ過タサラシムル爲メ保
險者ヨリ集金人ヲ差出シ保險契約者ノ住所ニ就キ之ヲ徵收セシムルヲ原則ト
ス又契約ノ締結ニ當リテモ醫師ノ精密ナル身體診査ヲ必要トセサル等締結ノ
手續ヲナルヘク簡易ナラシムルニ努メ其他長期ノ保險料支拂ノ負擔ニ堪ユル
能力ヲ有スルヤ否ニ付テモ其辨識力ノ不充分ナル社會ニ對スルモノナルカ故
ニ先ツ其支拂ヒ得ヘキ保險料額ニ付決定ヲ爲サシメ其申込タル保險料ニ對シ

之ニ相當スル一定ノ保險金額ヲ契約スルコト例ハ三十歳ノ被保險者ニシテ毎週五仙ノ保險料ヲ支拂フモノニ對シ六十七弗ノ死亡保險金額ヲ契約スルカ如キ方法ヲ採ルナリ即チ之ニ依テ多額ノ保險料ヲ支拂フコト能ハサルカ爲メ普通生命保險事業ニ加入スル能ハサル社會ノ下級人民ヲシテ生命保險ノ恩澤ニ浴セシメントスルモノナリ然シテ其保險ノ種類ハ死亡保險ヲ主トスレトモ今日ニアリテハ婚資保險、徵兵保險ノ如キ普通ノ生存保險ヲモ營ムナリ又簡易生命保險事業ハ獨逸ニ於ケル「ギルド」死亡金庫及職業組合ノ事業ト性質ヲ異ニシ英國ニ於ケル「フレンドリー、ソサイエチー」及「コレクチング、ソサイエチー」等ニ同シカラス簡易生命保險ハ生命保險ノ數理的基礎ニ其根據ヲ置クコト普通生命保險ト異ルコトナシ唯其一ノ變態ニ過キス然シテ簡易生命保險カ普通生命保險ニ對シ如何ナル特色ヲ有スルカニ付テハ後ニ第五章簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル特色ノ題目ノ下ニ詳ナリ

第四章 簡易生命保險事業ノ效果

簡易生命保險ハ比較的少額ノ俸給ニ衣食スル者並ニ賃銀勞働者ニ對シ最モ重要ナル社會事業ナリ生命保險カ人生ニ如何ニ必要ナルカニ就テハ爰ニ之ヲ絮説スルコトヲ要セサルヘシ或ハ生命保險ハ人ノ生活ニ於テ衣食住ニ次クノ必要事項ナリト云ヒ或ハ生命保險事業ノ盛否ハ其國ノ文野ヲトスルニ足ルト稱セラル、ニ徴シテモ亦自ラ明ナルベシ蓋シ人ハ死亡セザル能ハス又老衰セサル能ハス之ニ對スル善後ノ計ニシテ安全且容易ナルモノハ生命保險ニ如クモノナシ然レトモ下級人民ニアリテハ其所得ノ金額ハ僅ニ現在ノ必要ヲ滿スニ足ルノミニシテ將來ノ計ヲ爲スノ餘裕極メテ少シ故ニ其一部ヲ貯蓄シ普通生命保險ニ於ケル比較的多額ノ保險料ニ之ヲ充ルハ頗ル困難ナリ又其所得ハ日、週若クハ月等其間隔ノ比較的短少ナル一定ノ時期ニ於テ之ヲ受クルノミナラス其教育上ノ地位モ亦劣等ニシテ貯蓄ノ思想ニ乏シキカ故ニ其幾分ヲ貯蓄シ

テ年一回、二回若クハ四回ニ纏メテ之ヲ保險料トシテ支拂フコトハ實情ニ於テ
殆ト望ミ難シ加之下級人民ハ四圍ノ經濟情況ニ因リ疾病若クハ傳染病ニ罹ル
虞多ク又災害ニ遭遇シ易シ且勢ヒ不良ナル生活狀態ニ甘セサルヘカラサル地
位ニアルカ故ニ普通生命保險ニ於ケル保險者ハ之カ加入ヲ拒絶スルノ傾向頗
ル大ナリ即チ此等ノ事情ニ依リ下級人民ハ普通生命保險事業ノ恩澤ニ浴スル
コト能ハス死亡若クハ老衰ニ對シテ善後ノ計ヲ爲スコト能ハス空ク悲惨ナル
運命ヲ甘受セサルヘカラサル境遇ニアルモノナリ此社會組織上ノ一大欠缺ヲ
救ハンカ爲メニ簡易生命保險事業ハ起レリ之ニ依リテ下級人民ハ或ハ葬式費
用及最後ノ治療費用ヲ得ヘク或ハ遺族ノ焦眉ノ生活費ニ應スルコトヲ得ヘク
或ハ負傷若クハ老衰ニ依リ自活スルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ年金
若クハ養老金ノ支拂ニ依リ餘生ヲ樂ムコトヲ得ヘシ然シテ事業ニ伴フ結果ト
シテハ之ニ依リ自治ノ精神及貯蓄ノ氣風ヲ養成セシムヘク又飲酒賭博並ニ浪
費ノ惡弊ヲ減少セシムヘシ即チ精神上及物質上ニ於テ不良ナル狀態ニアル下
級人民ヲシテ自ラ開發改善セシメ從テ國家社會ニ多大ノ效果ヲ致スモノナリ

獨逸ニ於テビスマーク公ノ制定シタル強制勞働保險法カ勞働政策及工業政策
上偉大ノ功績ヲ發揮シ居ルト共ニ人民保險カ相伴フテ著シキ發達ヲ爲シタル
ヲ見又英國ニ於テグラッドストン氏カ下級人民ニ對スル社會政策トシテ工業
保險ノ實施ヲ主張シ爾後英米ニ於ケル此保險事業カ驚クヘキ發展ヲ爲シタル
コトヲ知ルモノハ誰レカ簡易生命保險事業ノ效果ヲ疑ハンヤ然シテ後ニ第八
章外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ發展ニ述フルカ如ク此事業ハ三四十年以
來然カモ最近十年間ニ於テ長足ノ發達ヲ爲シ殊ニ歐米ニ於テ國運駸々タル國
ホト此事業盛大ニシテ且其進歩ノ著大ナルヲ知ラハ豈之ヲ以テ偶然ノ結果ナ
リト爲スヲ得ヘケンヤ

第五章 簡易生命保險ノ普通生命保險 ニ對スル比較

簡易生命保險ノ特質ハ保險金額、保險料、死亡表及醫的診査等ノ問題ニ就テ存在ス次ニ此等ノ各項ニ付キ普通生命保險ト對照シテ其特色ヲ明ナラシメントス一、保險金額、簡易生命保險ハ専ラ下級人民ノ需要ニ應スヘキモノナルカ故種々ナル事情ニ依リ保險金額ニ付テモ普通保險ト異ル規定ヲ設クルコト尠カラス保險金額ノ最高制限、保險金額ノ算定方法並ニ保險金削減期間等ノ問題はナリ

イ、保險金額ノ制限、普通保險ニ於テハ比較的僅少ナル保險金額ニ付テハ契約ヲ締結セス又其最高金額ニ付テモ各保險者ノ事業ノ狀況ヨリ自ラ相當ノ制限ヲ設クルコト勿論ナリト雖モ其性質上ノ最高制限アルコトナシ然レトモ簡易保險ニアリテハ専ラ下級人民ノ需要ニ應スルモノニシテ下級人民

ノ要求スル金額ハ其經濟事情ニ照シテ自ラ制限アリ得ヘク又普通保險ニ比シ危險率大ナルヲ以テ其事業ノ性質上ヨリモ比較的少額ナル最高制限ヲ定ムル必要アリ故ニ獨逸ニアリテハ多數ノ會社ハ千五百馬克ヲ以テ最大限ト爲シ其制限最モ嚴ナルモノニアリテハ千馬克ヲ以テ限リ最モ寬ナルモノモ一萬馬克ヲ超ユルヲ許サス英國ニアリテハ其政府カ營ム簡易保險ニ付テハ十四歳以上六十五歳以下ノ人ノ生命ニ關シテハ五磅以上百磅以下ノ範圍内ニ於テ保險金額ヲ定メ並ニ八歳以上十四歳以下ノ小兒ノ生命ニ關シテハ五磅ヲ以テ制限ト爲セリ又米國ニアリテハ千九百三年ノ統計ニ依ルニ同年ニ於テ保險金ヲ支拂ヒタル總契約高ノ中ニ割三分ハ五十弗以下、一割五分ハ五十弗乃至九十九弗、三割九分ハ百弗乃至百九十九弗、一割九分ハ二百弗以上ナルヲ見ル此等ニ依テ見ルモ簡易保險ニ於テハ其保險金額ニ關シ確定シタル制限ナシト雖トモ自ラ大體ノ最高制限アルコトヲ認ムルニ足ル我邦ニ於テ計畫サレタルモノニアリテハ最モ嚴ナルモノ三百圓最モ寬ナルモノ五千圓ノ制限額ヲ定メタルヲ見ル

□、保險金額ノ算定、普通保險ニアリテハ保險契約者ハ先ツ保險金額ヲ定メテ契約ノ申込ヲ爲シ然ル後之ニ相當スル保險料額ヲ決定ス故ニ假令同一年齢ノ者カ同一ノ保險種類ニ付キ同一ノ保險金額ヲ申込ムトモ其保險料ハ必シモ同額ナラス例ヘハ一方カ比較的不健康體ナルトキハ他ノ一方ニ對スル保險料ニ幾分ノ割増ヲ爲シタルモノヲ以テ保險料ト爲シ契約ヲ締結スルコトアリ即チ保險金額ニ依リテ保險料ハ定マルナリ然ルニ簡易保險ニアリテハ保險契約者ハ下級ノ人民ニシテ生命保險ノ如キ長期ニ亘ルヘキ契約ヲ爲シ將來ニ於ケル保險料支拂ノ負擔ニ堪エ得ルヤ否等ノ辨識力乏シク殊ニ生活ノ餘裕極メテ少ナキモノナレハ其支拂ヒ得ル保險料ノ推定ニ關シテモ困難ヲ感スルモノナリ故ニ先ツ自己カ支拂フヘキ保險料額ニ付キ決心ヲナサシムル必要アリ然シテ其申込ミタル保險料額ニ依リテ保險金額ヲ定ムルヲ以テ便利ナリトス若シ普通保險ニ於テ割増保險料ヲ要スルカ如キ場合ニアリテハ保險料ヲ増加セスシテ保險金額ヲ削減スルノ方法ヲ採ルナリ即チ保險料ニ依リテ保險金額ヲ定ムルナリ例ヘハ米國メトロポリタン生命保險

會社終身保險週拂保險料三十歳ノ分ヲ見ルニ保險料五仙ニ對シ六十七弗十仙ニ對シ百三十四弗二十仙ニ對シ二百六十八弗五十仙ニ對シ六百七十弗ナリト爲スカ如キ是レナリ

ハ、保險金削減期間、簡易保險モ普通保險ト同シク死亡生殘ノ數理的基礎ヲ有スルモノナレトモ契約後比較的短期間内ニ濫リニ事故ノ發生スルコトアラハ其事業ハ危殆ヲ感セサルヲ得ス然シテ簡易保險ニアリテハ被保險者ノ身體ニ對シ醫的診査ヲ爲サス假令多少之ヲ行フコトアルモ到底普通保險ノ場合ニ於ケルガ如ク詳細ナルコトナシ故ニ動モスレハ事故發生ニ瀕シツツアル被保險者ニ關シ過ツテ保險契約ヲ締結スル處少カラス又簡易保險ハ道義上ノ地位劣等ナル人民ヲ以テ顧客トスルヲ以テ保險詐欺ニ罹ル危險亦大ナリ故ニ此等ノ性質上ノ缺點ヲ補ハンガ爲メ簡易保險ニアリテハ保險金削減期間ノ制ヲ定ムルヲ常トス即チ契約締結後幾何モナク一定ノ期間内ニ事故發生スルトキハ保險金ヲ削減シテ支拂フモノ是レナリ蓋シ此制度ニ依リテ醫的診査ノ節略ニ原因スル粗漏ナル契約締結ノ惡結果ヲ比較的有效ニ

回避シ得ヘク又契約締結後相當ノ期間内ニ於テ濫リニ事故ノ發生スルコト
 ナク平穩ニ繼續保險料ヲ支拂フモノハ善意ノ保險契約者ナリト推定スルヲ
 得ヘク從テ此制度ニ依リ保險金詐取ノ目的ヲ以テ契約ヲ締結セントスルモ
 ノヲ防クコトヲ得ヘキヲ以テナリ

然シテ保險金削減期間ノ規定ニ付テモ種々アリ獨逸ノ多數ノ會社ハ契約初
 年度内ニ死亡シタルトキハ保險金ヲ支拂ハス單ニ保險料ノミヲ拂戻シ第二
 年度内ニ於テハ保險金額ノ半額第三年度以後ニ於テハ全額ヲ支拂フナリ然
 レトモ此期間ヲ四年ニ延長スルモノアリ又初年度ニ於テモ保險金ノ一部ヲ
 與フルモノアリ英米ニアリテハ一般ニ比較的短少ナル削減期間ヲ定ム即チ
 契約締結後一年以内ニ事故發生スルトキハ保險金ノ一部分ヲ支拂ヒ一年以
 後ナルトキハ全額ヲ支拂フモノ多キカ如シ米國メトロポリタン生命保險會
 社ノ例ニ依レハ證券日附ヨリ六ヶ月以内ニ死亡スルトキハ保險金ノ四分ノ
 一六ヶ月以上一ヶ年以下ナルトキハ二分ノ一一年度以後ハ全額ヲ支拂フナ
 リ然シテ保險金削減期間内ト雖モ不慮ノ災害ニ依リテ死亡シタル場合ニハ

英米獨何レニアリテモ一般ニ保險金ノ全額ヲ支拂フモノ、如シ斯ノ如ク削
 減期間及ヒ削減方法ニ付テハ各國ノ事情ニ因リ種々體様アリト雖トモ簡易
 保險ニ於テハ其事業ノ性質上保險金削減期間ノ制度ノ必要ヲ認ムル點ニ於
 テハ相一致セルヲ見ル

**二、保險料 簡易保險ニアリテハ保險金額小ナルト共ニ其保險料モ亦少シ其
 他保險料支拂ノ時期及支拂方法ニ付テモ保險契約者ノ社會上ノ地位ニ適當セ
 シムル爲メ普通保險ニ於ケルヨリ異ル利便ヲ與ヘオルナリ**

イ、保險料額、米國ニアリテハ保險料ハ每週五仙乃至七十仙ヲ支拂フヲ常
 トス然シテ千九百三年ニ於テ發行セラレタル保險證券ニ就テ見ルニ其總數
 ノ三割六分ハ五仙證券、四割一分ハ十仙證券、二割二分ハ十仙以上證券ナリト
 ス之ニ依リテ見レハ保險料額ノ最高限ハ六十仙若クハ七十仙ナリト雖トモ
 其比較的多額ナルモノハ寧ロ例外ナリ前記ノ統計ニ依ルモ十仙以下ノ證券
 カ總數ノ七割七分ヲ占ムルヲ見ルヘク簡易保險ニ於ケル保險料カ一般ニ少
 額ナルヲ知ルニ足ルヘシ

□、保險料支拂ノ時期、歐米ニアリテハ賃銀労働者並ニ少額ノ俸給ニ衣食スル者ハ週拂ヲ以テ其報酬ヲ受クルヲ常トス然シテ此等ノ保險契約者ハ貯蓄ノ觀念ト貯蓄ノ餘裕ニ乏シキモノナルカ故ニ其收入アリタルトキニ保險料ヲ支拂ハシムルニアラサレバ到底保險料支拂ノ繼續ヲ望ムヘカラス故ニ英米獨何レノ國ニアリテモ簡易保險ニ於ケル保險料ノ支拂ハ週拂ヲ以テスルヲ原則トス稀ニ月拂ヲ以テスルモノアレトモ例外ニ過キス殊ニ一ヶ月以上ノ期間ヲ隔テ、拂込マシムル方法ヲ採ルモノアルコトナシ即チ普通保險ニアリテハ一年拂若クハ半年拂ヲ原則トシ例外トシテ三ヶ月拂ヲ認ムルノミニシテ其以外ノ分割拂ハ全ク之ヲ認メサルニ對照シテ著シキ差異アルヲ見ル元來週拂ノ方法ハ煩雜ナル手數ノ爲メ保險料ヲ高價ナラシムル弊アルモノナレトモ簡易保險ノ性質上必要ナル方法ニシテ此方法ニ依ラサル簡易保險事業ハ必ス失敗ニ終ルヘシトハ英米獨ノ學者カ其經驗ニ照ラシ之ヲ公言シテ憚ラサル所ナリ

ハ、保險料支拂ノ方法、普通保險ニアリテハ保險契約者ハ保險料ヲ保險者

ニ持參シテ支拂ハサルヘカラス即チ保險會社ノ本店支店若クハ代理店ニ之ヲ持參スルコトヲ要ス假令會社ヨリ集金セシムル慣習アル場合ニ於テモ集金人ノ來ラサル故ヲ以テ保險料支拂ノ責ヲ免ル、能ハストハ一般學者ノ認ムル所ナリ然レトモ簡易保險ニアリテハ保險契約者ハ下級人民ナルヲ以テ保險料ヲ會社ニ持參セシムルコトヲ望ム能ハス會社自ラ集金人ヲ派出シテ之ヲ徵集スルニアラサレハ保險料支拂ノ繼續ヲ期スヘカラス故ニ簡易保險ニアリテハ保險料集金ノ方法ヲ採ラサルトキハ保險料不拂ニ因ル契約ノ失効ヲ來タスコト頗ル多ク保險契約者及保險者双方ニトリテ不利益ナルノミナラス社會經濟上ニ於テモ亦之ヲ忌マサルヘカラス故ニ各國皆集金ノ方法ヲ用フルナリ殊ニ英國ニアリテハ千八百九十六年八月七日付法律第一條ニ依リ二十磅以下ノ保險金額ヲ契約スル工業保險事業ニ於テ本店所在地ヨリ十哩以上ノ距離ヲ有スルモノニ對シテ集金ノ方法ニ依リ保險料ヲ徵收スルコトヲ要ス且ツ其集金ハ二ヶ月以上ノ期間ヲ隔ツルコトヲ得スト爲セリ米國メトロポリタン會社ノ實例ニ依レハ保險契約者百分ノ九十九マテハ保險

料ヲ持參セス之ヲ徵集スル爲メ其住所ニ赴カサルヘカラス之カ爲メ米國內ニ於テ一萬二千人ノ集金人ヲ要スト云ヘリ斯ノ如ク集金ノ方法ハ亦營業費ヲ増加セシメ保險料ヲ不廉ナラシムル原因ヲ爲スモノナリト雖トモ事業ノ性質上亦止ムヲ得サルナリ

三、無診査、簡易保險ノ名稱ハ契約ノ締結ニ際シ醫的診査ヲ節略スルヲ以テ其手續簡易ナリトノ故ニ基ツクモノナリ又同シ理由ニ依リ之ヲ無診査保險トモ稱スルナリ即チ簡易保險ニアリテハ被保險者ノ身體ニ對シ醫的診査ヲ爲ササルヲ以テ其特色ト爲ストハ一般ニ稱セラル、所ナリ是レ下級人民ノ如キ醫的診査ヲ欲セサル傾向大ナルノミナラス保險者モ其手續ノ煩ヲ避ケント欲スルヲ以テナリ加之簡易保險ニアリテハ多數ノ被保險者ヲ團體的ニ契約スルコト實際便ナルノミナラス且ツ事業ノ性質上ヨリスルモ其必要アリ斯ノ如キ場合ニ多數ノ被保險體ニ對シテ詳細ナル醫的診査ヲ行フコトハ到底望ムヘカラサレハナリ然レトモ簡易保險ニアリテハ醫的診査ハ絕對ニ不必要ニシテ且ツ全ク之ヲ行ハサルモノナリト云フコト能ハス(マサチユセツ)州ノ如キハ法律ヲ以

テ醫的診査ヲ爲サスシテ生命保險契約ヲ締結スルコトヲ禁止シ簡易保險ニ付テモ之カ例外ヲ認ムルコトナシ又獨逸ニアリテモ多數ノ會社ハ保險金額ノ少額ナルモノニ對シテハ醫的診査ヲ爲サ、レトモ比較的多数ナルモノ例ハ千馬克以上ノ契約ニ付テハ醫的診査ヲ行ヒ又米國ノ(メトロポリタン)保險會社ニアリテモ三百弗以上ノ契約ニ付テハ醫的診査ヲ爲スナリ又保險金額カ比較的小ナル簡易保險契約ニ付テモ被保險者ノ身體ノ健否ニ付キ全ク何等ノ手段ヲモ採ラサルモノニアラス少クトモ視診其他ノ方法ニ依リ危險ナル被保險體ノ加入ヲ避クルニカムルナリ例ハ(メトロポリタン)保險會社カ三百弗以下ノ契約締結ニ際シテ用フル「メヂカル、インスペクター」ノ方法ノ如キ比較的詳細ナルモノナリ即チ會社ノ醫師ハ被保險者ニ直接ニ面會シ重要ナル事項ニ付テハ質問ヲ試ミ其答辯ヲ一定ノ用紙ニ記入シ且ツ之ニ對シ自己ノ判斷ヲ附記セサルヘカラス且其狀況ニ依リテハ被保險者ノ身體ノ一部若クハ全部ニ付テ醫的診査ヲ行フヘキ義務ヲ負フナリ又同會社ニアリテハ此「メヂカル、インスペクター」ノ方法ヲ採ルノ外尙ホ被保險者ノ健康ニ付キ代理店主ニモ報告ヲ提出セシムル等

不健康體ノ混入ニ付キ慎重ナル注意ヲナセリ故ニ簡易保險ニアリテモ無診査ハ絶對ニアラス從テ無診査保險ノ名稱ノ爲メ事實ヲ誤解セサルヲ必要トス

四、死亡表 普通保險ニアリテハ醫的診査ヲ行ヒ生命保險契約ヲ締結スルニ相當ナル被保險體ヲ選ヒ之ニ就テ契約スルカ故ニ事業ノ基礎タル死亡生殘表ニ付テハ所謂選擇死亡表ヲ用フルナリ然レトモ簡易保險ニアリテハ普通保險ニ於ケルカ如キ醫的診査ヲ行ハス故ニ比較的の不健康體ノ混入多キヲ免レサルナリ故ニ其事業ノ基礎トシテ國民死亡表ヲ用フルヲ常トス即チ生命保險契約ヲ締結スルニ適當ナル健康狀態ニアルヤ否ヲ問ハス人民一般ノ死亡生殘ノ狀況ヲ基礎トシテ死亡率ヲ計算シタルモノヲ用フマーネス氏カ獨逸ノ狀況ニ付テ云フ所ニ依レハ國民死亡表ニ於ケル死亡率ハ選擇死亡表ニ於ケルヨリ百分ノ四乃至百分ノ八高キヲ見ルト云フ然レトモ簡易保險ニアリテハ必ス國民死亡表ヲ用ヒ選擇死亡表ヲ用フルコト絶對ニナシト云フ能ハス例ハ米國メトロポリタン會社ノ經營スル工業保險ノ如キハ亞米利加經驗表ナル選擇死亡表ヲ其基礎ト爲セリ尤モ此點ニ付テハ此會社ハ同時ニ此死亡表ヲ基礎トセル普通

保險ヲ營業シ居ルモノナルカ故ニ同一ノ死亡表ヲ用フルコト營業上ノ便宜ナルコトノ事業アルヲ忘レテ之ヲ論スル能ハサルナリ

五、保險金受取人 簡易保險ニアリテハ普通保險ト異リ特ニ受取人ニ付制限ヲ爲スモノアリ元來我商法ニアリテハ第四百二十八條ニ於テ生命保險ニ於ケル保險金受取人ハ被保險者相續人又ハ其親族ナルヲ要スト云フカ如キ制限ヲ設クト雖トモ外國ニ於テハ殆ント其例ヲ見ス然シテ英國ニアリテハ契約成立當時ニアリテ金錢ニ見積リ得ヘキ被保險利益ノ存在ヲ必要トスルノ外受取人又ハ受取ノ權利ノ讓渡等ニ付普通生命保險契約ニ關シ何等ノ制限ヲ設クルコトナシ然ルニ工業保險證券ニアリテハ會社ハ最近ノ親族ニ限り保險金ヲ支拂フヘキ旨ヲ定メ又ハ證券ノ讓渡ヲ禁スル等ノ約款ヲ設クルモノ多キカ如シ是レ下級人民ニ對シ最モ慮ルヘキ保險詐欺ヲ防カントノ主旨ナルヘシ

六、被保險者 簡易保險モ亦普通保險ト同シク一般ノ男女ノ生命ニ付テ保險契約ヲ締結スルモノナリ然レトモ米國ニ於ケル工業保險ニアリテハ被保險者ハ賃銀勞働者ナリトシテ之ヲ以テ普通保險トノ差異ノ一トシテ論スルモノサ

へアリ然レトモ是レ米國ニ於ケル工業保險ノ事業上ノ結果ニシテ之ヲ以テ簡易保險ノ特質ナリト云フ能ハス簡易保險ハ單ニ賃銀労働者ニ限ラス一般ノ下級人民ニ對シテ行ハルヘキモノナリ

尙ホ簡易保險ト普通保險トノ差異ヲ論スルモノアレトモ主要ナルモノハ前述ノ諸點ニアリト信ス尙第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ト對照スルニ於テハ益々簡易保險ト普通保險ノ差異ヲ明ニスルコトヲ得ヘシ

第六章 簡易生命保險ノ労働保險ニ對スル比較

簡易生命保險ハ英米ニ於テ工業保險ト稱セラル、程ナルヲ以テ之ヲ獨逸ノ労働保險ニ對照シ兩者ノ差異ヲ述ヘントス特ニ我邦ニ在リテハ労働保險ニ付テハ主務官廳ニ於テ調査ニ着手シツ、アリ又簡易保險ニ付テハ私立會社ニ其計畫アリ然シテ共ニ其内容ハ未タ公表セラレサルヲ以テ世人動モスレハ兩者ヲ混同スル虞ナキニアラス故ニ爰ニ一言ノ論及ヲナスモ強チ不要ノ事ニアラサルヲ信ス

一、事業ノ主體、獨逸ノ労働保險ハ労働者ニ對スル災害、疾病、及老癯ニ關スル保險ヲ行フモノナリ然シテ其事業ノ主體ハ保險ノ種類ニ依リ各相異レルヲ見ル即チ一般労働者ニ對スル災害保險ハ企業者カ特ニ此目的ノ爲メニ相互的ニ組織シタル職業組合ニ依リテ經營セラレ官公署ノ労働者ニ對スル災害保險ハ之カ爲メ特ニ設置セラレタル官設ノ機關ニ依リ執行セラル又疾病保險ヲ營ム

モノハ地方疾病金庫、職業疾病金庫等各種ノ疾病金庫是レナリ又老癈保險ハ之ヲ事業ノ目的ト爲セル保險業者ニ依リテ經營セラル、ナリ就中職業組合ノ如キ法律上ノ義務トシテ災害保險ヲ經營セサルヘカラス然シテ勞働保險事業ニ關シテハ勞働保險監督廳アリテ特ニ普通保險事業ト區別シテ之ヲ監督スルナリ然ルニ簡易保險ニアリテハ主トシテ私立保險會社カ之ヲ營ムヲ見ル獨逸ニアリテモ普通生命保險會社ノ之ヲ兼營スルモノ多ク其事業ハ私營保險監督廳ノ監督ニ屬ス又英米ニアリテモ簡易保險事業ノ主體ハ普通保險事業ト異ルコトナシ然レトモ簡易保險事業ノ主體ハ必シモ私立會社ニ限ルモノニアラズ瑞西ノ一部ニ於ケル如ク公共團體ノ共助ニ依リテ行ハル、モノアリ英國ニ於ケル郵便貯金局ノ保險事業ノ如キ政府カ之ヲ營ムモノアリ又新西蘭ニ於ケル如ク政府カ救恤的ニ之ヲ行フモノアリ故ニ簡易保險事業ハ決シテ性質上私營保險會社ニ於テ營マルヘキモノナリト云フコトヲ得サルナリ猶此點ニ付テハ後ニ第十章外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ組織ノ項ニ述フル所ヲ參照センコトヲ望ム

二、事業ノ性質 勞働保險ハ法律ヲ以テ強制シテ執行ス今其法律ヲ舉クレハ即チ千八百八十四年及其後ノ各種ノ災害保險法、千八百八十三年ノ疾病保險法及千八百八十九年ノ老癈保險法是レナリ然シテ其強制ノ程度ニ付テハ保險ノ種類ニ依リ差アリト雖トモ例ハ工業災害保險法ニヨレハ一定ノ職業ニ從事スル工業勞働者之ニ準スヘキ者ハ法律上必ス勞働保險ニ加入セサルヘカラス又此等ノ勞働者ヲ使役スル企業者ハ法律上ノ義務トシテ保險料ノ全部ヲ負擔セサルヘカラス故ニ此等ノ事情ニ依リ或ハ獨逸ノ勞働保險ハ保險ニアラスト云ヒ或ハ勞働保險ニ於ケル保險料ハ租稅ナリト稱スルモノアルナリ然ルニ簡易保險ニアリテハ其契約ハ全ク任意ナリ之ヲ締結スルト否トハ當事者ノ自由ニシテ法律ニ依リ強制セラル、コトナキハ普通保險ト異ルヨトナシ新西蘭ニ於ケル千八百九十八年ノ法律ノ結果ニ依ル養老金制度ノ如キ其國ニ住スル一定ノ人民ニ對シ悉ク政府ヨリ養老金ヲ支給スルモノニシテ或ハ此制度ハ保險ニアラストスルヲ以テ正當ナルヤモ知レスト雖トモ兎ニ角之ヲ簡易保險ノ一種ナリトスルモ毫モ強制ノ性質ヲ帶フルモノニアラス寧ロ國家ノ救恤制度ナリ

又獨逸ノ勞働保險ハ官營ナリト云ヒ簡易保險ヲ以テ之ニ對シテ私營勞働保險ト稱スルモノアルコト前述シタルカ如シ然レトモ獨逸ニ於テ官營トハ所謂「エツフェントリッヘ、ベトリープ」ニシテ此文字ノ意義ハ政府カ事業ノ主體タル場合ヲ指スト共ニ亦法令ニ依リテ強制スル場合ヲモ含ムナリ故ニ勞働保險ハ官營ナリト云フハ事業ノ主體カ政府ナリトノ主旨ニアラスシテ法令カ強制スト云フ意味ニ於テ之ヲ云フナリ然カモ勞働保險ノ種類ニヨリ必シモ同一ニ強制的ナラス其中最モ強制ヲ認ムル災害保險ノ如キ其事業ノ主體ハ主トシテ職業組合ニシテ政府ニアラス我邦ニ於テ今日官營ト稱スルハ政府ノ收入ヲ得ル目的ヲ以テ政府自ラ事業ノ主體トシテ之ヲ獨占的ニ經營スルノ意味ナルニ比シテ大ナル差アルコトヲ注意セサルヘカラス簡易保險ヲ私營保險ト云フモ實ハ任意ヲ意味スルニ外ナラス事業ノ主體ハ私立會社ニ限ラス政府モ亦之ヲ營ムモノアルコト前述シタルカ如シ

三、被保險者ノ範圍、獨逸ノ勞働保險ニアリテハ其加入ヲ全然強制スルモノアリ或ハ特ニ其加入ヲ許スモノアリ又保險料ノ支拂ニ付テモ保險契約者カ其全部若クハ一部ノ支拂ヲ免ル、場合アリ或ハ企業者若クハ國家カ之ニ補助ヲ與フル場合アリ故ニ被保險者ノ範圍モ亦自ラ法律ニ依リテ制限セラル、ナリ即チ災害保險ニアリテハ工業、鑛業、工事、海事及農業ニ關スル勞働者及此等ノ事業ニ附屬スル職員ニシテ年給三千馬克以下ノモノ並ニ此等ニ準スヘキ小企業者ヲ以テ被保險者トナシ疾病保險ニアリテハ工業、鑛業、農業ニ關スル勞働者並ニ此等ノ事業ニ附屬スル職員、商業使用人若クハ官公吏員ニシテ年給二千馬克以下ノモノヲ以テ被保險者トシ老癈保險ニアリテハ一般勞働者ヲ以テ被保險者ト爲スナリ即チ職業ノ種類及從業者ノ地位等ヨリ一定ノ制限ヲ設ケ其範圍内ノ或者ハ之ニ加入スルヲ必要トシ其他ノ者ヲ加入スルコトヲ得セシムルト共ニ其範圍ニアラサルモノハ之ニ加入スル能ハサルコトヲ爲セリ現ニ災害保險ノ恩典ハ肉體的勞働者ノミ之ヲ獨占スヘキモノニアラス商業使用人等精神的勞働者モ亦之ニ均霑スヘキモノナリトノ議論近來ニ於テ盛ナルニ至レリ然ルニ簡易保險ニアリテハ普通保險ト同シク事業ノ性質ヨリモ又法文ノ規定ヨリモ其被保險者ニ付テ斯ノ如キ制限アルコトナシ唯英米ニ在リテハ簡易保險

ヲ以テ工業保險ト稱スルニ依リテモ知リ得ルカ如ク主トシテ製造及機械工業ニ從事スル労働者ニ對シテ行ハル、コト多シ米國ノホフマン氏ノ言ニヨレハ工業保險會社ノ活動スル場所ハ事實上人口稠密ナル大都市ニ限定セラルル合衆國ニ於テ三千百五十萬人即チ全人口ノ百分ノ三十八ハ人口四千人以上ノ大都市千四十九ノ中ニ住居シ其住民及附近ノ住民カ工業保險契約ヲ締結スルモノナリト云フ故ニ簡易保險ニアリテモ其被保險者ハ亦機械的労働者ニ限ルカノ如ク感セラル、虞ナキニアラスト雖トモ是レ米國ニ於ケル事實上ノ結果ニシテ簡易保險ノ性質ニ基クモノニアラスト現ニ獨逸ニ在リテハ一方ニ労働保險カ労働者ニ對シテ行ハル、ト共ニ他ノ一方ニ於テハ同時ニ任意ノ人民保險カ盛ンニ一般下級人民ニ對シテ行ハレ相抵觸セサルノミナラス寧ロ其進歩ハ相伴フカ如キ有様ナリ

四、保險種類ノ差、獨逸ニ於ケル労働保險ノ保險種類ハ災害保險、疾病保險及老癯保險是レナリ又災害保險ヲ分類スレハ工業災害保險、農業災害保險、海上災害保險並ニ工事災害保險トナル然シテ災害保險ニアリテハ不慮ノ災害ニ依リ

労働者カ死亡若クハ負傷シタル場合ニ疾病保險ニアリテハ労働者カ疾病ニ罹リタル場合ニ又老癯保險ニアリテハ労働者カ一定ノ老年ニ達シ若クハ癯疾トナリタル場合ニ於テ保險者ハ其義務ヲ履行スヘキモノナリ簡易保險ニアリテハ普通保險ト同シク被保險者ニ對スル死亡保險、生存保險若クハ其混合保險ヲ行フモノニシテ又小兒ノ死亡ニ關スル保險ヲモ營ム然レトモ其保險事故ハ常ニ人ノ生死ニ關スルモノニシテ労働保險ト全ク異ルツアヘル氏ノ言ニ依レハ英國ニ在リテハ工業保險ハ「フレンドリー、ソサイエチー」コレクチング、ソサイエチー及職工組合等ト共ニ労働保險ヲ組成スト爲スカ如シト雖トモ然カモ災害、疾病及老癯ニ關スル保險ハ主トシテ「フレンドリー、ソサイエチー」コレクチング、ソサイエチー及職工組合ニ依リ行ハル、モノ、如シ

五、保險料ノ負擔、獨逸ノ労働保險ニアリテハ保險料ノ負擔者ハ保險種類ニ依リテ異ル災害保險ニアリテハ保險料ハ全然企業者ノ負擔ナリ即チ千九百四年ノ統計ニヨレハ企業者ノ支拂ヒタル金額一億四千二百二十五萬餘馬克ナリ疾病保險ニアリテハ企業者及労働者ノ共同負擔トス即チ同年ノ統計ニヨレハ企

業者ハ七千九百四十一萬餘馬克労働者ハ一億七千二百五十六萬餘馬克ヲ負擔セリ又老癈保險ニアリテハ企業者及労働者ノ共同負擔ノ外ニ國庫ノ補助アリ即チ同年ノ統計ニヨレハ企業者ハ七千七百四萬餘馬克労働者ハ之ト同額並ニ國庫ハ四千五百二十七萬餘馬克ヲ支出セリ此等ニ依リテ見レハ労働保險ニアリテハ保險料ノ支拂ハ被保險者即チ労働者等ノミカ之ヲ負擔スルコトナキノミナラス却テ企業者ノミカ之ヲ負擔スルコト災害保險ノ如キモノアルコト並ニ其共同負擔カ如何ナル割合ヲ示シツ、アルカヲ知ルニ足ルヘシ然ルニ簡易保險ニアリテハ保險料ハ被保險者即チ下級人民自身ノ負擔ナリ若シ新西蘭ニ於ケル千八百九十八年ノ法律ニ基ク制度ヲ以テ簡易保險ナリトセハ被保險者ハ全ク保險料負擔ノ責任ヲ有セスト云フヘク其他瑞西ノ一部ノ制度ニ依レハ簡易保險ニ於ケル被保險者カ公共團體ヨリ保險料ノ補助ヲ受クルコトアルカ如キ例外ナキニアラスト雖トモ此等ノ事實ハ簡易保險ノ性質上保險料ノ負擔ハ保險契約者以外ノモノ、責任ナリトノ議論ヲ主張シ得ル材料トナルモノニアラス

以上述フル所ニ依リ獨逸ノ労働保險ト簡易保險トノ重ナル區別ヲ爲シ得タリト信ス兩者ハ斯ノ如ク其性質ヲ異ニスルモノナルカ故ニ獨逸ニ於テハ一方ニ労働保險ノ強制アルニモ拘ハラズ簡易保險モ亦盛ニ發達セルヲ見ル蓋シ労働保險ハ労働者ニ關スル社會政策上偉大ナル效果ヲ奏シ居ルモノナレトモ簡易保險ハ之カ爲メニ障害セラレサルノミナラス強制保險ノ結果下級人民ニ對シ大ニ保險思想ヲ鼓吹シタルヲ以テ労働保險ト相併行シテ簡易保險カ大ニ發達シタリトハ獨逸ノ學者ノ一般ニ認ムル所ナリ即チ其發達ヲ比較スレハ兩者相抵觸セス簡易保險ハ簡易保險トシテ著シク進歩シタルノ事實並ニ労働保險モ亦其領域ニ於テ著シク發達ヲ爲シツ、アルコト左表ニ依リテ知ルヲ得ヘシ

千九百三年

千九百四年

一年間ニ於ケル増加割合

疾病保險	一〇、九〇九、二八八	一一、四一八、四四六	、〇四六
災害保險	一七、九六五、〇〇〇	一八、三七六、〇〇〇	、〇二三
老癈保險	一三、五六七、二〇〇	一三、七五六、四〇〇	、〇一四
簡易保險契約件數	四、二九八、五七〇	四、七五八、一八〇	、一二八

第七章 簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點

簡易生命保險ハ特種ノ性質ヲ有スルカ故ニ其性質上ノ弱點ニ基キ事業ノ經營ニ付種々不便ヲ感スルモノナリ或ハ死亡率ノ高度ナルニ依リ或ハ保險料領收手續ノ煩雜ナルニ因リ保險料ハ比較的高價トナリ營業費ハ比較的多額トナルヘシ加之其被保險者ハ智識劣等ニシテ保險思想亦幼稚ナルカ故ニ此間ニ事業ヲ擴張シ簡易保險ノ效果ヲ擧クルニ頗ル困難ヲ感スルモノナリ殊ニ不都合ナル事業者カ此性質上ノ缺點ニ乘シテ不當ノ利得ヲ占メントシ其極此重要ナル社會的事業ノ眞價ヲ傷ケントスルモノナキニアラス從テ亦此等ノ弱點ヲ改良シ若クハ救濟シ事業ノ效果ヲ十分ニ擧ケシムル爲メ或ハ法令ノ規定セララルモノアリ或ハ改良意見ノ發表セラル、モノアリ故ニ本章ニ於テハ先ツ簡易生命保險事業カ其性質上免ル、能ハサル弱點ヲ説明セント欲ス尙本論ニ關シテ第十一章簡易生命保險ニ關スル外國ノ法令及第十二章外國ニ於ケル簡易生

命保險事業改良意見等ノ項ヲ參照セラレンコトヲ望ム

一、死亡率ノ高度、簡易保險ノ死亡率ヲ論スルニ當リテハ之ヲ二分チテ論セサルヘカラス簡易保險ハ普通保險ニ比シ其性質上死亡率カ比較的高キヤ否及簡易保險カ其基礎トシテ採用シタル死亡表ニ據ル豫定死亡數ニ對シ事實上實際死亡數カ高率ナルヤ否ノ二點是レナリ

イ、簡易保險ニ於テハ普通保險ニ比シ死亡率ノ高カルヘキハ其性質上當然ナリ元來簡易保險ニアリテハ被保險者ノ身體ニ對シ醫的診査ヲ用ヒス尤モ無診査ハ絶對ニアラスト雖トモ少クトモ普通保險ニ比シ簡略ナルコトハ事業ノ性質上勿論ナルコトニテ從テ簡易保險ニアリテハ選擇死亡表ヲ用ヒス國民死亡表ヲ用フルヲ以テ一般トスルコト前述シタル所ニ依リテ明カナリト信ス蓋シ選擇死亡表ハ普通生命保險ニ於ケル被保險者トシテ相當ナル生命ヲ選擇シテ其死亡率ヲ計算シタルモノナリ然ルニ國民死亡表ハ斯ル選擇ニ適當セサルモノ即チ不健康體ヲモ悉ク合算シテ死亡率ヲ計算シタルモノナルカ故ニ國民死亡表ノ死亡率カ選擇死亡表ニ於ケルヨリ高率ナルコト勿

論ナリ從テ之ヲ基礎トスル簡易保險ノ死亡豫想率カ普通保險ニ於ケルヨリ高率ナルヘキハ其事業ノ性質ノ當然ノ結果ナリ即チマーネス氏ハ其著「フア」シツヘルングス、ヴェーゼンニ於テ國民死亡表ノ死亡率ハ選擇死亡表ニ於ケルヨリ百分ノ四乃至八高キヲ見ルト云ヘリ從テ簡易保險ノ純保險料ノ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルハ止ムヲ得サルナリ

簡易保險ニ於テハ既往ノ事實ニ於テ其豫定シタル死亡數ヨリ果シテ實際上ノ死亡數カ多キヤ否ニ付テ別ニ之ヲ研究スル必要アリ

レキジス氏カ第五回生命保險萬國會議ニ發表シタル所說ニヨルニ獨逸ノ國民保險ニアリテハ醫的診査ヲ行ハサルニモ拘ハラヌ實際ノ死亡數ハ國民死亡表ニ依リテ計算シタル豫定數ヨリモ遙ニ尠少ナリ例ハ千九百四年ニ於ケル各會社ノ死亡數ノ比較左ノ如シト爲セリ

豫定死亡數	二六、七九四 ^件	馬克
實際死亡數	二二、九一〇	五、二一七、〇二七
其差	三、八八四	四、三三三、二三六
		八七三、七九一

豫定死亡數	三三三、〇五五 ^件	馬克
實際死亡數	二二、二五六	三、〇七四、四三二
其差	一〇、七九九	一、四四六、七一八

然シテ同氏ハ尙保險金額ニ關シテハ其豫定額ト實際額トノ差ハ必スシモ死亡率ノ差ヨリ生スル結果ト一致スルモノニアラス其差ヲ生セシムヘキ其他ノ原因ノ重ナルモノハ保險金削減期間ノ制度是レナリト論シ詳細ナル説明アリト雖トモ要スルニ獨逸ニアリテハ人民保險ニ於ケル實際死亡ハ國民死亡表ニ據ル豫定死亡ヨリ少ナキカ如シ
之ニ反シテ米國ニアリテハ實際死亡數カ豫定死亡數ヨリ多キコトヲ論シ居レリホフマン氏カ第五回生命保險萬國會議ニ於テ論スル所ヲ見ルニ工業保險ニ於ケル被保險者ハ主トシテ工業勞働者ナリ故ニ米國ニ於ケル工業勞働者ノ地位ヨリ論スルニ種々ナル理由ニ依リ其死亡率ヲ甚タ高度ナラシム即チ被保險者ハ人種及國籍ノ種々異レル下級人民ナルカ故ニ土着シタル白人ニ比シ其死亡數ハ甚タ高率ナリ又其從事スル職業ハ不健康且ツ危險ナル勞

役ニシテ呼吸器病熱病等ノ危険ナル疾病ニ罹リ易ク又工業上ノ災害ニ遭遇
 スル虞多キモノナリ其生活狀態ハ大都市ノ僻隅ニ集中雜居シ不攝生ニシテ
 酒精中毒傳染病ニ犯サレ易キ地位ニアルモノナリ加之醫的診查ノ省略セラ
 レ若クハ簡易ナルコトハ不健康體ノ混入多キヲ免レサラシム故ニ工業保險
 ノ實際死亡カ國民死亡表ノ死亡ヨリ高率ナルハ勿論ナリ其事實ハ左表ニ依
 リテモ明カナルヘシ云々

年 齡	メトロポリタン會社 實際ニヨル實際死亡	合衆國統計ニ 依ル豫定死亡	豫定死亡百ニ對 スル實際死亡
二〇—二四	一一、九	七、五	一七二
三〇—三四	一六、五	九、四	一七六
四〇—四四	二一、一	一二、二	一七三
五〇—五四	三一、八	一九、一	一六六 (以下略)

其他詳細ナル議論アレトモ要スルニ米國ノ工業保險ニ於ケル事業トシテハ
 實際死亡ハ事實上國民死亡表ニ基ク豫定死亡ヨリ遙ニ高率ナルノミナラス
 寧ロ米國ニ於テハ工業保險ノ性質トシテ其死亡率カ甚タ高率ナルヲ知ルニ

足ルヘシ

米國ノ工業保險ト獨國ノ人民保險トノ狀況ヲ對照シ同シク簡易保險ナルニ
 モ拘ハラス斯ノ如キ非常ノ差異アルヲ見ル是レ蓋シ兩國其事情ヲ異ニスル
 ニ依ラサルヘカラス獨逸ニアリテハ別ニ勞働保險アリテ災害保險、疾病保險
 及老癯保險ヲ營ム故ニ災害ニ因ル勞働者ノ死亡ノ如キハ勞働保險ニ依リテ
 救濟セラル、コト多カルヘク又人民保險ハ勞働保險ト分レテ別ニ大ナル領
 域ヲ有スルヲ以テ自ラ其死亡率モ比較的低度トナルヘシ之ニ反シ米國ニア
 リテハ工業保險ハ殆ント工業勞働者ノ爲ニ經營セラル、狀況ナルヲ以テ其
 死亡率比較的高度トナルヘキハ勿論ナルヘシ其他各會社ノ事業經營ノ方法
 ニ依リ事業ノ結果ニ差異ヲ來スヲ以テ一概ニ統計ノ結果ノミヲ以テ論スル
 コトヲ得ス故ニ簡易保險ノ實際死亡ノ豫定死亡ニ對シテ高率ナルヤ否ハ各
 國ノ事情ヲ洞察シ且各會社ノ事業經營ノ方法ヲ比較スルニアラサレハ十分
 ニ之ヲ論スル能ハサルナリ

二、保險料ノ高價、生命保險ニ於ケル保險料ハ純保險料即チ實際死亡カ豫定

死亡ト全然一致スル場合ニ於テ保險金額ヲ支拂ヒテ過不足ナカルヘキ金額ト附加保險料トヨリ成ル然シテ附加保險料ハ更ニ之ヲ二ニ分ツコトヲ得ヘシ即チ一ハ實際死亡カ豫定死亡ニ超過スル場合ニ對スル準備トシテ附加スルモノ他ノ一ハ營業費若クハ企業者ノ利益ノ源トスル爲メニ附加スルモノトノ二是レナリ故ニ此等ノ各項ニ分テテ簡易保險ノ保險料カ其性質上普通保險ニ於ケルヨリ比較的高價ナルヘキ理由アルコトヲ論シ從テ簡易生命保險事業ハ下級人民ノ必要ニ應スルコトヲ目的トスル點ヨリ見ルモ其性質上ノ弱點ナル所以ヲ説カントス

イ、純保險料、簡易保險ニ於ケル純保險料カ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルヘキコト前項死亡率ニ關シテ述ヘタル所ニ依ルモ自ラ明カナルヘシ蓋シ簡易保險ニ於テハ國民死亡表ヲ基礎トシテ純保險料ヲ算定セルヲ以テ其保險料カ國民死亡表ヨリ死亡率低キ選擇死亡表ヲ基礎トスル普通保險ノ純保險料ヨリ高カルヘキハ性質上止ムヲ得サルナリ

■ 附加保險料ノ一、實際死亡カ豫定死亡ニ超過スル場合ニ應スル準備トシテ附加スヘキ保險料ハ亦普通保險ノ場合ニ於ケルヨリ多カラサルヘカラス國民死亡表ト云ヒ選擇死亡表ト云ヒ固ヨリ絶對ニ正確ナリト云フ能ハス然レトモ選擇死亡表ハ會社ノ長期ノ經驗ニ基キ生命保險ニ適當ナル健康體ニ付特ニ死亡表ヲ作りタルモノナリ又國民死亡表ハ單ニ一般ノ人口統計ニ據リタルモノナレハ其之ヲ基礎トスル國民死亡表ノ豫定カ選擇死亡表ノ場合ニ於ケルヨリ動モスレハ過チ易カラントスルモノナルコトハ之ヲ想像スルニ難カラス况ヤ米國ノ工業保險ノ如キ國民死亡表ヲ基礎トシテ工業勞働者ニ對スル保險ヲ營ムニ於テヲヤ又簡易保險ノ特色タル所謂無診査ハ醫師報酬ヲ節約スル點ニ於テ利益アリト雖トモ此項ニ於ケル意義ノ附加保險料ヲ増加セシムルモノナリ即チ無診査若クハ醫的診査ヲ省略スルコトハ不健康體ノ混入ヲ多カラシムルモノナレハ死亡率ノ測定ニ狂ヒヲ生スル傾向ヲ一層増加スルヲ以テナリ故ニ此等ノ事情ヨリ簡易保險ニアリテ本項ノ意義ニ於ケル附加保險料カ普通保險ニ比シテ高價ナルヘキハ其性質上當然ナリ

ハ、附加保險料ノ二、營業費ノ爲メニスル附加保險料モ亦普通保險ニ於ケ

ルヨリ高價ナルヘキ理由ヲ有ス即チ收入保険料少額ニシテ件數頗ル夥多ナル業務ニ於テ記帳及計算等ニ關スル事務ノ煩雜ナル保險料集金ノ困難ナル若クハ代理店費用ノ多額ナル等ノ理由ハ簡易保險ニ於ケル營業費ノ爲メニスル附加保險料ヲ多額ナラシムルモノナリ其詳細ハ次項三、營業費ノ多額ノ項ニ述ヘシ

二、保險料ノ比較、參考ノ爲メ米國「ブルデンシアル」會社カ經營セル工業保險及普通保險ニ付キ保險金百弗ニ對スル保險料ヲ比較スルニ左ノ如シ但工業保險ニ於ケル比較ヲ可成明確ナラシメンカ爲メ普通保險ニ付テハ保險料三ヶ月拂ノ分ヲ採リタリ

年 齡	被保險者ノ家ニ付每週集金スル工業保險	會社ノ本店ニ支拂フヘキ三ヶ月拂普通保險	普通保險料百弗ニ對スル工業保險料
二十歲	三、〇〇	二、〇二	一六七
三十歲	三、八八	二、五六	一六六
四十歲	五、二〇	三、四六	一六七
五十	七、四三	五、〇九	一六九

六十歲

一一、八二

八、一五

一六九

之ヲ要スルニ純保險料死亡率ノ狂ヒノ爲メニスル附加保險料及營業費ノ爲メニスル附加保險料ハ簡易保險ニ於テハ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルヘキ理由ヲ有ス是レ事業ノ性質上誠ニ止ムヲ得サルニ出ツト雖トモ亦憫ムヘキ社會ノ下級人民カ僅ニ今日生計ヲ支ヘツ、其善ミスヘキ意思ニヨリ膏血ノ一部ヲ投スル保險料ノ斯ノ如キ高價ナルハ實ニ此事業ノ弱點ト云ハサルヘカラス即チ之カ救済ニ關シ社會ノ有識者カ最モ焦慮スル所以ナリ尙ホ此點ニ關シテハ「第十二章外國ニ於ケル簡易生命保險事業改良意見」ノ項ヲ參照セラレシコトヲ望ム

三、營業費ノ多額、簡易保險ニアリテハ保險金額小ナルカ故ニ保險料額モ亦少ク然カモ其件數巨額ニ上ルヲ以テ帳簿計算等ノ事務ニ於テモ普通保險ヨリ煩雜ニシテ其事務費モ保險料トノ割合ニ於テ比較的著シク高價ナルハ勿論ナリ又普通保險ノ保險料領收ハ毎年一回、二回若クハ四回ナルニ比シ簡易保險ニ

於テハ一年五十二回ナルノミナラス普通保險ニアリテハ保險契約者ハ保險料ヲ會社ニ持參スレトモ簡易保險ニアリテハ集金人ヲ派出シテ之ヲ領收セサルヘカラス况ヤ其保險契約者ハ動モスレハ住所ノ變動シ易キヲ以テ會社カ保險料領收ノ爲メ支出セサルヘカラサル營業費モ亦普通保險ニ於ケルヨリ頗ル大ナラサルヘカラス又簡易保險ニアリテハ各地方ニ散在スル多數ノ被保險者ヲ目的トスルヲ以テ勢ヒ多數ノ代理店ヲ使用セサルヘカラス其代理店事務モ本店ノ事務ニ準シテ普通保險ノ場合ヨリ煩雜ナルヲ以テ代理店手数料ハ勢ヒ多額ナラサルヘカラス殊ニ米國ニ於ケル如ク代理店監督ヲ設置スル如キモノニアリテハ代理店ノ爲メニ必要ナル營業費ヲ益々増加セシム故ニ簡易保險ニアリテハ團體契約ニ依リ新契約費ヲ減少セシムルコトヲ得ヘク又無診査ニ依リ醫師報酬ノ節約ヲ爲スヲ得ル等普通保險ノ場合ヨリ營業費ヲ節約シ得ル理由モ亦ナキニアラスト雖トモ他ニ重要ナル原因アルカ爲メニ營業費カ普通保險ノ場合ヨリ著シク多額ニ上ルヘキハ事業ノ性質上止ムヲ得サル所ナリ現ニ獨逸ノ人民保險會社ニ純保險料ノ百分ノ八十米國ノ工業保險會社ニ百分ノ百ノ

附加保險料ヲ課スルモノアリ然カモ其大部分ハ營業費ニ使用シヨルコト普通保險ニ於ケル附加保險料カ百分ノ二十乃至四十ナルニ比シ著シキ差異アルモ亦怪ムニ足ラサルナリ

四、失效契約ノ多大 保險契約カ效力ヲ失フ原因種々アリ然レトモ爰ニ失效ト稱スルハ保險契約カ效力ヲ生シタル後繼續保險料ヲ適當ノ時期ニ支拂ハス猶豫期間ヲモ經過シタル爲メ保險約款ノ規定ニ依リ契約カ其效力ヲ失フ場合ノミヲ指シタルナリ即チ保險料不拂ニ因ル失效ノミヲ假ニ失效契約ト稱スルナリ

イ、失效契約多大ノ原因 失效契約ハ簡易保險ニ於テ特ニ其數多キヲ見ル蓋シ簡易保險ニアリテ保險料ヲ支拂フヘキモノハ下級人民ニシテ其收入ハ僅ニ今日ノ生計ヲ支フルノミニシテ保險料ノ支拂ニ對シテ十分ノ餘裕ヲ有スルモノニアラス又生命保險ノ如キ長期ノ義務ニ對スル自己ノ負擔力ヲ十分ニ辨別シ得ルモノニアラス加之其經濟上ノ地位頗ル劣弱ナルヲ以テ長キ間ニハ其地位變動シ易ク從テ保險料支拂ノ財源ヲ失フ虞多キモノナリ故ニ

簡易保險ノ必要ヲ悟リテ之ヲ契約シタルモノト雖トモ其效果ヲ受クルマテ之ヲ持續スルコト知識上及經濟上ノ地位劣等ナル下級人民ニアリテハ頗ル困難ナルコトナリ從テ簡易保險ニアリテハ動モスレハ繼續保險料ヲ適當ノ期間内ニ支拂フコト能ハス若クハ支拂フコトヲ怠ルカ爲メニ契約ノ失效ヲ招クモノ多キハ事業ノ性質上免ル能ハサル所ナルト共ニ亦事業ノ弱點ナリト云ハサルヘカラス

□、失效契約多大ノ事實、獨逸ノ保險監督廳カ發表シタル統計ニ依レハ千九百三年ヨリ四年ニ至ル一年間ノ人民保險ノ經過契約ハ件數四百五十二萬八千三百七十五、金額七億九千三百六萬五千馬克ナルニ對シ失效契約ハ件數二十萬二千七百六十一、金額四千四百十萬九千馬克ナリ即チ經過契約百ニ對スル失效契約ノ割合ハ件數ニ於テ四、五金額ニ於テ五、六トナル單ニ此事實ノミニテハ一概ニ失效契約多大ヲ稱スルニ足ラサルヘシ然レトモ簡易保險ニアリテハ其性質上契約ノ失效ハ契約後一ケ年乃至二ケ年内ニ於テ最も多ク發生スルナリ即チ英國ノスクーリング氏ハ工業保險ノ失效契約中其三分ノ

二ハ第一年度ニ於テ發生スルモノナリト云ヘリ此例ニ依リ前記ノ獨逸ノ統計ヲ考フルニ失效契約件數二十萬二千七百六十一、金額四千四百十萬七千馬克ノ三分ノ二即チ件數十三萬五千七百七十四、金額二千九百四十萬六千馬克カ契約初年度ニ於テ失效シタルモノト看做シ之ヲ千九百三年ヨリ四年ニ亘ル新契約件數四十五萬九千六百十、金額八千三十六萬五千馬克ナルト比較スルトキハ一ケ年間新契約百ニ對スル初年度ニ於テ失效スル契約ハ件數ニ於テ二十九、金額ニ於テ三十七ナルヲ知ルヘシ是レ一ノ假定ヲ擧ケタルニ過キスト雖トモ獨逸ノ人民保險改良建議案ニ依レハ失效ハ第一年度ニ多ク第二年度ニ最も多ク第三年度以下ハ遽カニ其率ヲ減少スルモノナリト云ヒ米國ブルデンシアル會社ノ經驗ニ依リテ失效契約中百分ノ六十六ハ契約當時ヨリ五十一週間内ニ發生シ百分ノ十八ニ二年以内ニ百分ノ六ハ三年以内ニ發生シ三年以後ノ失效ハ百分ノ十八ナルヲ見レバ簡易保險ニ於テハ失效契約ノ率頗ル多大ニシテ然カモ初年度若クハ二年度ニ集中シタルノ事實ハ之ヲ疑フコトヲ得ス

ハ、失効ニ因ル損害、保険料不拂ニ依ル契約ノ失効ハ保險契約者カ繼續保險料ヲ支拂フコト能ハサルカ若クハ之ヲ懈怠スルニ因リテ發生スルモノナレトモ保險契約者カ之ニ依リテ損失ヲ受クヘキコト勿論ニシテ此點ニ於テ普通保險ノ場合ト異ナルナシ然カモ簡易保險ニ於テハ普通保險ノ場合ヨリ一層多ク損失ヲ受クヘキ事情アリ前項ニ述ヘタル如ク簡易保險ニ於ケル失効ハ殆ント悉ク第一年度若クハ第二年度ニ於テ發生ス然ルニ第一年度若クハ第二年度ニアリテハ責任準備金ノ積立ハ殆ント之ナキカ故ニ契約カ失効スルトキハ責任準備金ノ全部若クハ其大部分ヲ拂戻シ或ハ之ヲ拂濟證券ニ振替フルコトヲ認ムル場合ニアリテモ之ニ充ツヘキ金額殆ント全クナシ況ヤ簡易保險ニアリテ動モスレハ事業者ハ解約拂戻若クハ拂濟證券振替ヲ認ムルコトヲ好マサルニ於テヤ即チ簡易保險ニ於テ此失効處分ヲ受ケタル保險契約者ハ極メテ多クノ場合ニ於テ其拂込タル保險料ノ一部ノ返還タモ受ケル能ハス是レ普通保險ニ於ケル失効ヨリ一層不利ナル狀況ニアリト云フ所以ナリ又契約ノ失効ハ保險者ニモ多大ノ損失ヲ與フルモノナリ或ハ保

險者ハ失効處分ニ因ル返還金ナキヲ奇貨トシ投機的ニ失効ニ依リ利益ヲ得シコトヲ企圖スルモノナキニアラスト雖トモ正當ナル營業者ニアリテハ失効就中契約後幾許モナクシテ生スル失効ハ保險者ニ多大ノ損失ヲ與フルモノナリ紐育州立法委員カ「メトロポリタン」會社ノ失効契約ニ付キ調査シタル所ニ依レハ千九百四年ニ於ケル同社ノ工業保險事業ニアリテハ契約一件ニ付新契約費二弗七仙ヲ使用セリ然ルニ同年ニ發行セル證券中五十七萬五千三百九十二ハ保險料不拂ノ爲メ失効處分ヲ爲ササルヘカラサルニ至リ然ルニ其失効契約ヨリ收入シタル保險料ハ四十一萬七千七百三十五弗ニ過キス從テ失効契約一件ヨリ會社カ受取リタル金額ハ七十二仙六トナル割合ナリ故ニ會社ハ新契約費二弗七仙ヲ投シ失効契約ヨリ七十二仙六ヲ得タルニ過キスシテ其損失ハ一件ニ付一弗三十四仙四ナリ即チ此點ヨリ見ルモ全然失効契約ニ付七十七萬三千三百二十六弗八十四仙ノ損失ヲ招キタル結果トナルナリ斯ノ如ク契約ノ失効ハ保險者ニ對シテモ多大ノ損失ヲ與フルモノナリ獨逸ノレキジス氏モ亦此點ニ付論シテ曰ク斯ノ如キ事情ノ下ニアル契約

ノ失効ハ保險者ニ對シテ利益ヲ生セサルノミナラス其費用スラモ補ヒ得サルコト多シ殊ニ失効ノ場合ニ於テ被保險者カ其無識若クハ懈怠ノ爲メ拂濟證券振替請求等ノ權利ヲ行使セザリシトキニ於テモ尙保險者ハ多大ノ損害ヲ蒙ルモノニシテ其懈怠ノ結果受クヘキ些少ノ利益ト比較シ得ルモノニアラス何トナレハ此ノ如キ場合ニアリテハ一般社會ニ對シ人民保險事業ニ關シ非常ナル惡影響ヲ與フルモノナレハナリ云々

斯ノ如ク簡易保險ハ事業ノ性質上失効契約ヲ多大ナラシメ然カモ失効ニ依ル惡結果ハ普通保險ノ場合ヨリ一層之ヲ深甚ナラシム即チ之ヲ一般經濟上ヨリ見ルトキハ金錢ト勞力カ何等ノ效果ナクシテ浪費セラル、モノニシテ最モ之ヲ忌マサルヘカラス故ニ各國ニアリテモ學者及當業者ハ或ハ法令ノ規定ニヨリ或ハ任意ノ約款ニ依リ此簡易保險ノ性質上ノ弱點ニ關シ失効ノ豫防ヲカムルト共ニ發生シタル失効ノ惡結果ヲ成ルヘク輕減スルニ努メツツアルナリ尙此等ノ點ニ關シテハ第十一章外國ニ於ケル簡易保險ニ關スル法令及第十三章外國ニ於ケル簡易保險事業改良意見等ノ項ヲ參照セラレン

コトヲ望ム

五、保險金削減期間、簡易保險ニアリテハ其特色ノ一トシテ保險金削減期間ノ制ヲ採用スルコト既ニ第五章簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル比較ノ項ニ述ヘタルカ如シ簡易保險ニ於テハ醫的診査ヲ省略スル等ノ理由ニ依リ保險金削減期間ノ制度ヲ認メサルヘカラスト雖トモ生命保險ノ性質上好ンテ之ヲ設クヘキモノニアラス何トナレハ此制度アルカ爲メ善意ノ保險契約者モ契約後或期間内ハ完全ニ生命保險契約ノ效果ヲ享有スル能ハサレハナリ然シテ此制度ハ保險者ノ自衛上ノ必要ヨリ設ケラル、モノナレトモ却テ保險者カ之ヲ濫用スル爲メ弊害ヲ生スルコトアリ獨逸ノレキジス氏カ第五回萬國會議ニ於テ論スル所ニ依レハ獨逸ニアリテハ保險會社ハ削減期間ノ制アルカ爲メ豫定金額ヨリ少キ保險金額ヲ支拂ヒ之カ爲メ會社ニ豫想以外ノ利益ヲ來サシムルコトアリ從テ二三ノ會社ニアリテハ好ンテ不十分ナル健康狀態ニアル被保險者ニ付保險契約ヲ締結スルノ傾向ヲ生シ爲メニ第一保險年度ニ於ケル死亡數ノ多額ヲ來サシムルモノアリ然レトモ此ノ如キハ全ク誤解ニ基クモノニシ

テ實際ニ於テハ却テ少カラサル損失ヲ招クモノナリト云ヘリ思フニ獨逸ニ於テ削減期間ヲ三ケ年若クハ四ケ年ト定メタルハ長ニ失スルモノニアラサルカ米國ニ於テ一ケ年以下ナルニ比シ之ヲ疑ハサルヲ得ス蓋シ米國ニ於テハ普通保險ニアリテモ所謂不可爭條項ニ關スル期間ハ之ヲ三ケ年ト定ムルヲ常トス即チ契約ニ關スル重要ナル事實ニ付告知義務ヲ懈怠シタル場合ト雖トモ契約後三ケ年ヲ經過シタルトキハ假令懈怠ノ事實ヲ發見スルモ惡意ノ場合ノ外會社ハ之ヲ以テ保險契約者ニ對抗セサルコトヲ豫約スルヲ常トス是レ即チ詐欺ノ意思ナク契約後平穩ニ三ケ年間引續キ保險料ヲ支拂フモノハ保險契約ノ締結ニ適當シタルモノナリトノ豫定ヲ爲スカ故ニ外ナラス普通保險ニ於テ既ニ然リ況ヤ簡易保險ニアリテハ三ケ年若クハ四ケ年ノ長ニ至ラストモ相當ノ期間ニ於テ平穩ナリシモノハ始ヨリ契約締結ニ適當ナリシモノアリト推定スルヲ以テ穩當トスヘキニアラサルカ畢竟獨逸ニ於テハ此期間ノ長ニ失スル爲メ却テ前記ノ如キ弊害ヲ伴フモノニアラサルカ兎ニ角此等ノ點ニ關シテハ證據トナスヘキ統計材料甚タ缺乏セルヲ以テ唯一場ノ推測ニ過キスト雖トモ保險

金削減期間ハ簡易保險ノ特色タルト共ニ之ヲ濫用スルトキハ弊害ヲ生スヘキモノナルコトハ想像スルニ難カラサルナリ

六、代理店組織ニ基ク不便、簡易保險ニアリテハ其保險金額小ニシテ保險料モ亦少キカ故ニ頗ル多數ノ被保險者ヲ得ルニアラサレハ事業ノ成功ヲ望ムヘカラス故ニ勢ヒ各地方ニ亘リテ多數ノ代理店ヲ設置セサルヘカラス千八百八十二年ニ於テ英國議會カ千八百六十四年以來開始セラレタル政府郵便保險制度カ失敗シタル所以ヲ調査シタルニ其理由ハ代理店ノ使用ニ付缺點アリタルコト重ナル理由ノ一タルコトヲ認メタリト云フ斯ク簡易保險ニ於テハ比較的多數ノ代理店ヲ使用セサルヘカラス又簡易保險ニ於ケル代理店事務ハ普通保險ニ於ケルヨリ煩雜ニシテ困難ナルコト前ニモ述ヘタル如キ事情ナルヲ以テ比較的多額ノ手数料ヲ支拂ハサルヘカラス故ニ簡易保險ニ於テハ代理店ニ必要ナル費用ノ甚タ多額トナルノ不便アルナリ

七、被保險者ノ地位ノ劣弱、簡易保險ノ顧客タル下級人民ハ經濟上ノ地位劣弱ナルカ故ニ保險金ノ支拂ハ最も迅速ナラサルヘカラス下級人民ハ生計ノ餘

裕極メテ少キモノナレハ苟モ保險事故發生シタル場合ハ直ニ保險金カ支拂ハル、ニアラサレハ保險ノ目的ヲ達スル能ハス此點ハ普通保險ニ於テモ勿論必要ノコトナレトモ簡易保險ニアリテハ最モ適切ナル事情アリ故ニ簡易保險事業者ハ此點ニ關シ遺憾ナキヲ期セサルヘカラス又下級人民ハ教育上ノ地位劣等ナルモノナレハ契約締結、約款解釋若クハ保險金支拂ニ關スル疑義等ニ付テモ事業者ハ最モ正確ニ且最モ親切ニ之ヲ取扱ハサルニ於テハ此事業ノ效果ヲ期スル能ハス是レ亦此事業者ノ深ク注意セサルヘカラサル所ナリ以上ノ如ク簡易保險事業ハ其性質上種々ナル弱點ヲ有ス然シテ此弱點ハ到底之ヲ救済スル能ハサルモノアリ然レトモナルヘク之ヲ排除シ若クハ其惡結果ヲナルヘク減少セシメントスルハ各國ニ於テ専ラ研究セラレ、所ニシテ殊ニ近年簡易保險カ遽カニ發展シ且其效果著シキコト益明ニナリタルニ從ヒ種々ナル方面ニ於テ盛ニ議論セラル、所ナリ尙此等ノ改良意見ニ關シテハ更ニ章ヲ更メ第二章外國ニ於ケル簡易保險事業改良意見ノ項ニ於テ詳述セント欲ス

第八章 外國ニ於ケル簡易保險事業ノ發展

簡易保險事業ハ僅ニ三四十年前以前ヨリ開始セラレ殊ニ其最モ著シク發達シタルハ最近十年間ナルニ其發展ノ狀況頗ル顯著ナルモノアリ就中英米獨ノ如キ工業最モ進歩シテ國運ノ駁々タル國ニ於テ最モ其效果ヲ發揮シ居ルヲ見ル即チホフマン氏カ第五回萬國會議ニ提出シタル統計ニ依リ千九百四年各國ニ於ケル簡易保險事業分布ノ狀況ヲ示セハ左ノ如シ

國名	會社數	契約件數	契約金額
米國	一七	一五、六七四、三八四	二、一三五、八五九、一三〇 弗
英國	二〇	二二、八一〇、九三七	一、一三九、八一九、九八〇
獨逸	一四	五、〇二四、六六七	二一八、八二五、四六九
濠洲	六	三〇八、三二二	三六、一五三、二二八
加奈陀	五	二九六、五五〇	三四、七三四、〇七〇

其他

計

約一〇〇、〇〇〇
約四、〇〇〇、〇〇〇

即チ之ニ依リテ外國ニ於ケル簡易保險事業カ如何ニ盛大ナルカラ知ルト共ニ
英米獨ノ三國ノ事業カ世界ニ於ケル簡易保險事業ノ殆ト全部ヲ占ムルヲ見ル
ヘク此三國カ世界ニ於テ有スル商工業上ノ地位トヲ對照シテ想像セハ其偶然
ノ結果ニアラサルヲ推スニ足ルヘシ
今又英米獨ニ於ケル簡易保險事業ノ狀況ヲ示サン爲メ千九百三年及千九百四
年ノ契約額ヲ拔萃シ其事業ノ大ナルヲ示スト共ニ其一年間ノ發達ノ著シキヲ
表ハサハ即チ左表ノ如シ

國名	千九百三年	千九百四年	一ケ年間増加割合
英國	件數 二二、二二六、五〇六 金額 二〇七、五四九、八二一 ^(磅)	件數 二二、五一八、〇四六 金額 二二一、一四〇、三〇九 ^(磅)	、〇六一 、〇六五
米國	件數 一四、六三一、六三五 金額 一、九七九、七三三、九五二 ^(弗)	件數 一五、六六八、〇七〇 金額 二、一三四、九二二、四七九 ^(弗)	、〇七一 、〇七九

獨逸

件數 四、二九八、五七〇
金額 七五二、八二四、〇〇〇^(馬)
四、七五八、一八〇
八三三、一八九、〇〇〇^(馬)
、二二三
、一〇七

更ニ英米獨ニ於ケル簡易生命保險事業ノ一班ヲ想像スル爲メ千九百四年一ケ
年ニ於テ此事業ニ投セラレタル保險料ヲ示セハ左ノ如シ

英國	一一、〇九三、二六八磅
米國	一一〇、一三五、〇〇〇弗
獨逸	六四、九七四、〇〇〇馬

又米國ニ於テ工業保險事業ノ開始以來其契約總額カ如何ニ迅速ニ増加シツ、
アルカハ即チ左表ニ依リテ之ヲ知ルコトヲ得ヘシ

會社數	件數	金額
一八七六年	一	四、八一六
一八八〇年	三	二二八、三五七
一八九〇年	九	三、八七五、一〇二
一九〇〇年	一八	一一、二一五、五三一
		四四三、〇七二弗
		一九、五九〇、七八〇
		四二八、〇三七、二四五
		一、四六八、四七四、五三四

一九〇四年 一七 一五、六〇八、〇七〇 二、一三四、九二二、四七九
 次ニ獨逸ニ於ケル發展ノ狀況ヲ示サンカ爲メニ人民保險中定額保險ノ毎年ノ
 新契約高ヲ比較スレハ即チ左表ノ如シ

年	件數	金額
一八九〇年	九六、九三七	一九、二三二、二二九馬
一九〇〇年	六七二、六二二	一二九、九九八、六九一
一九〇四年	七九六、九九〇	一六二、六九八、四五九

以上示ス所ニ依ルモ世界ニ冠タル商工業國ニ於テ如何ニ簡易保險事業カ遽カ
 ニ發展シ其進步顯著ナルカヲ知ルニ足ルヘク又此等ノ事實ハ簡易保險事業カ
 現時ノ社會組織上如何ニ之ヲ必要トスルカ且ツ其效果カ如何ニ偉大ナルカヲ
 反映スルモノト云フコトヲ得ヘシ

第九章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ集中

生命保險事業ハ其性質上大組織ノ經營ヲ必要トスルコト最モ明確ナル事實ナ
 リ蓋シ生命保險事業ハ多數ノ人ニ對シ長期ニ亘リ巨額ノ責任ヲ負擔スルモノ
 ナレハ永久的存在ニ適スルモノナラサルヘカラス何レノ國ニアリテモ相互會
 社ヲ除クノ外保險事業ヲ營ミ得ルモノハ之ヲ株式會社ニ限リタルモ蓋シ此理
 由ニ基クモノナリ又保險ノ趣旨ハ危險ヲ多數ニ分配スルニアルヲ以テ多數ノ
 人ヲ目的トスルニアラサレハ事業ノ成功ヲ期スル能ハサルコト勿論ナリ故ニ
 生命保險事業ハ長キ時廣キ場所並ニ多クノ人ニ對シテ之ヲ經營セサルヘカラ
 サルハ事業ノ性質上ノ當然ノ結果ナリ然シテ簡易生命保險事業ニ於テハ一層
 此必要アルヲ見ル何トナレハ簡易保險ニアリテハ特ニ小額ナル保險料ニ對シ
 煩雜ナル事務ヲ行フモノナレハ多數ノ顧客アルニアラサレハ營業ヲ支持スル
 能ハス又危險率モ普通保險ニ於ケルヨリ大ナルヲ以テ一層多數ノ被保險者ヲ

得ルニアラサレハ危險ノ平準ヲ期スル能ハサレハナリ此等ノ事情ハ一般生命保險事業ノ性質ヲ知り且ツ簡易保險事業ノ性質ト其ノ弱點ヲ詳ニスルモノハ何人モ之ヲ認ムヘキナリ故ニ理論ヨリ云フモ簡易生命保險事業ハ多數ノ小事業者分立相競争シテ成功ヲ期シ得ルモノニアラス確實ナル大事業者カ大規模ノ組織ヲ以テ之ヲ經營スルニ依リテ始メテ其效果ノ完全ヲ期シ得ルモノナルコト明ナリ加之英米獨ノ實例ニ依ルモ事實ニ於テ簡易保險事業ハ二三ノ大會社ニ集中シ居ルヲ見ル

今英米獨ニ於ケル千九百四年現在簡易保險契約總額ト其重ナル會社英國ニアリテハ收入保險料百萬磅以上米國ニアリテハ同百萬弗以上獨逸ニアリテハ同百萬馬克以上收入アル會社カ有スル契約額トヲ對照スルニ左ノ如シ

英國 工業保險契約總額

會社名	件數	金額
ブルードンシアル	一九	二四、六六八、五三二
レフュージ	二四	四三九、二四〇
パール	二一	二五五、七九三
計	二〇、五二六、二四一	二〇〇、六三七、二一四

收入保險料年額百萬磅以上ノ會社ノ契約高

此表ニ依リテ見レハ英國ニ於テ工業保險ヲ營ム會社十九ノ有スル契約ハ大體ニ於テブルードンシアル以下ノ三會社ニ集中セラレラルヲ見ル即チ十九會社ノ總契約高ニ對シ其中ノ三會社カ有スル契約高ヲ比較スルニ三會社ハ契約件數ニ於テ百分ノ八十三、二契約金額ニ於テ百分ノ八十二、九ヲ有ス又ブルードンシアル會社ノミノ契約高ト十九會社總契約高ヲ比較スルニ同會社ハ契約件數ニ於テ百分ノ六十三、一契約金額ニ於テ百分ノ六十四、一ヲ有スルヲ見ル

英國 工業保險契約總額

會社名	件數	金額
メトロポリタン	一七	一五、六八八、〇七〇
ブルードンシアル	二一	二、一三四、九二二
計	三八	一七、八一二、〇四二

收入保險料百萬弗以上ノ會社ノ契約高

ジョンハンコック	一、四七四、三九九	一、三三三、〇七〇	千弗
グアージニア	三五八、五四一	三七、七一	
ウエストン、エン ト、サウザン	二二七、六二四	二四、六〇〇	
計	一五、三二七、六二八	二、〇九九、二六二	

此表ニ依レハ米國ニ於ケル工業保險會社十七カ有スル總契約高ト其中ノ「メト
ロポリタン」以下ノ五會社カ有スル契約高ヲ比較スルニ五會社ハ總契約中契約
件數ニ於テ百分ノ九十七、六契約金額ニ於テ百分ノ九十八、三ヲ有スルヲ見ル又
「メトロポリタン」及「ブルデンシアル」三會社カ有スル契約高ト十七會社ノ總額ヲ
比較スルニ二會社ハ總契約高中契約件數ニ於テ百分ノ八十四、五契約金額ニ於
テ百分ノ八十四、九ヲ有ス即チ米國ニ於ケル工業保險契約高ノ約八割五分ハ「メ
トロポリタン」及「ブルデンシアル」三會社ニ集中セラレ居ルヲ見ル

人民保險契約總額

會社名	件數	金額
一一	四、七五八、一八〇	八三三、一八九
獨逸		千馬克

收入保險料百萬馬克
以上ノ會社ノ契約高

グイクトリア	二、五四八、三〇六	四九〇、一七六	千馬克
フリードリッヒ	一、七〇九、三七八	二四七、七五二	
ウキルヘルム	一四六、六六八	二〇、八七七	
ブルデルシアル	一一二、一五〇	一六、一八六	
イヅトナ		二二、三四一	
ドイツランド	八二、〇七五	七九八、三三二	
計	四、五九八、五七七		

此表ニ依リテ見レハ獨逸ニ於ケル人民保險ヲ營ム會社十一カ有スル總契約高
ト「グイクトリア」以下五會社カ有スル契約高ヲ比較スルニ五會社ハ總契約高
中契約件數ニ於テ百分ノ九十六、六契約金額ニ於テ百分ノ九十五、八ヲ有スルヲ見
ル又「グイクトリア」及「フリードリッヒ、ウキルヘルム」三會社ノ契約高ヲ十一會社
ノ總契約高ニ比スルニ二會社ハ契約件數ニ於テ百分ノ八十九、四契約金額ニ於
テ百分ノ八十八、六ヲ有ス即チ獨逸ニ於ケル人民保險契約高ノ約八割九分ハ「グ
イクトリア」及「フリードリッヒ、ウキルヘルム」ノ二會社ニ集中セラレ居ルナリ
斯ノ如ク簡易保險事業ハ理論上小會社ノ競争ヲ排シ大組織ヲ以テスルニアラ

サレハ其效果ヲ舉グル能ハサルノミナラス上述シタル統計ノ結果ニ依リテ見ルモ小規模ノ事業ハ到底完全ナル事業ノ經營ニ適セス大組織ヲ以テスルニアラサレハ成功シ難キノ事實ヲ明ニ反映スルモノト云フヘシ然カモ獨逸ニ於ケル人民保險改良建議案カ今日ニアリテ尙ホ一層競争ヲ避ケテ事業ノ集中ノ必要アルヲ叫ヒツ、アルヲ思ヘハ我邦ノ普通生命保險事業ノ狀況ニ照シ將來ノ簡易保險事業ニ對スル施設ニ關シ一種ノ感想ヲ惹起セスンハアラサルナリ蓋シ理論ト實際ノ一致カスノ如ク顯著ナルノ事實ハ稀ニ見ル所ナレハナリ

第十章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ

組織

現今外國ニ於テ行ハレツ、アル簡易生命保險事業ノ組織ヲ見ルニ營利ヲ目的トシテ私立會社カ之ヲ營業スルモノアリ公益ヲ目的トシテ國家カ之ヲ經營スルモノアリ又國家自ラ之ヲ營マサルモ公共團體其他之ニ準スヘキモノカ之ヲ施設シ若クハ補助シツ、アルモノアリ

一、**私立會社**、世界ニ於ケル簡易生命保險事業ノ大部分ハ私立會社ノ營業ニ屬ス此等ノ私立會社ハ亦同時ニ普通生命保險ヲ營業ノ目的ト爲セル株式會社若クハ相互會社ナリ今英米獨ノ重ナル簡易保險會社カ同時ニ普通生命保險事業ヲ營ミツ、アル狀況ヲ示サン爲メ千九百四年ニ於ケル兩種ノ保險契約高ヲ比較スルニ即チ左表ノ如シ

英	ブルデンシアル	普通	七四二、一四六 ^件	八二、六三七、七六一 ^磅
		工業	一五、五七七、一六一	一五四、九四二、一八一

米	獨	件數	金額
メトロポリタン	ワフキリドム	人民	一、七〇九、三七八
工業	普通	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
七、六一四、七二九	人民	普通	二、四七、七五二、〇〇〇
一、一二七、八八九、二二九	工業	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
三、二四、三三八	普通	普通	二、四七、七五二、〇〇〇
三、八〇、七四〇、七六九	工業	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
五、六四二、三三五	普通	普通	二、四七、七五二、〇〇〇
六、七五、九九二、二三九	工業	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
一、四四、五九八	人民	人民	二、四七、七五二、〇〇〇
七、〇三、五一七、〇〇〇	普通	普通	二、四七、七五二、〇〇〇
二、五、四八、三〇六	工業	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
四、九〇、一六七、〇〇〇	人民	人民	二、四七、七五二、〇〇〇
四、六、三二〇	普通	普通	二、四七、七五二、〇〇〇
一、七〇九、三七八	工業	工業	二、四七、七五二、〇〇〇
二、四七、七五二、〇〇〇	人民	人民	二、四七、七五二、〇〇〇

更ニ普通保險契約件數及金額各百ニ對スル簡易保險契約ノ件數及金額ノ割合ヲ示セハ左ノ如シ

國名	會社名	件數	金額
英	ブルデンシアル	二、〇九九	一八八
米	メトロポリタン	一、八三四	三二九
同	ブルデンシアル	一、七四〇	一五一

獨　　ヅキクトリア　　一七六三　　七〇
 同　　ワフキリドム　　三、六九〇　　一、一九六
 即チ之ニ依リ簡易保險カ普通保險ヲ目的トスル私立會社ノ兼營セラル、狀況ノ一斑ヲ知り得ヘシ然シテ私立會社組織ニ付テハ本論ニ於テ故ラニ之ニ論及スルノ必要ナカルヘシ

二、官業組織、簡易保險ヲ官業組織ニ依リ經營シ居ルモノハ亦二種ニ分ツコトヲ得ヘシ一ハ私立會社ト同シ方法ニ依リ非營利的ニ政府カ經營セルモノ一ハ全然救恤ノ目的ヲ以テ政府カ經營セルモノナリ然シテ前者ハ英國及瑞西ニ行ハル、モノニシテ後者ハ新西蘭等ニ行ハル、モノ是ナリ

三、英國ニ於テハ郵便事業ノ副業トシテ簡易保險カ經營セラル、ヲ見ル此制度ハ蓋シグラッドストン氏ノ主張ニ繁ルモノニシテ其動機ハ千八百五十二年英國議會ノ討議ニ於テ英國生命保險事業ノ狀況ニ關シ種々不都合ナル事實ノ曝露セラレタルニアリ然シテ其計畫ハ千八百六十一年ニ至リテ實施セラレ英國郵便貯金局ハ私營工業保險ト同一主旨ニ基ク方法ニヨリ簡易保

險事業ヲ營ムニ至レリ然レトモ爾後其發達著シカラス其成績私立會社ノ工業保險ニ比シ甚タ不十分ナリ然シテ其十分ノ成效ヲ得サル原因ニ付テハ種々研究セラレタル結果主トシテ其理由ハ代理店及集金人ノ制度ノ極メテ不十分ナルニアリト認メラレタリト云フ

四、瑞西ニ於テハ簡易保險ニ關シ一種ノ官營組織アリ即チ「ベルン」ニ於ケル瑞西國郵便局及鐵道局ガ國內ノ當該局員ニ限リ實施シ居ルモノニシテ私營保險ノ場合ト大體ニ於テ同一ノ方法ニ依ルモノナリ然シテ此組織ニアリテハ保險料ノ支拂且ツ其集金ヲ容易ナラシメンカ爲メ保險料支拂ノ爲メニ郵便切手ヲ用フルコトヲ許シ又保險事務局ハ聯邦議會ノ要求アルトキハ全國ハ簡易保險ノ爲メ無償ニテ積立金、保險證券及帳簿等ヲ聯邦ニ交付スルノ義務ヲ負ヒ且聯邦議會ハ常ニ之ヲ利用シ得ルノ權利ヲ保留スト云フ

ハ、新西蘭ニ於ケル千八百九十八年ノ法律ニ據ル制度ハ一種ノ救恤制度ニシテ保險ニアラストノ議論モアリ得ヘシ然レトモ保險ノ意義ヲ廣義ニ解釋スレハ一種ノ簡易保險ナリト云ヒ得ヘキカ如シ即チ新西蘭國內ニ於テ二十

五年以上繼續シテ一定ノ住所ヲ有シ四年以上引續キ外國ニ旅行フルコトナク財產二百七十磅以下ニシテ收入五十二磅ヲ超過セサル等ノ要件ヲ具フルモノニアリテハ政府ヨリ一ケ年十八磅ノ養老金ヲ附與スルノ制度ナリ今其詳細ヲ知ルヲ得スト雖トモ丁抹及ニユウ、サウス、ウエールス等ニモ此種ノ制度アリト云フ

三、其他ノ制度、簡易保險事業ノ組織ニ關シ其他注目スヘキ制度ハ獨逸ノウイルヘルム皇帝救恤資金及瑞西ノ「サン、ガルレン」ニ行ハル、モノ是レナリ

イ、獨逸ニ於テハ千八百七十八年以來ウイルヘルム皇帝危難救濟紀念トシテ在伯林ウイルヘルム皇帝救恤資金ナルモノ設ケラレ之ヲ基金トシテ一種ノ簡易保險事業カ營マル、ニ至レリ即チ五馬克ヲ以テ一回ノ保險料ト定メ保險料ノ支拂ハレタル度數ニ應シテ保險金額ヲ累加スルコト、シ年金千馬克若クハ之ニ相當スル一時金ヲ以テ保險金額ノ最高限ト爲シ勞働不能ノ場合ノ外五十四歳以上ニ達スルニアラサレハ保險金ノ支拂ヲ開始セサルモノナリ然シテ此制度ノ特殊ナル利益ハ其營業費カ被保險者ノ負擔ニ歸セスシ

テ其基本金ノ利息ニ依リテ支拂ハル、ニアルナリ
 口、瑞西ノ「サン、ガルレン」ニ於テハ其町村ノ人民カ簡易保險ニ加入シタル場
 合ニ於テ其保險料ノ一部ヲ保險契約者ニ代リテ町村カ之ヲ負擔スルノ制度
 アリ然シテ其保險料ノ中保險契約者自ラ支拂ヒタル部分ニ對スル保險金額
 ハ保險契約者カ自由ニ之ヲ處分シ得レトモ町村カ増拂シ若クハ補助シタル
 部分ニ對スル保險金ニ付テハ自由ニ處分スル能ハス却テ其權利ハ町村ニ歸
 屬ス又保險契約者カ保險料ノ支拂ヲ怠リタル爲メ解約セラレ、カ如キ場合
 ニアリテハ町村ハ代テ其保險料ヲ支拂ヒ得ルモノト爲セリト云フ
 斯ノ如ク簡易保險事業組織ニ付テハ私立會社組織アリ官業組織アリ又其他ノ
 變態モアリ一率ニ其組織ヲ一定シ得ヘキモノニアラス各其國ノ事情ニ應シテ
 適當ナル施設ヲ爲サルヘカラサルハ勿論ナリ

第十一章 外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關 スル法令

簡易生命保險ハ最近ニ發達シタルモノニシテ之カ爲メ特ニ制定セラレタル法
 令未タ少ク又簡易生命保險ハ普通生命保險ノ一種ナルカ故ニ一般生命保險ニ
 對スル規定以外ニ特ニ簡易生命保險ニ對シテ規定ヲ設ケラレタルモノ亦少シ
 唯本論起稿ニ當リ調査シ得タル二三ノ立法例ヲ列舉セントス

一、英國ニアリテハ工業保險ニ關係ヲ有スル法律三アリ千八百七十年生命保
 險會社條例、千八百九十六年フレンドリー、ソサイエチー條例及千八百九十六年
 コレクティング、ソサイエチー及工業保險條例是レナリ

千八百七十年生命保險會社條例ハ總テ生命保險會社ニ對シテ其效力ヲ有スル
 モノニテ工業保險會社モ亦此條例ノ適用ヲ受ク即チ會社ハ一定ノ形式ニ依リ
 商務省ニ提出スヘキ每事業年度報告ヲ作成スルコトヲ要ス然シテ商務省ハ會
 社ノ財産狀況及諸種ノ計算ヲ公表スル爲メ會社ノ報告ヲ公刊スルナリ又千八

百九十六年フレンドリー、ソサイエティー條例ハ主トシテ工業保險中小兒ノ死亡保險ニ關スル規定ヲ有スルモノナリ

千八百九十六年八月七日ニ發布セラレタル、コレクティング、ソサイエティー及工業保險會社ニ關スル條例ハ工業保險ノ性質上ノ弱點ニ對シ適當ナル數種ノ規定ヲ含ム即チ第一條ニ於テハ二十磅以下ノ保險金額ヲ契約シタル工業保險ニアリテ保險料ヲ支拂フヘキモノ、住所カ會社ノ本店所在地ヨリ十哩以上ノ距離ヲ有スルトキハ集金人ヲ派シテ保險料ヲ領收スルコトヲ要スト爲シ且ツ其集金ノ時期ハ二ヶ月以上ヲ隔ツルコトヲ得スト爲セリ是レ即チ第五章簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル比較中保險料支拂ノ方法ノ項等ニ照シ簡易保險事業ノ性質上適當ナル規定ナリト云ハサルヘカラス又第二條ニ於テハ保險料不拂ノ爲メ契約ヲ失効セシメントスル場合ニアリテハ先ツ被保險者ニ對シ其支拂フヘキ金額ヲ記載シ且ツ被保險者カ一定ノ期間内(十四日以上)ニ於テ會社ノ指定シタル場所ニ之ヲ支拂フニアラサレハ契約ハ其效力ヲ失フヘキ旨ヲ催告シタル通知書ヲ發スルコトヲ要シ其通知アリタルニモ拘ラス尙ホ延滞金額

カ支拂ハレサル場合ニアラサレハ保險料不拂ノ爲メニ契約ヲ失効セシムルコトヲ得スト爲シ更ニ第十六條ニ於テ通知ハ書面ヲ以テ直接送達スルカ若クハ郵便ニ付スルコトヲ要ス等ノ規定ヲ設ケタリ即チ是レ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點中失効契約ニ關シテ述ヘタル弊害ヲ成ルヘク防遏セントスル主旨ニ出ツルモノナリ其他第七條ニ於テ第一條ニ所謂集金人ノ意義ヲ定メ第八條ニ於テ集金人ノ兼業ヲ制限シ更ニ第十四條ニ於テ集金人ニ對スル罰則ヲ定メタル等工業保險ニ於テ其性質上必要ナル集金人ニ關シ比較的詳細ナル規定ヲ設ケタルヲ見ル

二、米國ニ於ケル各州ノ法律中工業保險ニ關シ特種ノ規定ヲ爲シタルモノ甚タ少キカ如シ紐育州改正法律ニ於テモ一二附加保險料等ニ關シ普通保險ニ對スル例外的規定ヲ設ケタルモノアルノミナルカ如シ唯「マサチューセツ」州千八百九十五年ノ法律ニ依レハ其州法ニ依リテ成立シ若クハ其州内ニ於テ營業スル生命保險會社カ生命ニ關スル契約ヲ締結セントスルトキハ被保險者ノ身體ニ付免許ヲ受ケタル醫師ノ醫的診査ヲ行ハサルヘカラス保險會社其役員若クハ代

理人等カ此規定ニ違反シタルトキハ會社ハ一事件毎ニ五弗乃至百弗ノ罰金ヲ科セラルヘシト爲シタリ此規定ハ一般生命保險會社ニ對スル規定ナレトモ工業保險會社ニ對シテモ除外の規定ヲ設ケス同シク其適用ヲ爲スモノ、如シ今此研究ニ於テ法文上此以上ノ根據ヲ得ル能ハサレトモ獨逸ノマーネス氏ハ其著「フェアジッヘルングス、ウーゼン」ニ於テ此醫的診查ノ強制ハ工業保險會社ニ對シテモ適用アルモノナリト斷定セルヲ見ル兎ニ角工業保險ハ無診查保險ナリト一般ニ稱セラル、ニ對シテ著シキ例外ナリト雖トモ亦第七章簡易生命保險ノ事業ノ性質上ノ弱點「中死亡ノ高率中ニ述ヘタル如ク米國ニ於ケル工業保險ノ死亡率ノ特ニ高率ナルヲ思ヘ」ハ此規定モ決シテ偶然ノ結果ニアラサルヘキナリ尙ホ我邦ニ於ケル普通生命保險ノ醫的診查ノ粗略ナル事實ト對照シテ頗ル研究ノ價值アルモノト云フヘシ

三、獨逸ニアリテハ人民保險ニ關シ特別ノ規定ヲ有スル法文甚タ少キカ如シ保險契約法草案議會案ニアリテハ其大體ノ主旨トシテ人民保險、勞働保險、死亡金庫等其他小額生命保險ハ其種類モ多ク其體様モ判然セサルモノ少カラス故

ニ普通生命保險ニ關スル規定ヲ悉ク此等ニ適用スル能ハス又此等ノミニ對スル特別規定ヲ制定スルモ亦困難ナル事情アリ從テ草案中一般生命保險ニ關スル規定ニ付テモ此等ノ小額保險ニアリテハ主務官廳ノ認可ヲ得テ別段ノ規定ヲ設ケ得ヘキモノアルコトヲ認メタリ即チ人民保險ニ關シテハ草案第百八十六條ニ於テ草案第三十八條第三十九條第四十二條及第百七十條乃至第百七十五條ニ對スル特別ノ規定ヲ設ケタリ蓋シ草案ハ一般ノ生命保險契約ニ關シ第三十八條ニ於テ保險期間ノ開始以前ニ若シ開始ノ際ニ於テ支拂ハルヘキ保險料カ適當ノ時期ニ於テ支拂ハレサリシトキハ其支拂前保險事故カ發生スルモ保險者ハ其責任ヲ免ルヘク又保險者ハ一ヶ月ノ猶豫期間ヲ與ヘテ保險關係ヲ解除スルコトヲ得ヘシ但猶豫期間滿了以前ニ其支拂アリタルトキハ之ヲ解除スルコトヲ得スト爲シ第三十九條ニアリテハ保險期間開始後支拂ハルヘキ保險料カ正當ノ時期ニ於テ支拂ハレサリシトキハ保險者ハ保險契約者ニ對シ其費用ヲ以テ支拂期間ヲ指定スルコトヲ得ヘク然シテ保險事故カ發生スルモ其期間カ既ニ經過シタル後ニシテ且其發生ノ時マテニ保險契約者カ保險料、其延

滯利息並ニ費用ヲ支拂ハサリシ場合ニ於テハ保險者ハ其責任ヲ免ルヘシ又其期間カ經過シテ尙ホ保險契約者カ其支拂ヲ遲滯シオル場合ニ於テハ保險者ハ直チニ保險關係ヲ解除スルコトヲ得ヘシ然シテ保險者ハ支拂期間及其經過ノ結果ニ付テハ書面ヲ以テ之ヲ表示シ置クコトヲ必要トシ且其期間ハ二週間以下ナルコトヲ得ス云々等ノ規定ヲ爲シ更ニ第四十二條ニ於テ第三十七條及第三十八條ノ規定ニ關シ保險契約者ニ對シ不利益ナル規定ヲ設クルモ保險者ハ之ヲ主張スルコトヲ得スト爲セリ又草案ハ一般生命保險契約ニ於テ保險契約カ三ヶ年以上繼續シ其間保險料カ完全ニ支拂ハレタル場合ニ關スル規定ヲ設ク即チ第七十一條ニ於テ保險者ハ保險年度ノ終リニ於テ其契約ニ對スル責任準備金ヲ拂濟證券ニ振替フルコトヲ許スヘキ旨ヲ規定シ第七十二條ニ於テ保險者ハ第三十九條ニ依リ保險契約ヲ解除スルトキニハ之ヲ拂濟證券ニ振替フヘキ旨ヲ規定シ第七十三條ニ於テ死亡ニ關スル定額保險ニアリテハ買戻又ハ解除ニ依リ契約カ消滅シタルトキハ責任準備金ヲ返還スヘキ旨ヲ規定シ第七十四條ニ於テ前條ノ場合ニアリテ保險料カ一時拂ナルトキハ三ヶ年

ヲ經過セサルモ同一ノ主旨ニ據ルヘキ旨ヲ規定シ更ニ第七十五條ニ於テ以上ノ規定ニ關シ保險契約者ニ不利益ナル規定ヲ設クルモ保險者ハ之ヲ主張スル能ハサル旨ヲ認メタル規定ヲ設ケタリ然ルニ第八十六條ニ於テ前記ノ第三十八條、第三十九條、第四十二條並ニ第七十條乃至第七十五條ノ規定ニ關シテハ人民保險其他ノ小額保險ニ限り主務官廳ノ認可ヲ得テ此等ノ規定ト異ル約款ヲ使用スルコトヲ得ル旨ヲ明ニセリ

然シテ此草案カ稱フル如ク人民保險其他ノ小額保險ニ關シテハ其體樣及其發達ノ程度ニ於テ普通生命保險ノ規定ヲ悉ク適用スル能ハス又別ニ一個ノ特別法令ヲ發布スルコト困難ナリトノ主旨ハ獨逸ノ實情ニアリテハ之ヲ認ムルヲ得ヘシ然レトモ第八十六條ノ規定ノ如キハ之ヲ人民保險ニ關シテモ適用スルニ於テハ各國ニアリテ簡易保險ノ弱點トシテ救済ニ焦慮シツ、アル保險料不拂ニ因ル失效問題及失效ノ結果ノ救済トシテ論セラル、解約返戻金拂戻及拂濟證券振替等ノ問題ニ關シテ却テ多數ノ學說ノ趨勢ト反對シタル結果ヲ生スヘキモノニアラサルカ甚タ疑ハサルヲ得ス尤モ主務官廳ノ認可ヲ條件トスル

ヲ以テ或ハ斯ノ如キハ全ク杞憂ニ屬スヘキカ尙ホ此點ニ關シテハ「第十一章外國簡易生命保險事業改良意見」ヲ参照セラレシコトヲ望ム
要スルニ簡易保險ハ最近ニ發達シタルモノナルカ故ニ之ニ關スル特別法令若クハ特別規定ヲ多ク知ル能ハサルハ深ク遺憾トスル所ナリ固ヨリ論者ノ薄識ニ因ルコト多カルヘケレハ尙ホ之カ研究ニ努ムヘシト雖トモ爰ニハ今之ヲ知リ得タル所ヲ掲ケテ參考ニ資セントスルノミ

第十二章 外國ニ於ケル簡易生命保險事業

改良意見

簡易生命保險事業ハ重要ナル社會政策ノ實現ナリト雖トモ其開始セラレタルハ最近ノ事實ニ屬ス故ニ未ダ十分ノ經驗ト研究アリタルモノト云フコト能ハス從テ其改良ニ關シテモ種々ナル議論アリ又各國其事情ニ應シテ研究スヘキ問題少カラサルヘシ然レトモ今爰ニ知リ得タル各國ニ於ケル改良意見ヲ綜合スレハ大體二種ニ分ツコトヲ得ヘシ即チ一ハ現今ニ於ケル私營組織ノ下ニ於テ其事業方法ニ改良ヲ加ヘントスルモノニシテ他ノ一ハ更ニ進ンテ事業組織ニ改良ヲ加ヘテ現今ノ私營組織ニ於ケル缺點ヲ救濟セントスルモノナリ然シテ共ニ簡易生命保險ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價及ヒ保險料不拂ニ因ル契約ノ失効ノ問題ニ關スルモノ多シ

一、現今ノ私營組織ノ下ニアリテ之ニ改良ヲ加ヘ此事業ノ弱點ヲ救濟セントスルモノハ米國及獨逸ニ於テ多ク主唱セラル、ヲ見ル今其大略ヲ述フレハ左

ノ如シ

イ、保険料ヲ成ルヘク低廉ナラシメ以テ下級人民ヲ顧客トスル簡易保險事業ノ效果ヲ多大ナラシメントスルハ多クノ學者ニ依リテ研究セラル、所ナリ然シテ前ニ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ニモ述ヘタル如ク簡易保險ニ於ケル死亡率ノ高クシテ從テ純保險料カ普通保險ヨリ高價ナラサルヘカラサル點ニ付テハ之ヲ救済スルコト甚タ困難ナリ故ニ論者ノ多クハ營業費ヲ節約シ以テ營業費ノ爲メニスル附加保險料ヲ減少シ之ニ依リテ營業保險料ノ減少ヲ期セントスルナリ然シテ簡易保險ニ於テ特ニ營業費ヲ多大ナラシムル原因ハ其契約ノ性質上保險料小額ニシテ契約件數多ク且保險料集金ノ方法ヲ採ルカ爲メ諸種ノ計算及ヒ記帳就中新契約及集金ニ關スル事務費ノ多大ナルニアリ從テ此點ニ關シテ論スルモノ多シ即チ企業者勞働組合若クハ職業組合等ト連絡シテ團體契約ヲ爲シ以テ新契約費ヲ著シク減少セシメ或ハ保險料ヲ企業者若クハ組合ニ於テ便宜取纏メシムル等ノ便法ヲ採リ又郵便局ト連絡シテ一定ノ用紙ニ郵便切手ヲ貼付セシメテ保險料ノ

納入ニ代ヘシメ以テ保險料集金ノ冗費ヲ省カンコトヲ主張スルモノ等是ニナリ

□、保險料不拂ニ因ル契約ノ失效ニ關スル意見ニ付テハ其發生ヲ豫防セントスルモノト發生シタル失效ノ弊害ヲ軽減セシメントスルモノトノ二アルヲ見ル

失效契約ノ發生ヲ豫防スルノ手段ハ失效豫告ノ方法及保險料集金ノ方法は是レナリ然シテ失效豫告ノ方法トハ保險契約者カ保險料ノ支拂ヲ怠リタルカ爲メ其契約ノ效力カ失ハレントスル場合ニ於テ先ツ保險者ヲシテ一定ノ期間ヲ定メテ其期間内ニ延滞保險料ヲ支拂フニ於テハ契約ハ有效ニ繼續スヘク若シ空シク其期間ヲ經過スルトキハ契約ハ其效力ヲ失フヘキ旨豫メ催告セシムルモノ是レナリ此手段ニ依ルトキハ保險契約者カ繼續保險料支拂ノ餘裕アルニモ拘ハラス不識若クハ懈怠ニ依リテ契約ヲ失效セシメラレントスル場合ニ於テ之ニ警戒ヲ與ヘ從テ失效契約ノ減少ヲ來サシムルノ效果アリ然シテ此ノ如キ事情ハ下級人民ニ最モ多キコトナルカ故ニ此手段ハ保險

契約者ノ側ヨリ之ヲ見レハ甚タ事情ニ適合シタルモノト云ハサルヘカラス
 現ニ英國ノ如キ千八百九十六年八月七日付法律第三條ニ依レハ全然此主旨
 ヲ實行シ居ルコト前ニ第十一章外國ニ於ケル簡易生命保險ニ關スル法令ノ
 項ニ述ヘタルカ如シ又同項ニ述ヘタル如ク獨逸保險契約法案議案第三
 十八條及第三十九條ニ於テモ亦同様ノ主旨ヲ普通保險ニ關シテ認メタリ然
 レトモ同草案ニアリテハ第八十六條ノ規定ニ依リ此等ノ規定ハ簡易保險
 等ニ關シテハ主務官廳ノ認可ヲ得テ變更シ得ルコトヲ認メタリ且ツ獨逸保
 險學會カ前記第三十八條及第三十九條ト同一ノ主旨ヲ認メタル政府案ニ付
 テ爲シタル批評ヲ見ルニ斯ノ如キ規定ハ通知ノ爲メニ必要ナル郵稅其他ノ
 事務費ヲ比較的多額ニ増加セシメ不要ニ保險料ヲ高價ナラシムルモノニシ
 テ殆ント簡易保險事業ノ實行ヲ不能ナラシムルモノナリト主張シ恰モ英法
 ノ規定ト正反對ニアルノ觀アリ即チ英法ノ規定ハ保險契約者ノ利益ノ爲メ
 ニ設ケラレタルモノニシテ獨逸保險學會ノ主張ハ保險者ノ利便ノ爲メニ唱
 ヘラル、所ナルコト明ナリ今一概ニ其利害ヲ判斷スル能ハス唯獨逸學者ト

雖トモ簡易保險ノ弱點トシテ失效契約多大ノ弊ヲ救ハントスルノ議論ハレ
 キジス氏其他ノ諸說ニ於テ十分之ヲ認メ得ル所ナリ
 又失效契約ノ増加ヲ防カンカ爲メ保險料集金ノ方法ヲ採ルコトハ今日ニ於
 テ新シキ議論ニアラス簡易保險ノ顧客タル下級人民ニ對シテハ普通保險ニ
 於ケル如ク保險料ノ持參拂ヲ望ム能ハサルコトハ其四圍ノ事情ニ於テ明ナ
 リ英國ニ於ケル官營簡易保險カ私營保險ニ比シ著シキ失敗ヲ爲シタル重ナ
 ル原因ハ此保險料集金ノ方法ノ欠缺ニアルコト今日ニ於テハ英國ニ於テ均
 シク認ムル所ナリ故ニ此方法ハ現今ノ簡易保險ニ付テハ一般ニ行ハル、所
 ニシテ故ラニ之ヲ論スルノ必要ナカルヘシ現ニ英國ノ千八百九十六年ノ法
 律ニ於テモ工業保險會社ハ其保險料領收ノ爲メ集金人ヲ差出スヘキ義務ヲ
 有スルコト前ニ第十一章外國ニ於ケル簡易保險ニ關スル法令ノ項ニ述ヘタ
 ルカ如シ

契約失效ノ弊害ヲ輕減セシムルノ手段トシテ多ク論セラル、所ハ契約ノ復
 活、解約拂戻及拂込證券ノ振替ノ問題はレナリ

失効契約ノ復活ハ普通保險ニ於テモ認メラル、所ナルト共ニ簡易保險ニ於テモ之ヲ認ムルモノ多ク又之ヲ認メテ以テ保險契約者カ受クヘキ損失ヲ回復セシムルコトノ必要ナルコト亦一般ニ主張セラル、所ナリスクーリング氏ノ言ニ依レハ英國ニ在リテハ失効契約ニ就テハ最後ノ保險料支拂ノ日ヨリ一箇年ヲ經過セサル場合ニ在テ身體ニ異狀ナク且ツ延滞保險料ヲ支拂フトキハ別段ノ負擔ナクシテ契約ヲ復活セシムルヲ常ト爲スカ如シ又ホフマシカ米國「ブルデンシャル」會社ニ就テ云フ所ニ依レハ保險料不拂ノ爲メ保險證券カ失効シタル後尙ホ被保險者カ生存シ且ツ其健康佳良ナルトキハ何時ニテモ延滞保險料ノ支拂ニ依リテ契約ヲ復活セシム然シテ之カ爲メ醫的再診査ノ費用若クハ證券書換ノ手数料其他ノ負擔ヲ必要トスルコトナシ「ブルデンシャル」會社ノ經驗ニ依レハ千九百三年ニ於テハ失効契約中百分ノ十六半千九百四年ニ於テハ百分ノ十六ノ復活ヲ見タリト云ヘリ即チ保險契約者ノ懈怠若クハ資力薄弱ノ爲メ繼續保險料ヲ支拂ハス爲ニ折角締結シタル契約ヲ失効セシメ從來ノ辛苦ヲ殆ント水泡ニ歸セシメントスルニ當リ比較

的寛裕ノ方法ニ依リ別段ノ費用ヲ負擔セシムルコトナクシテ契約ノ復活ヲ認ムルコトハ失効契約多大ノ弊ヲ救済スルニ效果アルモノニシテ亦下級人民ヲ目的トスル簡易保險事業ニ於テ最モ適當且ツ必要ナル手段ナリト云フヘシ

保險料ノ不拂ニ因リ契約カ失効シタル場合ニ於テ所謂解約返戻金ヲ與フルコトハ普通保險ニ於ケルト同シク簡易保險ニ於テモ亦行ハル、所ニシテ之ニ依リテ契約失効ニ因ル損失ヲ幾分カ輕減セシムルモノナリ即チ一般ニ三年若クハ五年ヲ經過シタル後ニアリテハ保險契約者ハ契約ノ失効ニ依リ全然其權利ヲ失フモノニアラス責任準備金ノ百分ノ六十六乃至八十ヲ拂戻スヲ常トス然レトモ此方法ハ失効ノ結果ニ對シ一般ニ想像セラル、如ク十分ナル效果ヲ有スルモノニアラス簡易保險ニ於ケル契約ノ失効ハ前ニ「第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點」中ニモ述ヘタルカ如ク其大多數ハ契約後一年若クハ二年内ニ發生スルモノニシテ此時期ニアリテハ未タ責任準備金ノ積立テラレタルモノ殆ント無ク保險契約者ニ返還スヘキ金額ハ殆ント存

セサルナリ加之假令返戻金額ノ存在スル場合ニ於テモ其權利ヲ實行シテ保險者ニ對シ拂戻ヲ請求スルカ如キハ下級人民ニ適當セサルコトニシテ多クノ權利ハ拋棄セラル、ノ傾向ヲ有スルモノナリ故ニ解約返戻金ノ問題ニ關シテハ猶ホ十分ナル講究ヲ爲スヘキ餘地ノ存スルモノナリ

契約失效ノ場合ニ於テ全然之ヲ消滅セシムルコトナク責任準備金ヲ振替ヘテ拂濟保險證券ヲ發行スルコトモ亦簡易保險ニ認メラル、所ニシテ大體ニ於テ普通保險ト同一ノ原則ニ依ルヲ常トス即チ契約カ三年以上繼續シテ失效シタル場合ニハ其契約ノ爲ニ積立テタル責任準備金額ノ全部若クハ一部ヲ以テ一時拂保險料ニ計算シ之ニ對シテ拂濟保險證券ヲ發行シ之ニ依リ失效ノ弊ヲ輕減セントスルモノナリ然シテ簡易保險ニ於ケル失效契約ハ前項ニモ述ヘタルカ如ク一年度若クハ二年度ニ於テ最モ多キモノナレトモ此方法ハ三年以後ニアラサレハ實行スルコト困難ナルコト解約返戻金ノ場合ト同一ノ事情ニアルヲ以テ比較的其效果少シ然レトモ解約返戻金ノ制度ニ比シテハ著シキ效果アリ何トナレハ解約返戻金ニ付テハ下級人民ハ其權利ヲ

實行セサル傾向多シト雖トモ拂込證券發行ハ下級人民ニ對シ何等ノ手續ノ實行ヲ求メサレハナリ

然シテ獨逸保險契約法草案議會案ハ前ニモ述ヘタル如ク普通保險ニ關シテ第七十條乃至第七十五條ノ規定ニ依リ生命保險契約カ三ヶ年以上繼續シタル場合ニ於テ保險契約者ノ請求アリタルトキ若クハ保險料不拂ニ因リ契約カ失效シタルトキハ其契約ニ對スル責任準備金ヲ以テ拂濟保險證券ノ一時拂保險料ニ振替フヘキ旨ヲ認メ又死亡保險ニ就テハ解約ニ因リ契約カ消滅シタルトキハ其責任準備金ヲ返還スヘキコトヲ定メ更ニ此等ノ規定ニ關シ保險契約者ニ不利益ナル規定ヲ保險約款ニ設クルモ其效力ヲ有セサルヘキコトヲ規定セリ然ルニ簡易保險等小額保險ニ關シテハ附則第八十六條ニ於テ此等ノ規定ハ主務官廳ノ認可ヲ得テ相當ノ變更ヲ加フルヲ得ヘキコトヲ定メタリ簡易保險ニ關シテハ何故ニ斯カル例外的規定ヲ設クル必要アリヤ又獨逸ノ主務官廳ハ簡易保險ニ關シ此等ノ規定ノ變更ヲ認ムヘキヤ將タ幾許ノ程度マテ之カ變更ヲ認ムヘキヤ等ニ付テハ何等知ル能ハスト雖

トモ兎ニ角解約返戻金及拂濟證券振替ニ關シテハ普通保險ニ對スル前記ノ規定ハ寧ロ簡易保險ニ於テモ適當且ツ必要ナルモノニアラサルカ
要スルニ簡易生命保險ヲ私營組織ニ於テ營ム場合ニ於ケル改良意見種々アリト雖トモ英米獨ノ各國ニ共通ニシテ且ツ重ナル問題ハ簡易保險ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價並ニ失效契約ノ多大ニ關シテ之ヲ救濟セントスルモノニシテ前述シタル所ニ於テ其大略ヲ掲ケタリト信ス

二、現今ニ於ケル私營組織ニ改良ヲ加ヘ若クハ全然之ヲ變更シ以テ簡易生命保險事業ノ缺點ヲ救濟セントスル意見ハ多ク獨逸ノ學者ニ依リテ唱導セララルヲ見ル

イ、勞働者貯蓄生命保險說、此說ハヒッツエ氏ニ依リテ主張セララル、モノニシテ「スタットガルト」ニ於ケル普通獨逸保險組合ニ於テ實行サレ居ルモノナリ此說ニ依ルトキハ被保險者ハ其死亡若クハ一定年齢ノ到達ニ依リ一定金額ノ支拂ヲ受クルモノニアラス又保險契約者モ一定ノ時期ニ於テ繼續シテ保險料ヲ支拂フヘキ義務ヲ負擔セス唯保險契約者ハ保險料ノ額、其支拂ノ

時期及度數ニ關シ全ク任意ニ之ヲ拂込ムコトヲ得然シテ其拂込アリタル毎ニ保險技術ニ基キ之ニ對スル保險金額ヲ定メ之ヲ繰返ス毎ニ漸次ニ保險金額ヲ累積増加セシムルモノナリ是レ貯蓄生命保險ノ稱アル所以ニシテ論者ハ勞働組合ノ媒介ニ依リ多大ノ營業費ヲ節約セント主張スルナリ

此說ニ對シテハ種々ナル反對意見アリ勞働者ノ如キ下級人民カ任意ニ支拂ヒ得ヘキ一回ノ保險料額ハ極メテ僅少ナルモノニシテ從テ之ニ對スル保險金額モ甚タ寡少ナラサルヘカラス故ニ假令勞働者ノ如キ生活程度ノ低キモノニアリテモ其必要ニ應スヘキ保險金額ヲ得ンカ爲メニハ多クノ度數ニ於テ之ヲ繰返シ漸次保險金ヲ蓄積セサルヘカラス然シテ此方法ニ依ルトキハ一回ノ出資ハ其時ニ於ケル一時拂保險料トシテ保險金額ヲ計算スルモノナルカ故ニ勞働者ノ年齢ノ増加ト共ニ保險料モ漸次ニ高價トナラサルヘカラス即チ保險契約者ハ最初ノ契約當時ノ保險料額ヲ支拂フノミニテハ足ラス故ニ斯ノ如ク漸次遞増スヘキ保險料ヲ豫想シテ自己ノ希望スル保險金額ニ達セシメントスル計畫ハ就中下級人民ニトリテ困難ナルコトナリ此點ニ於

テ一般ノ簡易保險ニ於テ將來ノ保險料額ノ一定シ居ルニ比シ甚タ不便ヲ感セサルヲ得ス又此方法ニ於テハ保險金額ヲ漸次累積スヘキモノナルカ故ニ被保險者若クハ保險金受取人ハ其受取ルヘキ保險金額ヲ豫メ一定スル能ハス從テ下級人民カ遺族若クハ老後ノ爲メノ計ヲ爲スニ於テ甚タ不都合ナリ若シ保險契約者カ遽カニ死去スルコトアラハ保險契約者カ豫期シ且ツ遺族ノ爲メ必要ナルヘキ保險金額ヲ得ルコト能ハスシテ保險ノ效果ノ大部分ヲ失フヘキヲ以テナリ又此方法ニ於テハ任意ノ時期ニ任意ノ金額ヲ支拂ハシメ且ツ任意ニ之ヲ繰返サシムルモノナルカ故ニ生命保險ノ一意義ナル強制貯蓄ノ效果ヲ全然失ハシムルモノナリ強制貯蓄ハ生命保險契約ニ伴フ結果ニ過キスト雖トモ人心ノ弱點ニ對シ頗ル效果ヲ有スルモノナリ况ンヤ節制ニ乏シキ下級人民ニ於テオヤ勿論此說ノ長所ハ保險料ノ不拂ニ因ル契約ノ失效ヲ全然防禦シ得ル點ニアリト雖トモ亦同時ニ前記ノ如キ缺點ヲ有スルモノナリ故ニ貯蓄生命保險ハ勞働者ヲ目的トスルモノナルニモ拘ハラス下級人民ニ對シテハ其效果比較的少シト云ハサルヘカラス

□、貯蓄生命保險及普通人民保險其營說、此說ハピーターズ氏ノ稱フル所ニシテ前記ノ勞働者貯蓄生命保險ノ缺點ヲ補ハンカ爲メ貯蓄生命保險ト普通ノ人民保險トヲ聯合シテ一ノ組織ヲ立テントスルモノナリ此說ニ於テハ被保險者ノ養老若クハ其遺族ノ生計ノ爲メニ相當ナル一定金額ヲ契約セシメ第一回ノ保險料ヲ拂込ミタル後ハ貯蓄切手ノ方法ニ依リ爾後任意ノ金額ヲ拂込マシメ之ヲ繼續保險料ニ充テタル後殘餘アルトキハ其保險料ノ延滞アリテ契約カ失效セントスル場合ノ保險料ニ充テ若クハ其殘餘ニ相當スル保險金額ヲ増加セシメントスルモノナリ即チ保險契約者ニ餘裕アルトキニ於テ餘分ノ保險料ヲ拂込マシメ置キ以テ保險契約者ニ餘裕乏シク保險料ノ支拂困難ニシテ契約ノ失效ヲ來サントスル場合ニ備ヘシメ之ニ依リテ一方ニハ契約ノ失效ヲ防キ一方ニハ漸次ニ保險金額ヲ増加セシメントスルモノナリ然シテ根本タル保險契約ノ失效ニ對シテハ猶豫期間及復活ノ方法ニ依リテ成ルヘク之ヲ回避セントスルナリ尙ホ此論者カ此制度ノ特色トシテ主張スル所ハ此方法ニ依レハ下級人民ノ貯蓄心全部ヲ利用スルコトヲ得ルニ

アリト云フ蓋シ下級人民カ多少ノ餘裕ヲ得タルトキ一定ノ保險料ヲ支拂ヒタル後ハ其殘餘ハ之ヲ浪費シ易シ若シ此方法ニ依レハ其餘裕ヲ悉ク保險料ニ拂込マシメ置クヲ得ルノ利益アリト云フナリ

此說ハヒツエ氏ノ勞動者貯蓄生命保險說ニ對シ確ニ一步ヲ進メタルモノナリ此方法ニ依レハ被保險者ノ養老若クハ遺族ノ爲メニ一定金額ヲ豫期スルコトヲ得ヘク又生命保險ニ於ケル強制貯蓄ノ意義ヲ沒却セス却テ勞動者ノ貯蓄心全部ヲ利用シテ漸次ニ保險金額ヲ増加セシメ得レハナリ然レトモ此方法ニ依リ簡易保險ノ性質上ノ缺點タル失效契約就中契約締結後短期間ニ著シク發生スル失效契約多大ノ弊ヲ防遏セントスル點ニ於テ普通ノ簡易保險ト幾許ノ差異アルヘキヤ疑ハサルヲ得ス唯簡易保險事業ニ對スル改良意見トシテ勿論價值アリト雖トモ所謂失效契約ノ防禦ニ關シテ改良アリタルモノト稱スル能ハサルヘシ

ハ、國立人民保險局設立說、此說ハハンス、コール氏ノ主唱スル所ニシテ人民保險ハ私營組織ニ於ケルト同一ノ方法ニ依リ且ツ強制スルコトナクシテ國家カ自ラ事業ノ主體トシテ之ヲ營ムヘキモノナリトノ說ナリ此說ノ長所ハ國家ノ信用ニ依リ著シク事業ヲ擴張シ契約ヲ増加セシムルコトヲ得ヘク又郵便局ト連絡スルニ依リテ事務費ヲ容易ニ節約スルコトヲ得ヘシト云フニアリ然シテ此說ニ反對スルモノハ元來官業保險ノ短所トスヘキハ代理店ノ欠缺ニアリ代理店ハ事業ノ發展ニ最モ必要ナル機關ニシテ保險事業ハ之ヲ強制スルカ若クハ代理店組織ニ依ルニアラサレハ成效スル能ハサルコトハ各國ノ事實ニ照シテ明ナルコトナリ然ルニ此說ハ任意ニ契約ヲ締結セシメントスルモノノミナラス官業組織ノ常トシテ代理店ニ關スル設備不十分ナルヘキヲ以テ假令國家ノ信用ヲ基礎トスルモ到底事業ノ發展ヲ望ムヘカラス殊ニ獨逸ニ於ケル改良意見トシテハ一層不都合ナリ何トナレハ獨逸ニアリテハ既ニ幾多ノ私立人民保險會社アリ然シテ此私營組織カ到底改良ノ餘地ナシトスレハ或ハ官業組織ト爲スモ可ナルヘシト雖トモ今日ノ狀況ニアリテハ決シテ斯ノ如キ斷定ヲ爲シ得ルモノニアラス故ニ既ニ成立セル私營組織ヲ強ヒテ廢滅セシメ之ニ代ヘテ官業組織ヲ創始スル必要ナシト主張

スルナリ

二、私立會社共同經營說、此說ハ獨逸ニ於ケル各人民保險會社ヲ糾合シテ一ノ團體ヲ作り此團體ニ依リテ人民保險事業ヲ經營セシメントスルモノナリ然シテ獨逸ニ於ケル實情ニ照シ其實行方法ニ付キ議論ヲ爲セルヲ見ル即チ此聯合團體ハ單ニ組合ニ止メス株式會社若クハ相互會社ト爲シ現在ノ各保險會社ヲ以テ分子ト爲シ共同會社及各會社ハ互ニ被保險者ニ對シ連帶責任ヲ負フヘシト爲ス等詳細ナル議論アレトモ今爰ニ之ヲ詳述スルノ要ナカルヘシ唯此論者カ自說ノ長所トシテ列舉スル所ヲ示セハ大略左ノ如シ此共同經營ノ方法ニ依ルトキハ普通ノ人民保險事業ニ於ケル重ナル缺點ヲ救済シ若クハ少クトモ之ヲ輕減セシムルコトヲ得ヘシ先ツ共同經營ノ利益ハ保險料ヲ低廉ナラシムル點ニアリ元來簡易保險ニアリテ純保險料ノ多額ナルカ爲メ其營業保險料カ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルハ事業ノ性質上止ムヲ得サル所ナリ然ルニ共同經營ノ方法ニ依ルトキハ集金、計算、記帳其他一般ノ營業費ヲ大ニ節約スルコトヲ得ヘク又其團體ノ信用ハ甚タ大ニシテ

且ツ獨占的ナルヲ以テ競争ヲ杜絶シ契約ノ募集ヲ著シク容易ナラシムルコトヲ得ヘシ從テ自カラ低廉ナル保險料ヲ以テ經營シ得ルコト、ナルナリ次ニ共同經營ノ方法ニ依リテ契約ノ失效ヲ防遏シ若クハ其數ヲ減少セシムルコトヲ得ヘシ蓋シ從來失效契約多大ノ原因ハ一ハ各會社競争ノ結果保險契約高ヲ増加スルニ急ナルカ爲メ保險料支拂能力ノ不十分ナル保險契約者ト契約ヲ締結スルモノ多カリシニ依ル然ルニ共同經營ノ曉ニ於テハ競争者ナキヲ以テ其聯合團體ハ安心シテ支拂能力十分ナル保險契約者ヲ選擇スルコトヲ得ヘキナリ又契約失效ノ他ノ原因ハ不徳ナル代理店カ濫リニ保險契約者ト既ニ契約ヲ締結シ居ル會社ノ信用ヲ毀損シ之ヲ嫌厭セシメ他ノ會社ニ移ラシムルノ惡弊アリタルニ因ル然ルニ共同經營カ實行サル、トキハ其事業ハ獨占的ナルヲ以テ此弊害ヲ杜絶スルコトヲ得ヘシ其他共同經營ニ依リ大組織ノ事業ヲ行フトキハ保險料集金ノ方法ノ如キモ完全ニ行ハル、ヲ以テ自ラ失效契約ノ發生ヲ防遏シ得ヘシ即チ此共同經營說ノ主眼トスル所ハ之ニ依リテ簡易保險事業ノ性質上ノ弱點タル保險料ノ高價及失效契約ノ多

大ノ二件ニ關シ改良ヲ加ヘ得ヘシト爲スモノナリ
 然シテ今此共同經營說ニ對シ強チ評論ヲ爲サ、ルヘシ其所說カ果シテ豫期
 ノ效果ヲ生スヘキヤ否ハ暫ク之ヲ措キ唯此說ノ主張セラル、獨逸ニ在リテ
 ハ今日ノ狀況ニ於テ簡易生命保險事業ハ既ニ殆ント全ク集中セラレ居ルノ
 事實ヲ注意セサルヘカラス即チ獨逸ニ於テ人民保險事業ヲ營ム會社ハ千九
 百四年ニ於テ十七會社アルニモ拘ハラズ其保險契約總額ノ中契約件數ニ於
 テ百分ノ八十九、四契約金額ニ於テ百分ノ八十八、六カ「ヴァイクトリア」及「フリ
 ドリヒ、ウキルヘルム」ノ二大會社ニ集中シ居ルコト「第九章外國ニ於ケル簡易
 生命保險事業ノ集中」ノ項ニ詳述シタルカ如シ故ニ此說ノ所謂共同經營ノ結
 果ハ殆ント此二會社ノ聯合ナリト云フモ強チ不當ニアラサルヘシ然シテ僅
 ニ二會社ノ聯合カ前記共同經營說カ唱フル如ク今日ニ於ケルヨリ著シク良
 好ナル結果ヲ齎スヘシトハ容易ニ信スル能ハサルヘシ唯他ノ十五會社ノ事
 業改良ノ意見トシテハ有力ナルヘキハ勿論ナリ是レ單ニ獨逸ニ於ケル事實
 ニ基キ一片ノ批評ヲ爲シタルモノナレトモ我邦ノ如ク未タ簡易生命保險事

業ニ關シ何等ノ施設ナキ場合ニ於テ之ヨリ之ヲ開始セントスルトキニ當リ
 テハ此共同經營說カ重要ナル參考トナルヘキハ敢テ言ヲ俟タサルヘシ

第十三章 我邦ニ於ケル小額生命保險思想ノ普及

保險ノ起源ハ海上商業ニアリ中世地中海ニ於ケル國際貿易カ發展スルト共ニ先ツ海上保險起リ次テ損害保險及生命保險カ發達スルニ至リタルモノナリトハ歐米ニ於ケル學者ノ認ムル所ナリ蓋シ今日ノ技術的基礎ヲ有スル組織ヲ以テ保險ヲ營ムコトハ近ク中世ノ海上商業ニ基キテ發達シタルモノナルコト疑ナカルヘシト雖トモ元來保險ノ思想ハ人類本然ノ性質ニ基クモノナリ勿論保險ノ意義ノ解釋如何ニ依リテ議論ヲ異ニセサルヘカラスト雖トモ若シ保險ノ主旨ハ危險ノ分配ニアリ詳言スレハ事故發生ノ結果ヲ多數ニ分配スルコトニ依リ避クヘカラサル損害若クハ人ノ生死ノ結果ヲ成ルヘク輕減シ若クハ回復セシムルニアリトスルニ於テハ是レ一種ノ相互救濟ノ觀念ニ外ナラスシテ之ヲ以テ人類共存ノ理性ノ反映ナリト斷定スルモ過言ニアラサルヘシ又歐米ノ學者ハ保險ノ遠キ淵源ハ古代ノ「ギルド」ニアリト云ヘリ「ギルド」ノ如キ相互救濟

ノ觀念ハ希臘羅馬ニ限リ存シタルモノニアラス古代ノ支那ニモ之ヲ認ムルコトヲ得ヘク我邦ニ於ケル古代ノ義倉下リテハ「講」ノ一種ノ如キモ亦此觀念ノ實現ナルヲ信ス故ニ今日ノ如キ技術的基礎ヲ有スル保險事業ハ歐州史ニ於ケル中世以後ノ發達ニ繋リ我邦ニ於テモ明治以來之ヲ輸入シタルモノナリト雖トモ其思想ハ古來ヨリ存シタルモノナリ即チ英國ニ於ケル葬祭俱樂部獨逸ノ死亡金庫朝鮮ニ於ケル契若クハ我邦ニ於ケル講ノ如キ何レモ人類共存ノ本然ノ性質ノ反映トシテ相互救濟ノ目的ヲ達センカ爲メニ發現シタルモノナリト云フヲ憚ラス特ニ朝鮮ノ如キ近代ニ於テ各種ノ制度弛廢シタルニモ拘ラス冠婚葬祭ニ關スル契ノ如キ比較的盛大ナルヲ見又後ニ述フルカ如ク我邦ニ於テ所謂「講」ヨリ轉化シタリト認ムヘキ共濟保險ノ方法カ數年前マテ甚タ旺盛ナリシ事實ヲ對照スレハ或ハ儒教カ冠婚葬祭ヲ重シシ其弊トシテ浮華ノ虛禮ヲ主トスルニ至リ下級人民ヲシテ其負擔ニ堪ヘサラシムル結果ヲ生シ我邦及朝鮮等ニ於テ冠婚葬祭就中婚姻葬式ニ付テ一種ノ保險カ特ニ發達シタルニアラサルカヲ思ハシムルナリ

上述スル所ノ如キ詳細ナル研究ヲ要スル所ニシテ今之ヲ正確ニ論斷スヘキ十分ノ史料ヲ有スルニアラスト雖トモ各國ノ事情ニ照シテ自ラ一種ノ暗示アルモノ、如ク信セラル、ヲ以テ妄斷ノ誹ヲ願スシテ之ヲ記述シ進ンテ我邦ニ於テ所謂共濟保險ノ狀況ヲ説キ以テ我邦ニアリテハ小額生命保險思想ハ豫想外ニ下級人民間ニ普及シ居ル事實ヲ説明シ更ニ共濟保險ノ弊害ヲ除去シ其長所ヲ發揮センカ爲メニハ簡易生命保險事業ノ實施ニ如クモノナキコト英國ニ於ケル葬祭俱樂部若クハ獨逸ニ於ケル死亡金庫カ工業保險若クハ人民保險ニ進化したタルト同一轍ニ出ツルノ必要且利益ナルコトヲ主張スルノ論資トナサントスルナリ

共濟保險トハ或ハ課税保險或ハ類似保險ト稱セラル、モノ是レナリ課税保險ナル名稱ハ保險事故ノ發生シタル後保險料ヲ割當ルニ依リテ生シタルモノニテ又類似保險トハ眞ノ保險ニアラストシテ保險類似ノ行爲ナリトノ意味ニ依リテ附セラレタル名稱ナリ今爰ニ共濟保險ト云フハ是レ危險分配ノ主旨ヲ有スル一種ノ保險ニシテ實際之ヲ經營スルモノ、多數カ共濟ナル文字ヲ用フルコ

ト多キニ依リ假ニ之ヲ以テ名ケタルモノニ外ナラスト其事業ノ方法ヲ見ルニ多クハ營利ヲ目的トスル民事法人組合若クハ個人ノ名義ヲ以テ一團ノ加盟者ヲ募集スルモノニシテ事業ノ目的ハ或ハ加盟者間ノ相互救濟ニアリト爲シ或ハ加盟者間ニ於ケル公ナル周旋業ナリト稱セラル然シテ若シ加盟者ノ一人カ死亡若クハ生存等ニ關スル事故ニ遭遇スルトキハ他ノ加盟者ヨリ豫メ金額ヲ確定シタル一回ノ掛金ヲ徵收シ其總額ノ三分ノ二ヲ共濟金トシテ支拂フコトヲ約スルモノナリ即チ數理的技術ノ基礎ニ據リテ經營スルモノニアラスト雖トモ發生シタル事故ノ結果ヲ多數ニ分配スルト云フ主旨ニ於テハ一種ノ保險ナリト云フヲ得ヘシ

斯ノ加キ保險ハ甚タ弊害ヲ生シ易キモノナルノミナラス各地方ニ於テ著シキ蠱毒ヲ流シタルカ故ニ主務官廳ハ之カ撲滅ニ從事シタルヲ以テ今日ニ於テ存在スルモノ甚タ少シト雖トモ之ヲ善用セハ下級人民ニ對スル社會的事業トシテ寧ロ獎勵スヘカリシモノナリ一時其盛大ヲ極メタルコト吾人ノ想像以上ニアリシモ亦偶然ニアラスト即チ事業者ノ多クハ營利ヲ目的トスル民事法人ノ名

義ヲ以テシ或ハ保險會社ノ名稱ヲ附シタルモノアリ或ハ之ヲ避ケテ共濟會社等ノ名稱ヲ用ヒタルモノアリ其設立ノ區域ハ全國ニ亘リテ其數甚タ多ク例ハ明治三十五年ヨリ明治三十六年ニ亘リテ七十一會社ノ設立アリタルヲ見ル此數ハ官報ニ登記公告アリタルモノヲ拔録シタルモノノミニシテ登記セザリシモノハ數ハ之ヲ含マサルナリ又其營業ノ規模モ頗ル大ナルモノアリ新瀉縣ニ存在シタル四海相保株式會社ト稱スルモノ、如キ五萬圓ノ資本ヲ以テ設立シ明治三十六年末ニ於テハ約千九百人ノ加盟者ヲ有シタリ又香川縣ニ存在シタル東讀生命保險合資會社ト稱スルモノ、如キ明治二十九年ノ設立ニ繫リ同年ヨリ明治三十五年ニ至ル間ニ收入シタル掛金ハ九萬二千七百七十七圓餘ニシテ明治三十六年七月ニ於テ有シタル加盟人員五千七百四十三人ナリ元來此會社ノ事業方法ハ他ノ共濟會社ト大體同様ニシテ加盟者ヲ甲乙丙ノ三種ニ分チ各千人ヲ以テ一團ト爲ス仕組ニシテ甲種團中ニ一人ノ死亡者アル毎ニ他ノ甲種團員ハ一回六錢ノ掛金ヲ爲シ會社ハ其徵收シタル金額ノ三分ノ二ヲ共濟金トシテ死亡者ノ遺族ニ支拂ヒ三分ノ一ハ手数料トシテ自ラ收得スルモノナリ

尙ホ乙種一回ノ掛金ハ二錢五厘丙種一回ノ掛金ハ一錢ナリトス即チ斯ノ如キ零碎ノ掛金ヲ集メテ六七年間ニ九萬二千餘圓ノ收入ヲナシタル事實ハ此會社ノ事業カ如何ニ盛大ナリシカヲ想フニ足ルヘシ然シテ其大規模ナルコト或ハ之ニ及ハストスルモ此種ノ會社ノ數カ全國ニ亘リ殆ト無數ト稱シタル程ナリシヲ以テ見ルモ如何ニ我邦ニ於テ此種ノ事業ノ盛大ナリシカヲ知ルニ足ルヘシ然レトモ此事業ハ其性質上ノ弱點ノ爲メ殆ント詐欺ニ等シキ行爲ノ犠牲トナルニ至レリ例ハ四海相保會社ノ例ニヨルニ團員千五百人掛金一回一錢ト爲シ契約標準金額百圓ナリト稱スレトモ是レ加盟者カ豫定ノ如ク千人アリタル場合ニ支拂ハル、モノニテ加盟者半數ナルトキハ五十圓ヲ受取り得ルノミ從テ殘存加盟者カ減少スルニ從ヒ共濟金額ハ漸次小額トナルヲ以テ健康ニシテ殘存シタルモノハ拂込タル掛金ヨリ遙ニ小額ナル共濟金ヲ受クル虞アリ又會社ノ收入ノ重ナルモノハ手数料ナリ手数料ハ事故アリタルトキ集メ得タル掛金ノ三分ノ一ナリトス從テ多クノ收入ヲ得ントスルモノハ相當ノ加盟者アリタル後ニ於テハ寧ロ加盟者ノ死亡ヲ希望シ手数料領收ノ機會ヲ増加セシムル

ニカメ途ニハ不徳ナル加盟者ト結托シ將ニ死ニ瀕シツ、アルモノヲモ加盟セシムルヲ憚ラス故ニ此ノ如キ會社ニアリテハ事故頻發シ甚シキハ一ヶ月二十回以上ニ及ヒタルモノアルニ至レリ故ニ正直ナル加盟者ハ掛金ノ頻繁ナル請求ニ堪ヘス自ラ掛金ヲ懈怠シ之ヲ延滞スルニ至ル此ニ於テ會社ハ何等ノ補償ヲ與フルコトナクシテ之ヲ解約シ甚シキニ至リテハ其延滞掛金ヲ貸金トシ期限至レハ強制執行ヲ爲スニ至ル是レ固ヨリ加盟者ノ愚瞶ナルノ致ス所多シト雖トモ資力薄弱ナル下級人民カ此慘害ニ遭フカ如キハ誠ニ寒心ノ至リナリ故ニ主務官廳ハ之ヲ撲滅セサルヘカラサルヲ認メ此主旨ヲ善用シ居ル僅少ナル事業ヲ除クノ外行政及司法ノ各方面ヨリ之カ取締ヲ勵行シ今日ニ於テハ少クトモ表面上其痕跡ヲ止ムルコト甚タ少キニ至レリ斯ノ如ク此等ノ會社ノ多數ハ此事業ノ短處ヲ濫用シ一種ノ詐欺的行爲ヲ行フコトヲ目的トスルモノ多カリシト雖トモ其少數ハ眞面目ニ相互救濟ノ實ヲ舉ゲントシタルモノナリ又之ニ加盟スルモノ、中ニハ會社ト結托シ殆ト共濟金詐欺ト稱スヘキ行爲ヲ目的トシテ加入シタルモノナキニアラスト雖トモ大多數ノ顧客ハ淳朴ナル地方下

級人民ニシテ之ニ依リテ自己ノ葬式費用ヲ得ンカ爲メニ相互救濟ノ主旨ヲ實行セントシタルモノナルコトハ論者自ラ此等ノ實地ヲ調査スルニ當リテ堅ク信シタル所ナリ即チ此等ノ顧客ノ大多數ハ詐欺ノ犠牲トナリ終リタリト雖トモ此種ノ事業カ前記ノ如ク盛大ナリシ所以ハ我邦ニ於ケル下級人民カ一種ノ生命保險思想ヲ有スルト共ニ其事業ヲ必要トシタルノ事實ヲ反證シテ餘アリト云フコトヲ得ヘシ蓋シ相互救濟ノ美名ハ詐欺ノ目的ノ爲ニ害用セラレタル爲メ共濟保險事業ハ全然排斥セラル、ニ至リタリト雖トモ其餘弊ノ爲メ本旨ヲ沒了スルハ識者ノ採ラサル所ニシテ之ヲ善用セハ下級人民ヲシテ生命保險事業ノ恩澤ニ浴セシメ得ヘカリシナリ然シテ今日ニアリテハ寧ロ進ンテ下級人民ノ此思想ヲ利用シ確實ナル學理的基礎ヲ有スル簡易生命保險事業ヲ實施スルノ必要ト利益ナルヲ信スルナリ下級人民ノ地位ノ改良ニ關スル社會的政策トシテ簡易生命保險事業カ偉大ナル效果ヲ有スルコトハ本論ノ始メニ論述シタルカ如シ外國ノ學者ノ言ニ依レハ外國ニアリテハ下級人民ハ生命保險ニ對スル思想甚タ幼稚ニシテ此種ノ社會政策ノ實施ハ困難ナリキ獨逸ノ如キ勞

働保險ノ實施先ツ行ハレタルヲ以テ幸ニ下級人民ニ強制的ニ保險思想ヲ涵養スルコトヲ得テ依リテ以テ人民保險ノ大發展ヲ見タル次第ナリト論スルヲ見ルト雖トモ我邦ニアリテハ古來ヨリ相互救濟ノ美風行ハレタルノミナラス最近ニアリテモ亦下級人民カ一種ノ生命保險思想ヲ有スルコト前述ノ事實ニ依リテ明ナリトセハ此效果アル社會的事業ヲ實施スルコトモ亦外國ニ於ケルヨリ容易ナルヘキヲ深ク信スルナリ

第十四章 我邦ニ於ケル労働問題

近時我邦ニ於テ或ハ労働者問題ヲ論シ或ハ社會主義ヲ説クモノアリト雖トモ未タ我邦ニ於テハ外國ニ於テ所謂労働者ト稱スルカ如キ特殊ノ階級ナシ又我國情ヲ基礎トシタル穩健ナル社會主義ノ論說ヲ聞カス然レトモ國勢ノ發展ト共ニ各種ノ事業ノ組織ニ於テ家族的關係ハ其短所ト併セテ其特長ヲモ全ク滅失セントスルニ當リ廣ク賃銀若クハ少額ナル俸給ニ衣食スル下級人民ニ關スル政策ハ特ニ我國情ニ照シテ慎重ニ之ヲ研究シ以テ國家將來ノ計ニ備ヘサルヘカラス唯斯ノ如キハ専門ノ研究ヲモ爲サ、ル者ノ濫リニ容喙スヘキ所ニアラスト雖トモ保險事業ハ單ニ經濟上ニ止マラス社會政策上ニ於テモ亦重要ナル問題ナリ簡易生命保險ハ下級人民ヲ目的トスル緊要ナル事業ナリ今爰ニ簡易生命保險ノ研究ニ當リ自ラ見聞シタル所ヲ根據トシテ所謂労働問題ヨリ延イテ下級人民ニ關スル政策ヲ論シ進ンテ簡易生命保險事業ノ必要ニ及ハント

スルハ決シテ偶然ノ結果ニアラサルナリ
 世界ノ文明ニ伴フテ發達シタル今日ノ事業組織ニ於テ冷淡ナル資本ノ勢力ノ
 下ニ膏血ヲ絞ル賃銀労働者若クハ少額ナル俸給ニ衣食スル下級人民ノ經濟上
 ノ地位ヲ適當ニ保全セシメ且ツ漸次ニ之ヲ改良セシムルノ必要ハ何人ト雖ト
 モ之ヲ否認スルモノアラサルヘシ唯之ニ關スル政策如何ニ付テハ多クノ議論
 ノ存スル所ニシテ又十分ノ講究ヲ爲サ、ルヘカラス然シテ今爰ニ多少此問題
 ニ論及スルニ當リテ單ニ之ヲ機械的工業ニ從事スル賃銀労働者ニ限ルハ本旨
 ニアラスト雖トモ見聞シタル事實ハ多ク所謂賃銀労働者ニ關スルヲ以テ從テ
 其狀況ニ付テ述フル所多キヲ免レス且ツ此重大問題ニ關シ十分ノ研究ヲ爲シ
 タルニアラス淺薄ナル見聞ニ依リ一ノ斷案ヲ定メントスルノ妄ナルニ付テハ
 豫メ深ク宥恕ヲ請ハサルヘカラス
 外國ニ於テ労働者ノ地位ノ改良ニ關シ實行セラル、手段甚タ多シト雖トモ大
 體ニ於テ二種ニ分ツコトヲ得ヘシ其一ハ國家若クハ企業者等ノ恩惠ニ依リ受
 働的ニ労働者ノ地位ノ改良ヲ希圖セントスルモノニシテ假ニ他働的手段ト稱

スヘシ又他ノ一ハ労働者自ラ其實力ヲ基礎トシテ開發的ニ其地位ヲ改良セン
 トスルモノニシテ國家若クハ企業者ノ恩惠ハ殆ント全ク之ヲ受ケス假令之ヲ
 受クルモ僅少ナル一部分ニ止マリ多クハ其改良ニ關シ特殊ノ便宜ヲ與ヘラル
 ヲ、ニ止マルモノナリ假リニ之ヲ自働的手段ト稱スヘシ然シテ此等ノ手段ニ關
 シ外國ニ行ハレ且ツ我邦ニ於テモ之ヲ摸シツ、アル手段ノ結果ニ關シ多少ノ
 比較ヲ爲サント欲ス但宗教及教育等ニ關スル事項ニ付テハ本論ト直接ノ關係
 ヲ有セサルヲ以テ暫ク之ヲ措ク

他働的手段ハ亦大體ニ於テニ分ツコトヲ得ヘシ一ハ有形ニシテ家屋其他慰
 安ニ關スル設備等是レナリ他ハ無形ニシテ獨逸ノ労働保險若クハ新西蘭ノ養
 老金制度ノ如キヲ云フナリ又自働的手段トシテ爰ニ示サントスルハ職工貯金、
 職工共濟組合、職工消費組合、英米ニ於ケル工業保險若クハ獨逸ニ於ケル人民保
 險並ニ此等ニ類似スルモノヲ云フナリ

有形ノ他働的手段ノ重ナルモノハ家屋所謂職工長屋ノ給與ニシテ多クノ企業
 者カ之ニ依リテ労働者ノ地位ヲ改良シ之ニ満足ヲ與ヘントシツ、アルハ近來

ノ著シキ傾向ナリ獨逸ニ「アルバイター、コロニー」アリ労働者ノ家屋ヲ以テ一部落ヲ成セリ此家屋ハ企業者カ之ヲ建築シテ無料若クハ殆ント無料ニ均シキ小額ノ賃料ヲ以テ労働者ニ貸與スルモノナリ然シテ世人多ク「クルツプ」ノ「エツセ」工場ニ於ケル「アルバイター、コロニー」ノ壯大ナルヲ説キ労働政策ノ精華ナルカノ如ク説クヲ見ル然レトモ其效果ニ就テハ一點ノ疑ナキ能ハス蓋シ「エツセ」工場ノ労働者ニ對スル設備ハ多ク其比ヲ見サル所ニシテ其役員ハ「クルツプ」ノ労働者ニ同盟罷工ナシト誇ルト雖トモ是レ寧ロ「クルツプ」ノ世襲事業主ヲ經ルコト既ニ三代職工ハ其父祖ノ時代ヨリ其徳ニ浴シ且ツ特殊ノ養老金制度、消費組合制度等無形ノ手段ノ效果ノ偉大ナルカ故ニアラサルカ同シク「クルツプ」ノ經營ニ係ル「キール」港内ノ「ゲルマニア」造船所ニハ「エツセン」ニ於ケルカ如キ「アルバイター、コロニー」ノ設備ナシ然カモ之カ爲メ特ニ不平アリタルヲ聞カス又「キール」ニハ獨逸帝國海軍工廠附屬ノ「アルバイター、コロニー」アリ是レ亦盛大ナルモノナリト雖トモ同盟罷工ハ其跡ヲ絶ツ能ハスト云フ更ニ英國工業地方ニ於ケル十六ノ大工場ヲ視タル際ニ於テ斯ノ如キ「アルバイター、コロニー」ノ設備

アルモノヲ一モ見ス唯「アームストロング」會社カ貸長家ヲ有スルヲ見タレトモ其數多カラス且ツ其家賃モ餘リ低廉ナラサルカ如シ即チ英國ニアリテハ此種ノ設備殆ント無キカ如シト雖トモ亦之カ爲メ特ニ問題ヲ惹起セサルモノ、如シ我邦ノ例ニ照スモ例ハ枝光製鐵所ノ如キ職工長屋ノ増築ニ汲々タリ三菱造船所ハ殆ント全ク職工長屋ヲ有セス然カモ職工ノ移動ハ比較的前者ニ多キヲ見ル斯ク表面ノ事實ノ一部ヲ見テ直ニ職工長屋ノ制度ヲ全然非難スル能ハサルハ勿論ナレトモ少クトモ前記ノ事實ニ依リ職工長屋カ果シテ世人ノ多數カ豫期スルカ如ク效果ヲ有スルヤ甚タ疑ハサルヲ得ス殊ニ足尾銅山ニアリテ企業者カ設備セル堅牢且ツ清潔ナル坑夫長屋アルニモ拘ハラヌ坑夫ハ懸崖ノ下一陣ノ風雨ニモ堪ヘサラントスル自己ノ陋屋ニ居住スルヲ好ムヲ見テ益々所謂職工長屋カ其費用等ニ比シ相當ノ效果ヲ有スヘキヤ惑ハサルヲ得ス其他「キール」ノ獨逸帝國海軍工廠ノ「エルホールングス、ハウズ」即チ職工休養俱樂部ヲ視タルニ木造ナリト雖トモ三層ノ高樓ニシテ飲食室、舞踏室、音樂室、讀書室及圖書室ヲ有シ其構内ハ宛然一小公園ニシテ小動物園サヘ附屬セリ然カモ之

ヲ利用シテ一日ノ慰安ヲ得ントシツ、アルモノヲ見ルコト甚タ少カリキ藤テ
 「ニユウカツスル」ニ於ケル「スオン、ハンター」造船所内ニ其労働者カ「レフレ」シユ
 メント、ルーム」ト揭示シタル一小破屋内ニアリテ愉快ニ飲食シツ、アルヲ見テ
 労働者ニ對スル物質上設備ノ效果ヲ疑フノ一端トナレリ又三重紡績株式會社
 ノ某工場附屬ノ紡績工女寄宿舎ノ空地ニ會社カ花園ヲ作レルモノアリ然シテ
 工女ヲシテ之ニ觸レシメス工女モ亦之ニ關シ十分ノ趣味ヲ有セサルカ如カリ
 シニ對シ近來獨逸ニアリテ職工ニ對シ半坪若クハ一坪ノ如キ小キ空地ヲ貸與
 シ其欲スル儘ニ使用セシメタルニ職工ハ或ハ之ヲ菜圃トナシ或ハ之ヲ花園ト
 ナシ或ハ之ヲ養禽場ト爲シ其娛樂ト實用ヲ兼ネタル結果ノ良好ナルヲ思ヒ益
 々有形ノ他働的手段ハ勿論其效果アルヲ疑ハスト雖トモ之ヲ以テ所謂労働問
 題ノ解決ヲ期スル能ハサルノミナラス果シテ世人カ豫期シ且ツ之ヲ賞揚スル
 カ如キ效果ヲ有スルモノナルヘキカ深ク疑ハサルヲ得サルニ至レリ其他有形
 ノ手段トシテ演劇運動會其他一時的ノ設備少ナカラスト雖トモ此等ハ爰ニ多
 ク論スルノ必要ナカルヘシ

又無形ノ他働的手段タル獨逸ノ労働保險ノ如キ獨逸ニ於テ最モ重要ナル社會
 政策ニシテ且ツ成效シタルモノナリ又労働問題ヲ口實トシタル社會黨ノ勢力
 ヲ打破スルガ爲メビスマーク公カ實施シタル政略ハ確ニ其目的ヲ達シタルモ
 ノナリト稱讚スルヲ得ヘキコト勿論ナリ然レトモ獨逸カ又此制度ノ爲メニ負
 擔スル費用ノ巨額ナルコトモ亦深ク顧サルヘカラス即チ千九百四年ノ統計ヲ
 見ルニ災害保險ニ關シ企業者カ支拂ヒタル保險料ハ一億四千八百二十五萬餘
 マ克、疾病保險ニ關シ企業者カ支拂ヒタル保險料ハ七千九百四十一萬餘馬克、勞
 働者ノ支拂ヒタル保險料一億七千二百五十六萬餘馬克、老癯保險ニ關シ企業者
 カ支拂ヒタル保險料七千七百四萬餘馬克、労働者ノ支拂ヒタルモノ亦之ト同シ
 ク、國庫ノ補助スル金額四千五百二十七萬餘馬克ナリ即チ労働保險ニ關スル企
 業者ノ負擔ハ一ヶ年三億四百七十萬餘馬克ニ當リ労働者ノ負擔ハ同二億四千
 九百六十萬餘馬克ト爲リ且ツ國庫ノ補助スル所四千五百二十七萬餘馬克ニシ
 テ獨逸カ労働保險ニ對シテ支拂フ對價ハ五億九千九百五十七萬餘馬克ト爲ル
 獨逸ノ政府及人民カ労働保險ノ爲ニ斯ノ如キ巨額ノ負擔ヲ爲スニ堪ユル實力

ノ大ナルニ感セサルヲ得ス然カモ此強制保險ニ付根本的不平アルヲ聞カス寧
 ○其保險種類ニ於テ若クハ被保險者ノ範圍ニ於テ漸次擴張セントシツ、アル
 ヲ見テ益々獨逸ノ國情カ勞働問題ノ爲メ斯カル高價ヲ支拂ハサルヘカラサル
 狀況ニアルニ付多少ノ感慨ナキ能ハス兎ニ角強制勞働保險ハ獨逸ニ於テハ成
 效ナリト云フヲ得ヘシ獨逸ハ斯ノ如キ高價ノ保險料ヲ支拂フヘキ理由アリテ
 之ヲ實行シ居ルモノナリ籲テ我國ノ勞働問題ヲ論スルニ當リテモ亦勞働問題
 ニ對シ斯ノ如キ高價ノ對價ヲ支拂フノ必要アリヤ假令必要アリトスルモ今日
 之ヲ實行スヘキ時期ナリヤ且ツ政府及人民カ之カ負擔ニ堪ユヘキヤ大ニ研究
 セサルヘカラサル所ナリ

然シテ我邦ニ於テハ大企業頗ル發達シタリト雖トモ小企業ノ存スルモノ亦少
 カラス資本ト勞働ノ關係ハ外國ニ於ケルカ如ク冷酷ナラス家族主義ハ破壊セ
 ラレタレトモ近親故舊相弔福スルノ美風尙ホ存シ外國ニ於ケル個人主義ノ極
 端ナル如クナラス故ニ今直ニ勞働問題ニ對シ巨額ノ負擔ヲ爲サ、ルヘカラサ
 ル必要ナシ又我邦ニ在リテハ眞ニ社會黨ト稱スヘキモノナシ從テ之カ爲メ勞

働問題ニ關シ高價ナル政略ヲ實行セサルヘカラサル理由ナシ勿論賃銀勞働者
 其他下級人民ニ對スル政策ハ一日モ忽ニスヘカラスト雖トモ今日直ニ獨逸ニ
 於ケルカ如キ高價ナル勞働保險ヲ實施セサルヘカラサルヤ否ト云フニ付テハ
 未タ其必要ナシト云フヲ憚ラス又勞働保險カ高價ナリトモ若シ我國情ニ於テ
 之ヲ實行シ得ヘクンハ故ラニ之ヲ要求スルニ躊躇スルモノニアラスト雖トモ
 我邦ニ於ケル工業ハ外ハ先進強國トノ競争ニ苦シムノミナラス内ハ原料豊富
 ナラス資本潤澤ナラス然カモ勞銀ハ漸次ニ騰貴シ必シモ其低廉ヲ以テ外國ト
 爭フ能ハサルニ至ルヘキ傾向ヲ有ス從テ企業家ノ努力ヲ要スヘキ問題ハ甚タ
 多ク其餘力ヲ分チテ勞働問題ノ解決ヲ試ミントスルニ就テハ甚タ十分ナリト
 云フ能ハス然カモ政府財政ノ餘力ニ就テハ更ニ喋々スルヲ要セサルヘシサレ
 ハ我邦ノ勞働者カ獨逸ニ於ケルカ如ク幸福ナル地位ヲ有スル能ハサルハ誠ニ
 止ムヲ得サルナリ然レトモ之カ爲メ下級人民ニ關スル政策ハ一日之ヲ閑却ス
 ル能ハサルコトヲ忘ルヘカラス

斯ノ如ク勞働者ノ地位改良ニ關スル他働的手段ノ有形ナルモノハ必シモ所期

ノ如ク有效ナラス無形ナルモノ即チ強制労働保険ハ高價ニ過キテ之ヲ實施スル能ハス此ニ於テ英米ニ於ケル工業保險即チ簡易保險ヲ想起セサルヲ得スグ
ラッドストン氏ノ郵便簡易保險ハ其經營ノ方法ニ缺點アリタル爲メ其成績舉
ラスト雖トモ氏カ之ヲ稱導シタル以來英米ニ於テ工業保險ノ大ニ發展シタル
ヲ見且ツ英米ニ於ケル任意ノ工業保險ハ其效果ニ於テ獨逸ニ於ケル強制ノ勞
働保險ニ勝レリト稱スルモノアルヲ聞キ更ニグラッドストン氏ノ着眼ニ敬服
セサルヲ得ス

然シテ労働者ノ地位ノ改良ニ關スル自動的手段トシテ貯蓄制度共濟組合及消
費組合ハ近ク我邦ニ行ハレ漸次擴張セラル、傾向ヲ有スルモノナリ一ノ企業
者ニ使役セラル、労働者カ相集リテ生計上日用品ノ需給ノ便益ニ供センカ爲
メ消費組合ヲ設立スル場合ニ於テ産業組合法ニ則リ得ヘキモノナルヤ等ニ付
消費組合ニ關シテ議論スヘキ點甚タ多シト雖トモ此問題ニ關シテハ本論ト密
接ノ關係ナキヲ以テ之ヲ略スト雖トモ貯蓄制度及共濟組合ニ關シテハ一應之
ヲ論セサルヘカラス

貯蓄制度ハ多クノ企業者カ採用スル所ナリ企業者ハ其使役スル労働者ヲシテ
其賃銀ノ幾部ヲ積立テシメ退職若クハ隱居ノ際ニ當リテ之ヲ支拂フナリ然シ
テ之ヲ獎勵スル方法トシテハ或ハ一般ノ貯蓄銀行ニ於ケルヨリハ遙カニ超過
シタル高利ヲ與ヘ又労働者ノ貯蓄額ニ應シテ獎勵金ヲ與フルノ制度ヲ用フル
モノアリ彼ノ三菱造船所ノ退職手當ノ如キモ亦一ノ貯蓄ナリ其制度ニ依レハ
労働者ヲシテ其賃銀ノ一部ノ中ヨリ一定金額ヲ積立テシメ造船所ハ之ト同額
ノ金額ヲ之ニ加ヘ之ヲ五分ノ複利ヲ以テ計算シ在職年數ニ應シテ支拂フナリ
斯ノ如キ特典ヲ與フル貯蓄制度ハ少ナカルヘキモ貯蓄ノ獎勵ニ關シテハ多ク
ノ企業者ノ苦心スル所ナリ然レトモ貯蓄ハ又種々ナル缺點ヲ有ス元來労働者
ノ如キ教育上及經濟上ノ地位劣等ナルモノニシテ自ラ節制シテ貯蓄ヲ爲スノ
意思ニ乏シク又其收入ハ僅ニ今日ノ生計ヲ支フルノ外其餘裕甚タ少キモノナ
レハ之ヲシテ貯蓄ノ效果ヲ舉ケシムルコト頗ル困難ナリ又貯蓄ハ長期ニ亘リ
テ行ハサレハ相當ノ金額ヲ得ル能ハス労働者カ困難ナル生計ノ一部ヲ節約シ
テ些少ノ金額ヲ積立ル場合ノ如キ殊ニ然リ然ルニ労働者ハ其地位劣弱ニシテ

變動シ易シ今日多少ナリトモ貯蓄ノ餘裕アリタルモノモ明日ハ之ヲ失フ虞多シ故ニ労働者ニ對シ長期ノ貯蓄ヲ獎勵シ貯蓄ノ效果ヲ得セシメントスルコトハ益々困難ナリ加之人ハ老少不定ナリ况ンヤ労働者ノ如キ劣等ナル生活状態ニ甘セサルヘカラサルニ於テヲヤ故ニ長期ニ亘リ多少ノ貯蓄ノ餘裕ヲ有スルモノト雖トモ果シテ豫期ノ貯蓄ヲ得ヘキヤ否甚タ危険ナリト云ハサルヘカラスサレハ労働者ニ對シテ貯蓄ノ制度ニ依リ十分ノ效果ヲ得ルコトハ甚タ困難ナリ寧ロ生命保険ノ方法ヲ以テ其死亡若クハ老癯ニ對シ善後ノ計ヲ爲サシムルノ安全且ツ容易ナルニ如カス生命保険ハ經濟上ノ意義ヨリスレハ一種ノ強制貯蓄ナリ故ニ労働者ノ如キ貯蓄ノ觀念ニ乏シキモノニ對シテハ最も效果アリ又保険料支拂ノ中絶ニ對シテハ拂濟證券振替ノ方法モアルナリ就中一定ノ保険料ヲ支拂ヒタルモノハ契約ノ翌日死亡スルトモ豫期シタル一定金額ヲ受領スルコトヲ得ヘシ故ニ人カ其死亡若クハ老衰ニ對スル計トシテハ貯蓄ヨリモ生命保険ヲ以テ勝レリト爲サ、ルヘカラス况ンヤ労働者ニ於テヲヤ故ニ本論ニ於テハ貯蓄ノ制度固ヨリ之ヲ歡迎スヘシト雖トモ寧ロ一步ヲ進メテ簡易

生命保険事業ヲ獎勵スルコト労働者ノ事情ニ最も適切ニシテ且ツ遙ニ效果アルヘキコトヲ主張スルナリ

共済組合ハ吳海軍工廠、東京砲兵工廠、帝國鐵道廳、枝光製鐵所等ノ官設工場ヲ始メトシ三菱造船所、足尾銅山、鐘淵紡績會社、北海道炭礦會社等ノ民有事業ニ行ハル、所ニシテ最近十年以後ノ發達ニ屬ス其目的トスル所ハ職工其他労働者ノ相互救済ニアリ即チ此等ノ事業ニ附屬スル労働者ハ賃銀ノ中ヨリ一定ノ金額ヲ積立テ且ツ事業者ヨリノ補助ヲ受ケテ労働者カ生死ニ關スル事故ニ遭遇シタル場合ニ於テ豫メ定メタル給付ヲ受クルモノナリ其事故トハ多クハ職務ニ基ク死亡、疾病及負傷ニシテ又普通ノ死亡若クハ疾病ノ場合ヲモ含ム其給付ハ一定ノ金額ヲ支拂フモノアリ療養費並ニ休業日當ヲ支給スルモノアリ又企業者ノ補助ニモ種々アリ其多數ハ労働者カ積立ルト同一ノ金額ヲ企業者ヨリ支拂フモノアリ全然企業者カ之ヲ負擔シ労働者ヲシテ一錢タモ支出セシメサルモノモアリ兎ニ角此方法ハ名稱ノ如何ニ關セス一種ノ保險ニ外ナラス即チ是レ危険ヲ多數ニ分配スルノ主旨ヲ實行シ居ルモノナレハナリ然シテ此事業ハ

職工ノ救済ニ關シ相當ノ效果ヲ有スルモノニシテ其増加ノ傾向アルハ固ヨリ之ヲ歡迎セサルヘカラスト雖トモ亦其性質上種々ナル缺點ヲ有ス此事業ハ一企業者ニ專屬スルモノナレハ其危險ハ偏重ニシテ其組織ハ大規模ナラス又未ダ殆ンド學術的基礎ヲ有セス唯企業者ノ恩惠ニ依リテ成立スルノミ故ニ大企業者カ善意ヲ以テ恩惠的ニ之ヲ經營セシムルモノハ勿論其成績ヲ舉クルコトヲ得ヘシト雖トモ企業者ノ惡意若クハ懈怠ニ依リ事業ノ經營蹉跎ヲ來サンカ勞働者ハ其積立テタル膏血ヲ水泡ニ歸セシムヘシ又此方法ニ依レハ勞働者ハ常ニ企業者ト利害相伴ハサルヘカラサル爲メ間接ニ種々ナル拘束ヲ受ル弊アリ且ツ斯ノ如キ方法カ長期ニ亘リ多數ノ人ニ對シ多大ノ負擔ヲ爲スニ適當ナル性質ヲ有セサルコトハ保險ノ理論ヲ知ラサルモノト雖トモ之ヲ想像スルニ難カラサルヘシ又此方法ハ企業者ニトリテモ危險ニシテ且ツ經濟上不利益ナリ何トナレハ今日一般ニ行ハル、所ニ依レハ勞働者カ離出スヘキ金額ハ一定セリト雖トモ是レ事故發生ノ危險率ヲ數理的ニ算定シタル結果ニアラスシテ大體ノ見込ニ過キス然ルニ之ニ對シ企業者ハ其一定給付ノ額ヲ確定シ居ルモ

ノ多キヲ以テ事故ノ發生甚シク推測以上ニ多キトキハ企業者ハ豫期セサル多大ノ負擔ヲ爲サルヘカラスト現行ハル、共濟組合ハ大企業家ノ手ニ依リテ經營セラル、ノミナラス多クハ實施以來三四年ヲ經過シタルノミナレハ此等ノ問題ヲ惹起セスト雖トモ是レ一片ノ杞憂ニアラス又此事業ハ各企業者ニ依リ割據スルヲ以テ專口之ヲ統一スルノ經濟ニシテ且ツ安全ナルニ若カサルコトハ深く説明スルヲ要セサルヘシ是レ今日ノ共濟組合ハ企業者ニトリテ危險ニシテ且ツ經濟上不利益ナリト云フ所以ナリ故ニ共濟組合ノ發達ハ之ヲ歎フニ吝ナラスト雖トモ亦前述ノ如キ性質ヲ有スルヲ以テ資本豊富ニシテ勞働者待遇ニ留意スル大企業家ノ下ニアリテノミ其成效ヲ望ミ得ヘキモノニシテ廣ク一般勞働者ヲシテ此恩惠ニ浴セシメ得ルモノニアラス殊ニ此事業ヲ營利ノ目的トシテ經營スルコトヲ認ムルカ爲メニハ今日ノ保險業法ヨリ一層十分ナル監督ヲ爲スニアラサレハ英國ノ葬祭俱樂部、獨逸ノ死亡金庫若クハ共濟保險カ流シタルト同様ノ弊害ヲ醸スヘキハ之ヲ想像スルニ難カラス

サレハ勞働者ノ一般ノ死亡若クハ生存ニ關スル善後ノ方法トシテハ共濟組合

ヨリモ寧ろ簡易生命保險事業ヲ推獎セサルヲ得ス簡易生命保險事業ハ數理的技術ニ基クヲ以テ其事業ノ基礎確實ナルノミナラス其範圍一局部ニ限ラサルヲ以テ危險偏重ノ虞少シ又大規模ニ依リテ行フヲ以テ保險料ハ比較的廉價ナラサルヘカラス加之廣ク一般ノ勞働者カ其恩澤ニ浴スルコトヲ得ヘシ然シテ共濟組合ニ補助ヲ與ヘタル企業者ハ之ヲ轉シテ其勞働者カ支拂フヘキ簡易生命保險料ヲ補助スルニ於テハ從來共濟組合ヲ實行セル企業者モ勞働者モ之カ爲メ何等ノ損失若クハ不便ヲ蒙ラサルヘキナリ

以上述ヘタル如ク我邦ニアリテモ下級人民ニ關スル社會政策ハ一日モ忽ニスル能ハス然シテ有形ノ他働的手段ハ其效果疑ハシク勞働保險ハ其價高キニ過ク又貯蓄ハ其效果比較的少ク共濟組合ハ種々ナル缺點ヲ有スルト共ニ其範圍甚タ狭シ且ツ本章ニ於テハ主トシテ勞働者ニ就テ論シタレトモ此議論ハ一般下級人民ニ關シテモ之ヲ推論スルヲ得ルナリ故ニ論者ハ我邦ニ於テモ下級人民ニ關シ一定ノ政策ヲ樹立スルノ必要ヲ認ムルト共ニ延イテ之ニ應スル手段ノ第一着手トシテ簡易生命保險事業ヲ實施スヘキコトヲ主張セントスルナリ

第十五章 簡易生命保險事業實施ノ必要

抑モ人ノ生命ハ且夕ヲ測ルヘカラス人ハ死亡セサル能ハス老衰セサル能ハス人死シテ之ヲ葬ルニ資ナク又妻子遽カニ路頭ニ迷フカ如キコトアラハ是レ人生ノ最大慘事ニアラスヤ之カ爲メ善後ノ計ヲ爲スニ安全ニシテ且容易ナルモノ生命保險ニ如クモノナキコト今更ニ之ヲ繰返ス必要ナカルヘシ然レトモ下級人民ハ此種ノ事業ノ必要ヲ感スルコト最モ適切ナルニモ拘ラス其四圍ノ事情ニ於テ普通ノ生命保險ノ恩澤ニ浴スルコト頗ル困難ナルハ既ニ第五章簡易生命保險ノ普通生命保險ニ對スル比較等ニ於テ述ヘタル所ニ依リ自ラ明瞭ナリト信ス然シテ簡易生命保險事業ハ下級人民ヲシテ生命保險ノ利益ヲ享受セシムル爲メ設ケラレタルモノナリ故ニ簡易生命保險事業ハ下級人民ニ對シ必要ニシテ缺クヘカラサル組織ナリ或ハ簡易生命保險ハ英米ニ於テ工業保險ト稱セラル、ヲ以テ賃銀勞働者ニ對シテノミ必要ナルカ如ク解セラル、コトナ

キニアラスト雖トモ是レ大ナル誤ナリ英米ニ於テモ名ハ工業保險ト稱スレトモ決シテ被保險者ハ賃銀労働者ニ限定スルニアラス一般ノ人民ニ對シテ之ヲ行フモノナリ唯殊ニ米國ノ如キ事實上ノ結果ニ於テ賃銀労働者カ其重ナル顧客タルノミ獨逸ニアリテハ賃銀労働者ニ對シテハ労働保險アリ然レトモ之ト相並ヒテ人民保險ハ一般下級人民ニ對シテ行ハル、ナリ然シテ近年ニ至リテ労働保險ハ其恩典ヲ賃銀労働者ニノミ限ルヘキモノニアラス國家ハ下級農民、商業使用人及少給官吏等ニ對シテモ之ヲ及ホスニアラサレハ公平ナリト云フ能ハストノ議漸ク盛ナルニ至ルヲ見テモ労働保險サヘ機械的労働者ノミニ限ラルヘキモノニアラサルコトヲ知ルニ足ル況ンヤ我邦ニ於テハ古來ヨリ相互救済ノ美風ノ存シタルノミナラス今ノ下級人民カ共済ノ主旨ニ依リテ自ラ死後ノ計ヲ爲サントスルノ觀念ヲ一般ニ有スルコトハ既ニ第十二章我邦ニ於ケル小額生命保險思想ノ普及ニモ述ヘタルカ如キ有様ナリ故ニ簡易生命保險事業ハ廣ク下級人民一般ニ對スル經濟上ノ必要條件ナルコトヲ斷言スルモ不當ニアラサルヘシ

然シテ工業及鑛山等ニ從事スル賃銀労働者ノ地位ノ改良ニ關スル政策ハ何レノ國家ニ於テモ一日モ忽ニスヘカラサル社會問題ナリ各國ハ其事情ニ應シテ相當ノ政策ヲ樹テサルヘカラス現ニ此問題ニ關シ外國ニ於テ種々ナル手段カ實施セラレ又我邦ニ於テモ亦之ヲ應用シツ、アル事實ノ一斑ハ前章我邦ニ於ケル労働問題ノ項ニ述ヘタルカ如シ論者ハ一ノ大體論トシテ企業者ノ恩惠ニ依ルモノニシテ労働者ノ依頼心ヲ增長セシムル手段就中其有形ナルモノハ之カ實施ヲ希望スルコトハ勿論ナリト雖トモ世人カ豫期スルカ如ク效果大ナルモノニアラス寧ロ労働者自ラ獨立ノ精神ニ依リ開發的ニ發達セシムル手段ノ實施ヲ希望スルコト前ニモ述ヘタリ然シテ保險ノ方法ハ此希望ヲ滿スニ必要ニシテ且ツ最良ノ手段タルコト何人モ之ヲ疑ハサルヘシ蓋シ將來ノ計ヲ爲スニ貯金ノ手段モ亦之アリト雖トモ下級人民ノ事情ニ照シ其恃ムニ十分ナラサルコト前章ニ述ヘタルカ如キヲ以テナリ又保險ノ方法ノ中労働保險ハ甚タ高價ニシテ今我邦ニ遽カニ之ヲ行ヒ難ク共済組合ハ其範圍甚タ狭キノミナラス事業ノ基礎亦不完全ナリ故ニ我邦ニ於テハ先ツ簡易生命保險事業ヲ實施スヘ

キモノナルコトヲ主張スルナリ勿論簡易生命保險ニ於ケル保險事故ハ人ノ生死ニ關スル事故ニ限ルヲ以テ勞働保險ト其範圍悉ク一致スルモノニアラス又共濟組合ニ於ケル效果ヲ悉ク含有スルモノニアラス即チ簡易生命保險ハ災害ニ關スル事故ヲ保險セサレハナリ然レトモ之カ爲メ簡易生命保險事業カ賃銀勞働者ノ地位改良ニ關シ最モ必要ニシテ適切ナル手段ナリトノ主張ヲ害スルモノニアラス是レ我邦ノ所謂勞働問題ニ關シテモ亦簡易生命保險事業ノ必要ヲ唱フル所以ナリ

加之世界ノ文明ト共ニ益々發達スヘキ冷淡ナル資本組織ノ下ニ生活スル人民ノ地位改良ニ關スル問題ハ決シテ賃銀勞働者ニ限ラルヘキモノニアラス機械ノ發達ニ伴フ從業者ノ苦痛ノ狀況ハ其程度ヲ遽カニ進メタルト且人目ニ顯著ナルヲ以テ下級人民ノ地位改良ニ關スル社會政策ハ恰モ賃銀勞働者問題ニ限ラレタルカノ觀アリト雖トモ是レ甚々狭小ナル見解ナリト云ハサルヘカラス地主ニ使役セラル、小作人其他ノ下級農民、會社ニ雇傭セラル、書記其他ノ下級社員及國家若クハ公共團體ニ奉職スル下級吏員其他之ニ準スヘキモノニシ

テ其一定セル少額ノ給料ハ僅カニ自己及其家族ノ必要費ヲ支フルニ足ルノミニシテ貯蓄ノ餘裕殆トナク昇給ノ希望甚々薄キモノノ如キ一旦ニシテ偶然ナル事故ニ遭遇センカ辛フシテ支ヘ來リタル劣弱ナル社會上ノ地位ヲ全然失墜シテ再ヒ起ツ能ハサラシムルノミナラス動モスレハ母子父ノ屍ヲ擁シテ徒ラニ寒天ニ哀哭セサルヘカラサルニ至ルニアラスヤ今日ノ社會組織ニ於テ其僅カニ占メ得タル地位ヲ安全ニ維持セシメ且漸次ニ之カ改良ヲ計ラシムルノ必要ハ決シテ賃銀勞働者ニ限ラルヘキモノニアラス廣ク一般ノ下級人民ニ對シテ之ヲ講究セサルヘカラサルナリ簡易生命保險事業ハ勿論生命保險以上ノ效果ヲ擧ケ得ルモノニアラス然レトモ其事業ノ恩澤ニ浴シ得ヘキ範圍ハ甚々廣クシテ單ニ賃銀勞働者ニ限ルニアラス一部企業者ノ使用人ニ止メラル、ニアラス一般下級人民ニ對シテ行ハル、モノナリ故ニ此主旨ニ於テ下級人民ニ對スル社會政策トシテ簡易生命保險事業ノ必要ヲ重ネテ主張セント欲スルナリ

第十六章 我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險
事業ノ弱點

簡易生命保險事業カ其性質上ノ弱點トシテ種々ナル問題ヲ有スルコトハ既ニ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ノ項ニ詳述セリ然シテ前章ニ於テ述タル如ク我邦ノ目下ノ事情ニ照シ簡易生命保險事業ヲ實施スル必要アリトセハ單ニ此事業ノ性質上ノ弱點ノミナラス我邦ノ事情ニ基ク弱點ニ就テモ十分之ヲ講究シ相當ノ計畫ヲ樹ツル必要アルコト言フ俟タス然シテ我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險事業ノ弱點トシテ論スヘキモノ種々アリト雖トモ大體ニ分ツコトヲ得ヘシ即チ我邦ニ於テ既ニ開始セラレラル普通生命保險事業ニ對シ今後實行セントスル簡易生命保險事業カ相抵觸スル所アルカ爲メ此事業ノ實施ニ付困難ヲ感セシムルモノト全ク之ト關係ナク單ニ我邦ノ事情ニ依リ其實施ヲ困難ナラシムルモノトノ二是ナリ故ニ本章ニ於テハ先ツ我邦ニ於ケル普通生命保險事業ト簡易生命保險事業トノ間ニ抵觸アル所以ヲ説明シ次ニ此

抵觸アルカ爲メ特ニ我邦ニ於ケル簡易生命保險事業ノ弱點トシテ論スヘキモノヲ掲ケ終ニ其他ノ事情ニ基クモノヲ列舉セント欲ス

一、先ツ簡易生命保險事業ノ普通生命保險ニ對シテ生スヘキ抵觸ニ就テ論セシニ抑モ我邦ニ於ケル普通生命保險事業ハ著シク發達シタリト雖トモ其一部ハ寧ロ簡易生命保險事業ナリト稱スヘキモノナリ元來簡易生命保險事業ノ普通生命保險ニ對シテ有スル特色ハ保險金額ノ小ナルコト、保險料支拂度數ノ多キコト及醫的診查ノ簡略ナルコト等ニアルコトハ既ニ第五章ニ於テ詳述セリ然ルニ我邦ノ生命保險契約ハ比較的小額ノ保險金額ニ就テ之ヲ締結シ又保險料支拂度數ノ比較的多數ナルモノ多ク寧ロ此等ハ簡易生命保險契約ナリト稱シ得ル程度ノモノ多キ有様ナリ

イ、簡易生命保險事業ハ經濟上ノ地位劣等ナル下級人民ノ爲ニ設ケタルモノナレハ其保險金額モ比較的小額ナリ獨逸ニアリテハ通常千五百馬克ヲ以テ最高限トナシ英國ニアリテハ政府ノ簡易保險ハ百磅ヲ限リトシ米國ニアリテハ其多數ノ契約ハ百弗乃至二百弗ノ間ニアリ然シテ普通生命保險ハ此

等ヨリ以上ノ金額ニ付テノミ契約シ普通保險ニ於ケル保險金額ト簡易保險ニ於ケル保險金額ハ大體ニ區別アリテ自ラ其領域ヲ異ニセリ然ルニ我邦ニアリテハ普通生命保險會社ニアリテ小額ノ契約ヲ爲スモノ多シ即チ近來生命保險事業ノ發達ト共ニ各會社ハ小額保險ノ不利ヲ認メ漸次之ヲ高ムルニ銳意シ居レリト雖トモ尙明治三十九年度ノ報告ニ依ルニ二十四會社ノ殆ント全部ハ百圓ヲ最低トシ甚タシキハ五十圓ヲ最低トスルモノアリ唯千代田生命保險相互會社カ三百圓以上第一生命保險相互會社カ五百圓以上ニ限レルモノアルノミ從テ死亡保險總契約高中三百圓以下ノ契約高及五百圓以下ノ契約高ヲ比較スルニ左ノ如シ

總契約高 件數七八五、五三一
 金額二六九、八七二、四一六^円

三百圓以下 件數五六一、五一八
 金額九三、八九五、〇九七^円
 (件數六九八、〇九二)

五百圓以下金額一六一、六五三、〇九七^円

即チ總契約高ノ中三百圓以下ノモノハ件數ニ於テ其七割一分餘、金額ニ於テ三割四分餘ヲ占メ五百圓以下ノモノハ件數ニ於テ八割八分餘、金額ニ於テ五割九分餘ヲ占ムルヲ見ル故ニ簡易生命保險契約ノ最高限ヲ三百圓ナリトナシ普通保險ハ此領域ニ侵入セストセハ現在ノ普通保險契約ヲ爲セルモノ、七割一分、若シ最高限ヲ五百圓ト爲サハ八割八分ハ全然簡易生命保險事業ニ移ラサルヘカラス然シテ我邦ニ於テ簡易生命保險ヲ實施セントスル曉ニ於テモ少クトモ三百圓若クハ五百圓ヲ以テ最高限ト爲サ、ルヘカラス之ヨリ以下ノ最高制限ヲ設クルニ於テハ如何ニ下級人民ナリトモ其必要ヲ充タスニ足ラサルヘキヲ以テナリ故ニ現ニ我邦ニ於テ斯ノ如キ普通生命保險カ行ハレ居ルニ際シ簡易生命保險ヲ開始セントセハ勢ヒ其領域ニ付抵觸ヲ生セサルヘカラス然シテ各生命保險會社ハ近來小額保險ノ不利ナルヲ認メ會社内部ノ規定ヲ以テ小額ノ新契約ヲ拒絶シ若クハ小額ノ新契約ニ對シテハ紹介手数料等ヲ與ヘサル等ノ方法ニ依リ漸次ニ小額契約ノ減少ヲ計リ之ニ依

リテ契約平均額ヲ昂進セシムルコトニ努メツ、アルハ一般ノ傾向ナルト雖トモ速カニ之ヲ勵行シ得ルモノニアラス勿論五百圓以下ノ小額ノ新契約ハ漸次其増加率ヲ遞減スヘキハ疑ヲ容レスト雖トモ今速カニ簡易生命保險カ其領域ヲ占領シ得ヘキモノニアラス自ラ兩者ノ競争ヲ惹起セサルヲ得ス然シテ兩種ノ保險自ラ一長一短アリ例ハ簡易保險ハ無診査等手續ノ簡易ヲ標榜スヘク普通保險ハ簡易保險ノ保險料ノ高價ヲ指摘スヘシ故ニ斯ノ如キ事情ニ於ケル我邦ノ簡易保險事業ニ付テハ是亦一ノ弱點トシテ示サ、ルヲ得ス尙之カ爲メニ生スル競争ニ付テハ後ニ本章(二)ノ項ニ之ヲ述フヘシ

□、保險料支拂ノ方法ニ關シテハ簡易生命保險ハ一ノ特色ヲ有スルコト前ニモ述ヘタリ外國ニ於ケル普通保險ノ保險料ハ一年一回之ヲ支拂フヲ原則トシ一年二回即チ半年拂ヲ認ムルモノ少カラス又一年四回即チ三ヶ月拂ニ至リテハ例外トシテ之ヲ認ムルモノアルノミ然ルニ簡易保險ニアリテハ一年五十二回即チ週拂ヲ原則トシ時ニハ一年十二回即チ月拂ヲ認ムルモノアリ是レ歐米ニアリテ下級人民カ其報酬ヲ受取ル場合ニ於テ多クハ一週間ヲ

以テ計算スルカ故ニ其報酬ヲ受取リタル時期ニ於テ保險料ヲ拂込マシムルコト保險契約者ニトリテ甚タ便利ナルノミナラス若シ此時期ニ保險料ヲ徵收スルニアラサレハ貯蓄ノ餘裕ト貯蓄ノ思想ニ乏シキ下級人民ハ忽チ之ヲ使用シ悉シテ保險料ノ徵收甚タ困難トナルカ故ナリ然ルニ我邦ノ普通保險ニアリテハ一年拂、半年拂及三ヶ月拂ヲ認ムルト共ニ一ヶ月拂ヲ認ムルモノ甚タ多シ前ニ引用シタル統計ヲ提供シタル二十四會社ノ中一ヶ月拂ヲ認メサルモノハ僅ニ四會社ノミ勿論近來ニ於ケル生命保險ノ發達ハ一ヶ月拂ノ不利ナルコトヲ認メ漸次之ヲ用ヒサルノ傾向ヲ生セシメタルハ之ヲ認ムト雖トモ兎ニ角我邦ノ現狀ニアリテハ一ヶ月拂ハ寧ロ一般ニ行ハル、モノナリト云フコトヲ得ヘシ然カモ我邦ニ於テハ下級人民ニ對スル報酬ノ支拂ハ週ヲ以テ計算スルコトナク日、半ヶ月若クハ一ヶ月ヲ以テスルヲ常トスル有様ナリ故ニ簡易保險ヲ實施セントスルニ付テモ其保險料ハ自ラ月拂ト爲ササルヘカラサルニ至ルヘシ從テ此點ニ於テハ普通保險ト簡易保險トハ相一致スルヲ以テ歐米ニ於ケルカ如ク保險料支拂度數ノ多キコトハ簡易保險ノ

特色ナリト主張スル能ハサルナリ是レ亦我邦ノ實情ニアリテハ簡易保險ト普通保險カ其領域ヲ相犯シ從テ兩者ノ間ニ好マシカラサル競争起ルヘシト云フ所以ナリ

二、斯ノ如ク我邦ニ於テハ簡易保險ト普通保險カ其領域ヲ相犯シ今簡易保險ヲ實行セントセハ勢ヒ兩者ノ競争ヲ惹起セサルヘカラス此競争ハ性質上永續スヘキモノニアラス將來ニ於テハ自ラ其間ニ區劃ヲ生シ相犯サ、ルニ至ルヘシト雖トモ少クトモ或時期ノ間此競争ノ繼續ニ依リ折角發達セントシツ、アル普通生命保險ハ一時擾乱ヲ來タスヘク簡易保險モ其發達ヲ望ムコト頗ル困難ナリト爲サ、ルヘカラス殊ニ今我邦ニ於テ簡易保險ヲ實施セントセハ此競争アルカ爲メ簡易保險ハ普通保險ニ對シ寧ロ劣等ナル地位ニ立タサルヘカラスト信ス斯ノ如キ事情ハ即チ我邦ノ實情ニ基ク簡易保險事業ノ弱點トシテ十分注意セサルヘカラス所ニシテ今次ニ其理由ヲ述フヘシ

イ、保險料ノ競争ニ於テ簡易保險ハ普通保險ヨリ劣位ニアラサルヘカラス簡易保險ノ保險料カ普通保險ニ於ケルヨリ低廉ナルヘキ理由ハ醫師報酬ノ

節約ニアリト雖トモ此理由ハサマテ重大ナルモノニアラス然ルニ却テ其高價ナラサルヘカラス理由ハ其重大ナルモノ種々アリ簡易保險ニアリテハ國民死亡表ヲ基礎トスルカ故ニ選擇死亡表ヲ基礎トスル普通保險ニ於ケルヨリ其純保險料ハ高價ナラサルヘカラス國民死亡表ノ使用及醫的診査ノ節略等ノ理由ヨリ死亡率ノ狂ヒノ爲メニスル附加保險料ハ普通保險ヨリ高價ナラサルヘカラス保險料ノ些少ナル多數ノ契約ヲ取扱ヒ保險料支拂ノ度數多ク且之ヲ集金スル等ノ理由ヨリ營業費ノ爲メニスル附加保險料モ亦高價ナラサルヘカラス從テ簡易保險ノ保險料ハ普通保險ニ於ケル保險料ヨリ頗ル高價ナラサルヘカラス理由ヲ有シ現ニ外國ニ於テモ簡易保險ノ保險料ハ普通保險ニ比シ六割乃至七割高價ナルコトハ既ニ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ニ述ヘタル所ニ於テ明瞭ナリト信ス故ニ簡易保險カ之ヨリ普通保險ニ對シ競争ヲ開始セントスルニ付テ先ツ此點ニ於テ大ナル困難ヲ感セサルヘカラス若シ此間ニ處シ強テ簡易保險カ其事業ヲ擴張センカ爲メニハ保險料ヲ不當ニ低廉ニセサルヘカラス是レ簡易保險事業ノ基礎ヲ破

壞スルモノニシテ決シテ健全ナル發達ヲ期待スル能ハサルナリ是レ我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險事業ノ弱點ノ大ナルモノナリ

□、無診査ハ簡易生命保險ノ特色ナレトモ必スシモ絶對ニアラス米國メトロポリタン會社ノ所謂「メヂカル、インスベクター」ノ如キ比較的詳細ナルモノニシテ殊ニ其代理店モ不健康體ノ混入ヲ避クルニ付監視ノ義務ヲ有スル程ナリ故ニ簡易保險ト雖トモ保險ニ適當セサル被保險體ノ混入ハ之ヲ忌マサルヘカラス然シテ我邦ノ普通保險ハ醫的診査ヲ行フト雖トモ契約高ノ増加ヲ計ルニ急ナルカ爲メ動モスレハ粗略トナル傾ヲ有ス今簡易保險ヲ實施シテ普通保險トノ競争ヲ開始セラル、ニ於テハ普通保險ハ益々醫的診査ヲ粗略ニスヘキ傾向ヲ増スヘキ處アルノミナラス簡易保險モ亦競争ノ困難ナル結果契約ヲ得ルニ急ニシテ被保險體ニ關スル注意ヲ薄フシ爲メニ事業ノ基礎ヲ破壞スル虞大ナリ

ハ、簡易保險ハ既ニ事業ノ地盤ヲ有スル普通保險ニ對シテ競争ヲ開始セサルヘカラサルノミナラス本項(イ)ニ述タル如ク保險料ノ高價ナル點ニ於テ普通保險ヨリ劣位ニアルモノナルカ故ニ若シ保險契約者カ十分ニ保險思想ヲ有スルニ於テハ勿論低廉ナル普通保險ニ加入スルコトヲ望ムヘシ普通保險ハ身體診査ナル手續ヲ施スト雖トモ之カ爲メ普通保險ニ加入スルヲ妨クルモノハ極メテ僅少ナルヘキナリ然シテ簡易保險ニアリテハ不健康體ノ混入ニ付相當ノ注意ヲ爲サルヘカラスト雖トモ競争ノ結果ハ前項(ロ)ニ述ヘタル如ク此點ニ關スル注意ヲ粗漏ナラシムル傾向ヲ有ス故ニ簡易保險ハ普通保險ノ身體診査ニ合格スル見込ナキモノ若クハ不合格トナリシモノ、集團ル所トナルヘシ勿論簡易保險ニ於テモ保險金削減期間等ノ制度ヲ設ケテ不健康體ノ混入ニ對スル善後策ヲ講シ得ヘシト雖トモ前記ノ如キ我邦ノ事情ニアリテハ之ニ對抗スルニ足ル效果ヲ有スルコト困難ナルヘシサレハ今簡易保險カ他ニ別段ノ方法ヲ具ヘスシテ普通保險ト競争ヲ開始セシニハ簡易保險事業ハ普通保險ノ撰ヒ殘シタル不健康體ノ集團トナルヘキナリ

二、前段イ、ロ、ハ、ノ各項ニ述ヘタル如ク簡易保險カ普通保險ニ對シ競争ヲ開始セシトスルニ付テハ種々困難ナル事情ニ逢着ス即チ其保險料ハ著シク高

價ナラサルヘカラス無診査ノ結果ハ不健康體ノ混入ヲ多カラシムル等ノ事情アルノミナラス營業費ノ多額ナルヘキハ既ニ第七章ニ於テ此事業ノ性質上ノ弱點トシテ述ヘタルカ如キ有様ナルヲ以テ簡易保險ノ營業ハ頗ル困難ナラサルヘカラス故ニ既ニ相當ノ地盤ヲ有スル普通保險ニ向テ競争ヲ開始スルトモ別段ノ特色ヲ有スルニアラサレハ相當ニ事業ヲ擴張シ得ル望少シト云ハサルヘカラス此ノ如キ成算ナキ競争ノ開始ハ漸ク發展シツ、アル普通生命保險事業ヲ徒ラニ擾亂スルニ止マリ又却テ簡易生命保險事業ノ發達ヲ沮害スルニ過スト云ハサルヘカラス是レ本章ニ於テ簡易保險ハ普通保險ト其事業ノ領域ニ付テ抵觸ヲ生スヘク之カ爲メ簡易生命保險事業ノ發達ノ困難ナルヘキコトハ是レ即チ我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險事業ノ重ナル弱點ナルコトヲ説ク所以ナリ

三、前段ニ於テ普通保險ニ對スル領域ノ抵觸ニ基ク簡易保險事業ノ弱點ヲ述ヘタリ然シテ本項ニ於テハ其他ノ理由ニ依リ我邦ノ實情ニ基ク簡易保險事業ノ弱點ト稱スヘキモノヲ列舉セント欲ス

イ、簡易保險ノ死亡表ハ國民死亡表ヲ用フヘキモノニシテ又之ヲ用フルヲ常トスルコトハ第五章簡易保險ノ普通保險ニ對スル比較ニ於テ之ヲ述ヘタリ然ルニ我邦ニ於テハ未タ人口統計サヘモ之ヲ有セス從テ國民死亡表ノアルコトナシ尤モ我邦ニ於テハ普通保險ニアリテモ多數ノ會社ハ歐米ニ於ケル經驗ニ基ク選擇死亡表ヲ用フルナリ我邦ノ經驗ニ基ク死亡表ナルモノ無キニアラスト雖トモ廣ク用ヒラレサル有様ナリ故ニ我邦ノ國民死亡表ノ欠缺ヲ以テ特ニ簡易保險ノミカ有スル弱點ナリト爲ス能ハス然レトモ我邦ノ國民狀態ハ歐米諸國就中英米獨等ニ於ケル國民狀態ト同等ナリト稱スルコトハ困難ナルヘシ從テ確實ナル根據アルニアラスト雖トモ今簡易保險ヲ實施セントスルニ當リ我邦國民死亡表ナク歐米ノ國民死亡表ニ多少ノ斟酌ヲ加ヘテ使用セサルヘカラストセハ是レ亦簡易保險ノ一ノ弱點ナリ

ロ、死亡率ニ就テモ一層ノ注意ヲ爲スコトヲ要ス既ニ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ニ述ヘタル如ク簡易保險ハ普通保險ヨリ其死亡率カ高度ナル性質ヲ有ス即チ前者ハ後者ニ比シ動モスレハ其實際死亡數カ豫定死

亡數ニ超過スヘキ虞ヲ有スルコト大ナリ然シテ我邦ニ於ケル普通保險ノ經驗ニ依ルニ從來ノ狀況ニアリテハ實際死亡數カ豫定死亡數ヲ超過スル傾向ヲ有ス我邦ノ中流以上ノ會社ノ三十九年度報告ニ依レハ甚タシキモノハ豫定死亡數百ニ對スル實際死亡數ノ割合ハ件數ニ於テ百十、金額ニ於テ百七ナルモノアリ最モ甚タシキハ件數ニ於テ百二十四、金額ニ於テ百二十二ニ及ヘルモノサヘアリ若シ斯ノ如キ事情ノ下ニ於テ同一會社カ簡易保險ヲ營ムトモハ性質上實際死亡超過ノ傾向ヲ有スル簡易保險ハ益々其死亡率ヲ高度ナラシメサルヘカラス況ンヤ前ニモ述ヘタルカ如ク簡易保險ノ實施ハ困難ナル競爭ヲ要ストセハ我邦ニ之ヲ實施スルニ當リテ慎重ナル注意ヲ爲サ、ルヘカラサルナリ

ハ、外國ニアリテハ不可爭條項ハ普通保險ニモ亦簡易保險ニモ適用セラレ即チ保險契約者若クハ被保險者カ契約締結ノ際過失又ハ懈怠ニ依リ告知義務ヲ履行セサリシ場合ニ於テ契約締結後一定ノ期間ヲ經過シタル後其不履行ヲ發見スルモ惡意ノ場合ヲ除クノ外保險者ハ之ヲ以テ保險契約者等ニ對

抗セサルヘシトノ約款ハ一般ニ用ヒラル、所ナリ然シテ此不可爭條項ハ普通保險ノ場合ヨリ簡易保險ニ於テ一層其必要ヲ見ル何トナレハ下級人民ハ強チ惡意ニアラスシテ告知義務ヲ過チ易キモノナレハナリ然レトモ我商法ニ於テハ斯ノ如キ不可爭條項ノ規定ハ同第三百九十條ニ照シ果シテ有效ナルヘキヤ否ハ議論ノ存スル所ナリ故ニ若シ商法第三百九十條ノ存スル以上ハ不可爭條項ノ約款ヲ使用スルコトヲ得ストスレハ是レ亦特ニ我邦ニ於ケル簡易保險ノ弱點ナルヘシ蓋シ下級人民ハ保險及法律ニ關スル思想殊ニ幼稚ナルカ故ニ不可爭條項ノ適用ノ必要ヲ感スルコト最モ切ナルモノナレハナリ

二、簡易保險ノ保險料ハ普通保險ニ於ケルヨリ高價ナルヘキ性質ヲ有スルコト前ニモ屢々述ヘタリ然シテ我邦ニ於テハ此傾向ヲ益々大ナラシムヘキ事情アリ我邦ノ國民狀態ハ英米獨ニ於ケル國民狀態ヨリ稍劣等ナルヘキノ疑ヲ有ス蓋シ我邦ノ風土ハ其天與ニ於テ英米獨等ニ勝ルト雖トモ人民ノ體格及衛生ノ狀況ヨリシテ若シ事業ヲ慎重ニ行ハントセハ英米獨ノ國民死亡

表ニ對シ多少ノ割増ヲ爲サ、ルヘカラサルヘシ斯ノ如キハ純保險料及豫定死亡率ノ狂ヒノ爲メニスル附加保險料ヲシテ益々増加セシムルモノナリ又後ニ述フル保險料徴收ノ困難ナル事情等ヨリシテ性質上多額ナルヘキ簡易保險ノ營業費ハ益々増加サルヘキ傾向ヲ有シ從テ營業費ノ爲メニスル附加保險料モ亦益々高價ナラサルヘカラス又特ニ我邦ニ於ケル普通保險ノ狀況ヨリ之ヲ觀察スルニ尙此點ニ付注意セサルヘカラサル事情アリ我邦ノ普通保險事業ニアリテハ營業費ノ爲メニスル附加保險料ハ營業保險料ノ二割五分ナルヘシトハ一般ニ認メラル、所ナリ然ルニ實際普通生命保險會社カ使用スル營業費ハ此率ヲ超エ居ルモノ多シ今中流以上ノ十會社ノ三十九年度ノ報告ニ於テ其收入保險料ニ對スル營業費ノ割合ヲ見ルニ其最モ多額ナルモノハ四割六分、最少ナルモノハ二割三分其平均三割餘トナル有様ナリ今之ヲ以テ絶對ニ正確ナル議論ナリト爲ス能ハサルモ大體ニ於テ其營業費カ豫定ニ比シ超過シ居ルノ傾向ハ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシ故ニ今普通保險ト同一ノ狀況ニ於テ簡易保險ヲ開始セントセハ營業費ニ付不足ヲ感スヘキ傾向

ハ益々之ヲ感セサルヲ得ス是レ簡易保險ノ保險料ノ特ニ高價ナルヘキ事情ニ關シ注意ヲ拂ハサルヘカラサルコトヲ説ク所以ナリ
ホ、保險料徴收ノ困難ナルコトモ亦簡易保險ノ弱點ナリ歐米ニアリテハ勞動者其他ノ下級人民ニ對スル賃銀ノ支拂ハ週ヲ以テスルカ故ニ保險料モ亦週拂トスルコト保險契約者カ保險料ヲ支拂フニ便ナルノミナラス貯蓄ノ餘裕ト貯蓄ノ思想ニ乏シキ下級人民カ動モスレハ保險料ノ支拂ヲ延滞スルノ傾向ヲ減少セシムルノ效ヲ有スルモノナリ然ルニ我邦ニ於ケル勞動者其他下級人民ノ賃銀ハ通常其出來高若クハ勤務日數ニ應シテ其額ヲ計算スト雖トモ其支拂ハ一ヶ月一回之ヲ爲スヲ常トシ例外トシテ半ヶ月毎若クハ毎日之ヲ支拂フモノニシテ歐米ノ如ク一週間ヲ支拂時期トスル慣習ナシ然シテ貯蓄ノ餘裕ト貯蓄ノ思想ニ乏シキ下級人民ヲシテ長期ニ亘リ適當ノ時期ニ保險料ヲ拂込マシメ過ナカラシムルニハ其收入アリタル時ニ於テ保險料ヲ徴收スルコトヲ要ス故ニ我邦ニアリテハ毎日半ヶ月毎若クハ一ヶ月毎ニ保險料ヲ徴收セサルヲ得ス然レトモ毎日之ヲ集金スルコトハ保險契約者ニト

リテハ便ナルヘキモ會社ハ到底其費用ニ堪ヘサルヘシ半ヶ月毎ニ賃銀ノ支拂ヲ受クルモノニアリテハ半ヶ月毎ニ保險料ヲ徵收スルコト保險契約者ニトリテモ亦保險會社ニトリテモ便宜ナルヘシサレト我邦ニ於テハ一ヶ月一回支拂ヲ爲スモノ最モ多數ニシテ寧ロ之ヲ以テ賃銀支拂ノ原則ト稱スヘキ有様ナリ從テ簡易保險ノ保險料モ亦毎月之ヲ徵收セサルヘカラス今假リニ米國メトロポリタン會社ノ終身保險週拂保險料三十歳ノ分ヲ見ルニ十仙ノ保險料ニ對シ保險金百三十四弗ヲ支拂フモノナリ故ニ之ヲ其儘月一回ノ支拂ニ變更シタリトセハ百三十四弗ノ保險金ヲ得ンカ爲メニハ毎月四十三仙餘ヲ支拂ハサルヘカラス從テ下級人民ニトリテハ十仙宛四回ニ分割シテ徵收セラル、ヨリ一回四十三仙餘ヲ徵收セラル、ハ事實上ハ兎ニ角感情上ニ於テ比較的苦痛ナルヲ免レス是レ簡易保險ニ於テ成ルヘク保險料ヲ小額ニ分割セシメ其拂込ヲ容易ナラシメントスル簡易保險ノ特色ヲ失ハシムルモノナリ殊ニ前ニモ述ヘタル如ク我邦ノ普通保險ハ保險料一ヶ月拂ヲ認ムルコト殆ント原則ナルニ於テヲヤ從テ我邦ノ簡易保險ハ其事業ノ執行不便ナ

ルノミナラス普通保險トノ競争ノ爲メ益々困難ヲ感スヘキナリ又半ヶ月拂毎日拂ノ賃銀ヲ受クルモノニ對シテモ簡易保險ノ恩澤ヲ及ボセントセハ保險料支拂時期ニ付此等ニモ相當ナル方法ヲ設クサルヘカラス尤モ毎日拂ノ如キハ會社ニ於テ到底之ヲ實行シ能ハサルヘキヲ以テ例ハ郵便切手貼付ノ方法ノ如キ相當ノ手段ヲ講セサルヘカラサルヘシ

へ、被保險者ノ地位ノ劣弱ナルコトハ簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ナルト共ニ我邦ニ於テハ特ニ注意スヘキ事情アリ我邦ニアリテハ維新ノ餘響漸ク收マラントシツ、アルモ急激ナル社會上ノ變化ハ各人ヲシテ其地位ニ安靜ナラシメス就中勞働社會ニアリテハ秩序未タ立タス其地位甚タ變動シ易ク頗ル不確定ナリト云ハサルヘカラス九州地方ノ如キ比較的狭小ナル地方ニ各種ノ大企業カ勃興シツ、アルカ爲メ特別ノ理由ノ存スルモノアルヘシト雖トモ各企業ニ於ケル勞働者ノ出入甚タ多シ現ニ同地方ニ於テ斯ノ如キ影響ヲ受クルコト最モ少カルヘキ某官立大工場及私設大工場ニ就テ見ルモ其勞働者ノ約半數ハ毎年變更出入スルヲ見ル有様ナリ然シテ此等勞働者

ハ其職業ヲ屢々變更スルコト例ハ今日ハ鑛坑中ニ入り明日ハ鐵路上ニアルカ如キ有様ナルト共ニ其住所モ屢々變更シ且ニ門司ニアレハ夕ニ長崎ニアルカ如キ有様ナリ九州ノ一部ヲ除クノ外全國必スシモ斯ノ如キ事情ニアリト云フ能ハサレトモ歐米ニ於ケルカ如ク父子三代相次テ同一企業者ノ下ニ勞働スルト云フカ如キ狀況ニ比シテハ甚シキ差異アリ元來勞働者ノ地位カ劣弱ニシテ變動シ易キ爲メ保險料集金ノ頗ル困難ニシテ其結果動モスレハ會社ハ其集金手續ヲ怠リ被保險者ハ之カ支拂ヲ爲サス爲メニ契約ノ失效ヲ來タスコト多キハ簡易保險事業ノ性質上ノ弱點トシテ歐米ニ於テモ認メラル、所ナリ然ルニ我邦ノ事情果シテ前述ノ如クナリトセハ是レ亦簡易保險ノ經營ヲ困難ナラシムル一因ナラスンハアルヘカラス

ト、失效契約ノ多大ナルコトハ簡易保險事業ノ性質上ノ弱點ナルコト既ニ第七章ニ於テ之ヲ詳述セリ然シテ其多數ハ契約ノ第一年度若クハ第二年度ニ集中シ居ルコトモ亦説明セリ今我邦ニ於テ簡易保險ヲ實施セントスルニ當リテモ深ク此點ニ注意セサルヘカラス今我邦ノ普通保險事業ノ狀況ニ付

テ見ルニ中流以上十會社ノ三十九年度ノ報告ニ依レハ該年度ニ於ケル經過契約(年始現在契約ト年末現在契約ノ和ノ二分ノ一)ト所謂解約ノ數ヲ比較スルニ矢張り契約ノ第一年度、第二年度若クハ第三年度ニ集中シ居ルナリ即チ其割合ヲ見ルニ一年度以内ノ解約ハ總解約百ニ比シ件數二十三、七金額二十九、二年度以内ノ分ハ件數四十六、七金額五十二、六又三年度以内ノ分ハ件數六十四、六金額七十、二トナル勿論統計ノ結果ヲ論スルニ當リテハ種々ナル事情ヲ斟酌セサレハ其實情ヲ論スル能ハスト雖トモ之ヲ以テ大體ニ於テ誤リナキモノトシ之ヲ根據トシテ論スルヲ得ルトセハ今簡易保險ヲ實施セントスルニ當リテモ此契約ノ失效多大ナル點ニ注意シ相當ノ方法ヲ研究セサルヘカラス且失效契約殊ニ契約後比較的短期間ニ於ケル失效契約ハ保險契約者及保險者ニトリテモ直接ニ損害ヲ來タスモノナレハ之ニ對シ其豫防ニ力ムルト共ニ其結果ノ救済ニ付テモ十分講究スル必要アルコト及ヒ各國ノ學者カ此點ニ腐心シツ、アルコトハ既ニ第七章、第十一章及第十二章等ニ於テ之ヲ述ヘタルカ如シ故ニ此點ニ付テモ相當ノ方法ヲ研究セサルヘカラサルナ

子、人意的危険ノ多大ナルコトモ亦簡易保險ニ於テ注意セサルヘカラス保險金ヲ得ンカ爲メ人ヲ殺スモノアルコトハ歐米ニ於テ屢々之ヲ認ムル所ニシテ我邦ニ於テモ亦然リ故ニ獨逸法系ノ諸國ノ法制ニアリテハ他人ノ身體ニ付生命保險ヲ締結セントスルモノハ其同意ヲ必要トスル旨ヲ規定セリ是レ自己ノ身體ヲ他人ノ契約ノ目的ニ供スルコトヲ承諾スルハ其他人カ自己ノ生命ニ危害ヲ及ホスコトアルヘキヲ信シタルニ依ルト解釋スルヲ得レハナリ我商法カ第四百二十八條ニ依リ保險金額ヲ受取ルヘキモノハ被保險者其相續人又ハ親族ナルコトヲ要スト爲スモ亦此種ノ保險詐欺ヲ防ク主旨ニ出テタルモノナリ社會上ノ地位劣等ニシテ智識淺薄ナル下級人民ニアリテハ保險金ヲ得ンカ爲メ人ヲ殺スノ虞ハ上流社會ニ於ケルヨリ大ナルモノト推サ、ルヲ得ス是レ簡易保險ニ於ケル人意的危険カ普通保險ヨリ多大ナルヘキ虞ヲ有スト云フ所以ナリ又我邦ノ風俗ニアリテハ事ノ善惡ニ拘ハラヌ身命ヲ輕ンスルノ傾アリ故ニ種々ナル事情ノ下ニ自殺スルモノ甚タ多シ殊

ニ或場合ニ於テハ自殺ハ自己ノ信念ヲ全ウスル最後ノ手段トシテ是認セラレ居ル有様ナリ是レ自殺ヲ以テ宗教上ノ罪惡ナリト信スル歐米諸國トハ大ニ事情ヲ異ニスル所ナリ然シテ我商法及保險約款ニ於テモ自殺ニ依リ死亡スルモ保險者ハ保險金支拂ノ責ニ任セスト爲セトモ實際ニ於テハ其死亡カ果シテ自殺ナリヤ又ハ精神障礙ノ結果ニシテ病的死亡ト認ムヘキモノナリヤ疑ハシキ場合多ク從來ノ判例ニ依レハ斯ノ如キ場合ニアリテハ保險者ハ保險金支拂ノ責ニ任スヘキモノナリト爲スモノ多キカ如ク從テ商法及約款ノ規定モ事實上效果少キカ如シ故ニ此自殺ニ關スル問題モ特ニ我邦ニ於ケル簡易保險事業ニ付相當ノ研究ヲ爲サ、ルヘカラサル所以ナリ

リ、代理店組織ノ實情ニ關シテモ亦研究ヲ要スル事情アリ代理店ハ自己ノ私利ヲ圖ルカ爲メ或ハ其所在ノ鄉黨ノ情實ニ纏綿セラル、等ノ原因ヨリ動モスレハ其代理權ヲ濫用シテ不健康體ニ對シ契約ヲ締結シ或ハ手数料ヲ貪リ若クハ收入シタル保險料ヲ抑留スル等ノ弊アルモノナリ米國(メトロポリタン)會社ノ如キハ代理店ヲシテ被保險者ノ身體ノ健否ニ關シ其常識ノ程度

ニ於テ責任ヲ有セシメ又保險料ノ集金ニ關シテハ一切關係セシメス然シテ別ニ代理店監督ヲ置キテ代理店ノ事務ヲ巡回監督セシメ保險料ハ多數ノ集金人ヲシテ之ヲ集金セシメ居ルナリ然ルニ我邦ノ普通保險ノ經驗ニ依レハ上述ノ如キ代理店ノ弊害少カラス之カ爲メ保險契約者モ亦保險者モ不測ノ損害ヲ蒙ルコトアルナリ若シ現在ノ普通保險ト同シ狀況ニ於テ簡易保險事業ヲ開始スルモノトセハ此弊ハ益々大ナルヘシ何トナレハ普通保險ニアリテハ代理店ハ醫師ト結托スルニアラサレハ濫リニ契約ヲ爲スト雖トモ簡易保險ニアリテハ無診査ナルヲ奇貨トシ代理店ハ益々其代理權ヲ濫用スヘク且手數煩雜ニシテ口數多キ保險料ノ集金ノ如キハ之ヲ懈怠スルコト多カルヘケレハナリ故ニ今簡易保險ヲ實施セントスルニ當リテモ現今ノ普通保險ニ關スル代理店組織ノ實情ヲ觀察シ相當ノ注意ヲ爲サルヘカラサルナリ

又、簡易保險ノ被保險者ノ社會上ノ地位ハ劣等ナルモノナレハ法律上及保險約款上ノ手續等ニ關シテモ十分親切ナラサレハ簡易保險事業ハ十分ニ其效果ヲ奏シ難キコトハ前ニ簡易保險事業ノ性質上ノ弱點ニモ述ヘタリ我邦ノ如キ普通保險實施ノ日淺キト共ニ國民一般ノ法律思想幼稚ナル國ニ於テハ益々此點ニ付注意ヲ爲サルヘカラス例ハ失効ノ豫告、拂濟證券振替等ノ如キ事業者カ親切ニ之ヲ取扱フニアラサレハ被保險者ハ十分事業ノ恩澤ニ浴スル能ハサルヘシ勿論自己權利ノ主張ヲ懈怠シタルモノカ損失ヲ蒙ルコトハ理論上當然ニシテ怪ムニ足ラスト雖トモ簡易保險就中我邦ノ如キ保險思想極メテ幼稚ナル國民ニ對スル簡易保險事業ニアリテハ特ニ之ヲ救済スル必要アリ然シテ現今ノ普通保險ノ實情ニ照シ一般事業者ニ對シ悉ク斯カル要求ヲ爲シ得ヘキヤハ疑ハサルヲ得ス

第十七章 我邦ニ於ケル簡易生命保險事業
ノ計畫

我邦ニ於ケル簡易生命保險事業ノ經營ニ關シテハ普通保險會社カ兼營ヲ計畫シタルモノ三アリ又此事業ノ爲メ特ニ株式會社ヲ設立セントスルモノ一アリ然シテ何レモ未タ公表セラレタルモノニアラス故ニ其各條ニ付テ爰ニ評論ヲ爲ス能ハス然レトモ各計畫ニ共通ナル大體ノ設計ニ對シ一應ノ評論ヲ試ムルハ強チ不當ニアラサルヘシ蓋シ前述シタル如ク簡易生命保險事業ハ特別ノ性質ヲ有シ且ツ其性質ニ基ク弱點ヲ有スルト共ニ又我邦ノ實情ニ照シ特ニ講究スヘキ問題ヲ有ス然シテ我邦從來ノ計畫ハ此等ノ問題ヲ適當ニ解決シ居ルヤ否ニ付一應ノ評論ヲ試ミントスルニ外ナラサレハナリ

一、保險金額ノ最高限ヲ定ムルニ付キ三百圓、五百圓、千圓及五千圓ヲ以テスルノ四種アリ英國ニアリテハ百磅、獨乙ニアリテハ千五百馬克ヲ通常トシ米國ニアリテハ大多數ノ契約ハ二百弗以下ナルニ對シ我邦ニ於テ最高限ヲ五千圓ト

爲サントスルカ如キ殆ト簡易保險ノ何タルヲ解セサルモノト云ハサルヘカラヌ又前ニ述ヘタル如ク我邦ノ普通保險契約ハ小額ナルモノ多ク三十九年度ノ報告ニ依ルニ總契約高ノ中件數ニ於テ九割七分、金額ニ於テ八割ハ千圓以下ノ契約ニ屬シ件數ニ於テ七割一分、金額ニ於テ三割四分ハ三百圓以下ノ契約ニ屬ス二百圓以下ノモノト雖トモ金額ニ於テハ二割三分、件數ニ於テハ五割八分ヲ有ス故ニ我邦一般人民ノ生計狀態ニ照シ必要ナルヘキ金額ヲ定ムルト共ニナルヘタ普通保險ト抵觸スルコトナク無益ノ競争ヲ爲サシメサルニ力メサルヘカラス前記ノ設計ノ如キ此等ノ事情ニ關シ十分ノ研究ヲ爲シタルモノナルヤ甚タ疑ハサルヲ得ス

二、保險金ノ算定ノ方法ニ付テハ先ツ保險料額ヲ定メ然ル後之ニ相當スル保險金額ヲ定メントスルモノアリ又普通保險ノ如ク先ツ保險金額ヲ定メテ之ニ相當スル保險料ヲ定ムル方法ヲ採ルモノアリ蓋シ簡易保險ノ顧客タル下級人民ハ生活ノ餘裕少ク知識劣等ナレハ生命保險契約ノ如キ長期ノ契約ニ對シ一

定ノ時期ニ其義務ヲ履行シ得ルヤ否ノ辨識力不十分ナルモノナリ故ニ先ツ自己カ繼續シテ支拂ヒ得ヘキ額ニ付決心ヲ爲シ此保險料ニ對スル保險金額ヲ定メシムルコト保險契約者ニ便利ニシテ外國ニ於テモ此方法ヲ採ルモノ多キコトハ既ニ第五章ニ述ヘタリ然シテ從來ノ計畫ニアリテハ此方法ニ倣ハントスルモノト然ラスシテ單ニ普通保險ニ於ケルト同様ノ方法ヲ採ラントスルモノトノ二種アリ然シテ前者ニアリテハ保險料月額十錢ト定ムルモノアリ年額三圓六十錢ト定ムルモノアリ今共ニ二十年滿期養老三十歳ノ分ニ付テ見ルニ前者ニアリテハ保險金額ハ十六圓四十錢トナリ後者ニアリテハ七十三圓四十七錢トナル故ニ如何ナル下級人民ナリトモ其必要ノ保險金額ヲ得ンカ爲ニハ單ニ一口ノ契約ニテハ足ラサルヘク幾口カノ契約ヲ爲ス必要アルヘシ

三、簡易保險ノ保險料カ普通保險ニ比シ著シク高價ナルヘキ性質ヲ有スルト共ニ實際高價ニシテ各國ノ學者ハ之ヲ低廉ナラシムル方法ニ付研究シツ、アルコトモ既ニ第七章及第十二章等ニ之ヲ詳述セリ今前記ノ計畫ニ依ルトセハ二十年滿期養老三十歳ノ分ニ於テ一ヶ月十錢ノ保險料ニ對シ保險金額十六圓

四十錢ナルカ故ニ若シ約百圓ノ保險金ヲ得ンカ爲メニハ其保險料ハ毎月六十錢以上ナラサルヘカラス然シテ今普通保險ノ場合ニ比スルニ通常四十四錢ナルヲ見ル斯ノ如キハ簡易保險ノ性質上誠ニ止ムヲ得サル所ナリト雖トモ前ニモ述ヘタル如ク我邦ニ於テ簡易保險ヲ實施セントセハ普通保險ト競争ヲ爲サハルヘカラス然ルニ保險料ノ高低前記ノ如シトセハ普通保險ノ身體診査ニ合格スルモノハ固ヨリ普通保險ヲ撰フヘク簡易保險ハ不健康體ノ集團ト爲ル虞アリ唯簡易保險ニ於テハ醫的診査ヲ節略スルヲ以テ團體契約ヲ爲スニ便利ナルカ故ニ必シモ健康體ナル被保險者ノ缺乏ニ苦シムコトナカルヘシト雖トモ從來ノ計畫ニ於テハ團體契約ヲ主トシテ計畫セラレタルモノナシ又團體契約ノミヲ主トスルニ於テハ大企業家ノ下ニアル勞働者ハ之ニ依リテ簡易保險ノ恩澤ニ浴シ得ヘキモ是レ下級人民ノ一部ニ過キササルヲ以テ既ニ第十五章ニ述ヘタル如ク簡易保險ヲ以テ下級人民ノ經濟上ノ必要及下級人民ニ對スル社會政策上ノ必要ニ基ク希望ヲ充タスニ足ラサルナリ故ニ此點ニ付テモ亦一層ノ研究ヲ要スルナリ

四、保險金削減期間ハ既ニ簡易保險ノ特色トシテ第五章ニ於テ其必要ナルコトヲ述ヘタリ然シテ其期間ニ付テモ英米ニアリテハ一年間ヲ通常トシ獨逸ニアリテハ三年若クハ四年トスルヲ常トスルコト及此期間ノ長ニ失スルハ保險契約者ニトリテ不便ナルノミナラス却テ弊害ヲ醸スモノナラサルカノ疑問ニ關シテモ亦第五章ニ述ヘタリ然シテ我計畫ニ依レハ其最モ短キハ一ケ年半ニシテ之ニ次テハ二年ナリ此等ハ大體ニ於テ可ナルヘキモ之ヲ五年トスルモノ、如キハ寧ロ不穩當ナリト云フヘシ然シテ歐米ノ例ニ依レハ假令保險金削減期間中ノ死亡ナリトモ災害ニ原因スルトキハ保險金全額ヲ支拂フヲ常トス是レ保險金削減期間ノ制度ノ性質ニ照シテ誠ニ適當ナリト云ハサルヘカラス然ルニ我邦ノ計畫ニ於テハ此ノ點ニ關シ明瞭ナル規定ヲ設クルモノ殆ト無キナリ

五、保險料支拂ノ時期ニ付テモ簡易保險ニアリテハ其顧客タル下級人民ハ貯蓄ノ餘裕ト貯蓄ノ思想ノ乏シキモノナレハ保險料ノ支拂ハナルヘク之ヲ多ク分割シ且ツ其收入アリタル時ニ徴收セサルヘカラサルコトハ既ニ第五章ニ述

ヘタリ今從來ノ計畫ヲ見ルニ毎月拂トスルモノ多シ唯半ケ年拂若クハ三ケ月拂ニ限ルモノアリト雖トモ斯ノ如キハ寧ロ簡易保險ノ性質ニ反スルモノト云フヘシ又既ニ第十五章ニモ述ヘタル如ク我普通保險ニアリテハ月拂ヲ認ムルモノ多キヲ以テ此點ニ於テ月拂ハ簡易保險ノ特色ナリト云フヲ得ス然シテ我邦ニ於ケル下級人民ニ對スル賃銀支拂ハ月拂ヲ以テスルモノ多シト雖トモ亦半ケ月拂若クハ日拂ナルモノ少カラス故ニ單ニ月拂ヲ認ムルノミニテハ半ケ月拂若クハ日拂ノ賃銀ヲ受クル下級人民ハ事實上殆ント簡易保險事業ノ恩澤ヲ受クル能ハス又單ニ月拂ノ方法ヲ認ムルトスルモ毎月一回一定ノ保險料ヲ拂込マシムルヨリ任意ニ豫メ其將來ノ保險料ヲモ拂込ミ得ル方法ヲ具フルコト下級人民ニ對シテ親切ナリト云フヘシ故ニ此二點ニ關シテハ例ハ郵便切手任意貼付ノ方法等ノ如キ相當ノ效果ヲ有スルモノナルヘシ總テ此項ニ關シテモ尙ホ一應研究スルノ餘地ナシト爲ス能ハサルナリ

六、保險料支拂ノ方法ニ關シ歐米ノ簡易保險ニアリテハ事業ノ性質上集金ノ方法ヲ用フ英國政府ノ郵便簡易生命保險カ失敗シタルハ此集金ノ方法ヲ缺キ

タルニ依ル假令之カ爲メ保險料ヲ高價ナラシムルモ亦止ムヲ得サルモノナリ此等ノ事ハ既ニ第五章及第七章等ニ於テ之ヲ詳述セリ然ルニ我計畫ニアリテハ此方法ヲ認メタルモノナク寧ロ會社ノ本店支店其他代理店等會社ノ指定シタル場所ニ持參シテ支拂フヘキモノナリト明言シタルモノ多シ唯或一ツノ會社ハ保險料徴收ノ爲メ集金人ヲ差出スヘシト雖トモ假令集金人カ赴カサルコトアルモ之ヲ以テ會社ニ對抗スル能ハスト爲シ保險料ノ集金ハ會社ノ任意ニ於テ之ヲ爲スヘシト規定シタルモノアリト雖モ斯ノ如キハ却テ保險契約者ヲシテ過ラシムルモノナリ保險契約者ハ集金人ノ來ルヲ待チツ、保險料ノ支拂ヲ延期シ居リタルニ單ニ會社ノ都合上集金人ヲ差出サ、リシ場合ニ於テモ尙ホ保險契約者ハ其不拂ノ責ニ任セサルヘカラスト主張セラルヘキヲ以テナリ故ニ斯ノ如キ規定ハ誤解ヲ生セシメ易キ點ニ於テ寧ロ排斥セサルヘカラスト尙ホ保險料集金ノ點ニ關シテハ歐米ニ於ケル簡易保險ノ實情ニ照シ我邦ニ於テモ慎重ニ之レヲ研究スルコトヲ要ス我從來ノ計畫ハ既ニ十分ナル研究ヲ爲シタル結果ナリヤ甚タ疑ハサルヲ得ス

七、保險料ノ算定ニ付テモ簡易保險ノ性質上種々特色アリ其純保險料ヲ算定スルカ爲メニハ國民死亡表ヲ基礎トスルヲ常トシ其附加保險料ノ算定ニ付テモ種々注意セサルヘカラサルコトモ亦第七章等ニ於テ詳論セリ然ルニ後ニ述フル如ク我計畫ニアリテハ何レモ外國ニ於ケル選擇死亡表ヲ基礎トシテ純保險料ヲ算出シ何等ノ斟酌ヲモ爲スコトナシ然シテ附加保險料ニ於テ或ハ純保險料ノ七割五分ヲ課シ或ハ三割ヲ課セリ七割五分ヲ課スルニ付テハ如何ナル點ヲ斟酌シテ斯カル率ヲ定メタルヤ明ナラス殊ニ三割ノ如キハ甚タ低率ナラサルカ疑ハサルヲ得ス既ニ第十五章ニ述ヘタル如ク我普通保險ノ狀況ニアリテモ單ニ營業費ノミカ事實上全保險料ノ三割以上ヲ占メ居ルヲ以テナリ從テ此點ニ關シテモ亦再應ノ研究ヲ必要ナリト信ス

八、無診査ハ簡易保險ノ特色ナリトハ一般ニ稱セラル、所ナレトモ必シモ絶對ニ之ヲ爲サ、ルニアラス少クトモ視診ノ方法ヲ採ルモノ多ク現ニ米國メトロポリタン會社ノ「メヂカル・インスベクタ」ノ如キ比較的詳細ニシテ且代理店ヲシテ監視ノ責任ヲ帶ハシムルナリ唯簡易保險ハ普通保險ニ於ケルカ如キ詳

細ナル醫的診査ヲ行ハスト云フノミ殊ニ簡易保險ニテモ比較的金額ノ高キモノニアリテハ普通保險ト同様ナル診査ヲ行フコト既ニ第五章等ニ於テ詳述シタリ然シテ我計畫ニ依レハ此點ニ付何等ノ方法ヲ採ラヌシテ無診査ヲ絕對ト爲セルモノアリ又一定ノ年齡以上ニシテ一定ノ金額ヲ超ユルモノニ對シテハ醫的診査ヲ行ヒ且代理店又ハ其知人ヲシテ健康狀態ニ付證明ヲ爲サシムル等ノ手段ヲ採ルモノモアリ然ルニ我邦ノ普通保險ノ狀況ニ依ルニ未タ確實ナル證明材料ヲ有セスト雖トモ所謂醫的診査ハ粗略ニ傾キ易ク之カ爲メ契約後短期間ニ於テ死亡ヲ生スル傾少カラストノ說モアル程ナルカ故ニ今同一ノ事業ノ狀況ノ下ニ無診査ヲ絕對ニ行フトセハ其結果ハ或ハ恐ルヘキモノアラシカ疑ハサルヲ得ヌ從テ此點ニ付テモ尙ホ十分研究スルノ餘地アリト信ス

九、死亡表ニ付テモ簡易保險ニアリテハ其計算ノ基礎トシテ選擇死亡表ヲ用フルノ例外ナキニアラスト雖トモ原則トシテハ國民死亡表ヲ使用スルノミナラス又事業ノ性質上之ヲ使用スヘキモノナルコトハ既ニ第五章ニ於テ述ヘタリ我邦ノ計畫ニアリテハ悉ク歐米ノ經驗ニ於ケル選擇死亡表ヲ基礎トシテ用

ヒ居ルナリ元來我邦ニ於テハ我邦ノ經驗ニ基ク選擇死亡表ニシテ一般ニ用フル、モノ少ク普通保險ニ於テモ多クハ歐米ノ經驗ニ依ル選擇死亡表ヲ用フル有様ナルノミナラス亦國民死亡表ト稱シ得ルモノモ存セサルヲ以テ我計畫ニアリテ選擇死亡表ヲ用フルコトハ必シモ非難スル能ハス然レトモ何故ニ外國ノ國民死亡表ヲ基礎トスルコトナクシテ選擇死亡表ヲ使用シタルカニ付テハ何等ノ説明ヲモ聞カサルナリ又假ニ外國ノ選擇死亡表ヲ採用スルニ當リテモ之ヲ我簡易保險事業ノ基礎トシテ使用スルニ際シ何等ノ斟酌ヲ加フルコトナクシテ可ナルヘキヤ若シ斟酌ヲ加フルトセハ如何ナル程度ニ於テ之ヲ爲スヘキヤ等ノ問題ニ付テモ説明ヲ有セサルナリ唯我計畫ノ中外國ノ選擇死亡表ヲ用フルカ故ニ我簡易保險ノ死亡率ハ之ヨリ高度ナルヲ豫想セサルヘカラサルヲ以テ英國十七會社表ニ對シ一割五分ノ割増ヲ爲シテ基礎トシタリト辯明シタルモノアレトモ其一割五分ト爲シタル根據ニ付テハ別段ノ説明アラサルナリ尤モ此等ノ問題ハ生命保險ノ數理的技術ノ專問ノ研究ニ俟ツヘキモノナレトモ我計畫ニ於テハ十分之ヲ研究シタル結果ナリト云ヒ得ヘキヤ甚タ疑ハ

サルヲ得ス

十、保険料不拂ニ因ル契約ノ失效ノ多大ナルコトハ簡易保険事業ノ性質上ノ弱點ニシテ且ツ弊害多キモノナルカ故ニ歐米ノ學者ハ之カ豫防及ヒ其救済ニ關シ法律ノ規定其他ニ付種々研究ヲ爲シツ、アルコトハ既ニ第七章、第十一章及第十二章等ニ於テ之ヲ述ヘタリ然シテ我計畫ニアリテハ失效豫防ニ關シテハ猶豫期間三十日ノ制ヲ認メタリ此制ハ普通保険ニ於テモ一般ニ採用セラル、所ニシテ特ニ簡易保険ニ付研究アリタル結果ト云フ能ハサルヘシ其他失效豫防ニ付キ最モ有效ナルヘキ失效豫告及保険料集金等ニ關シテハ何等ノ規定ナシ其規定ナキハ十分ノ研究ヲ爲シタル結果ナルヘキヤ疑ハサルヲ得ス

十一、保険料不拂ニヨル失效ノ結果ヲ救済センカ爲メニハ契約ノ復活、解約返戻金ノ支拂及ヒ拂濟證券振替發行等ノ手段アルコト第十二章ニ述ヘタリ然シテ契約ノ復活ヲ許スニ付テモ成ルヘク之ヲ容易ナラシメンカ爲メ被保險者ノ健康状態ニ不都合ナキ限リハナルヘク復活期間ヲ長カラシムルコト并ニ復活ノ爲メ別段ノ費用ヲ課セサルコト等ハ歐米ノ學者ノ希望スル所ナリ我計畫ニ

於テハ普通保険ニ於ケルト殆ント同様ノ程度ニ於テ復活ノ制度ヲ認ム即チ失效後一ケ年ヲ經過セサル間ニ契約ノ復活ヲ望ムトキハ被保險者ノ身體ニ不都合ナキ限リ之ヲ許スナリ此復活期間ヲ一ケ年トシタルハ稍短ニアラサルカ會社ノ爲メニハ其期間ノ短キヲ望ムヘキナレトモ簡易保険ノ弱點タル失效ノ結果ヲ救済セントスル希望ヨリスレハ一層之ヲ延長スル必要アラサルカ現ニ外國ニ於テモ簡易保険ノ復活期間ハ無期限トナスヘシト主張スルモノサヘアルナリ又失效ノ結果ノ救済トシテ保險契約者ニ解約返戻金ヲ支拂フヘク殊ニ契約後ナルヘク短期間ニ於テ且ツナルヘク多額ヲ支拂ハシメントスルハ學者ノ希望スル所ナルコト亦前述シタルカ如シ然ルニ我計畫ニ依レハ多數ハ五年以後ニ於テセントスルハ此希望ニ添ヒタルモノト云フヲ得ヘキカ又返戻金額ノ割合ニ於テモ普通保険ヨリ寧ロ低率ナルカ如シ最モ會社カ此事業ヲ經營スルニ當リ斯ノ如クセサルヘカラサル事情モ種々アルヘシト雖トモ少クトモ前記ノ希望ニハ適セサルナリ然シテ解約返戻金ニ付テハ保險契約者自ラ其請求ノ權利ヲ行使セサレハ收得スル能ハサルヲ以テ下級人民ハ動モスレハ其不識若

タハ懈怠ニヨリ事實上其權利ヲ拋棄スル傾向多キヲ以テ寧ロ其金額ヲ以テ一時拂保險料ニ振替ヘ拂濟證券ヲ發行スルコト簡易保險ノ性質上望マシキ所ナリトハ是レ亦第十一章ニ於テ述ヘタル所ナリ我計畫ニ依レハ多數ハ此制度ヲ認メサルナリ故ニ保險料不拂ニ因ル契約失效ノ結果ノ救濟ニ關シテモ尙ホ講究ノ餘地アリト云ハント欲スルナリ

十二、營業費節約モ簡易保險ノ大問題ナリ簡易保險ニアリテハ種々ナル事情ニ依リ營業費ノ比較的多額ナルヘキ理由ヲ有ス殊ニ我邦ニ於テハ普通保險ト或範圍ニ於テ競争ヲ爲サ、ルヘカラサルニ於テヲヤ此等ノ事情及之ニ對スル救濟論等ニ付テハ第七章及第十二章等ニ於テ述ヘタル所ヲ以テ詳ナリト信ス然ルニ我計畫ニ於テハ此點ニ關シ注意研究ヲ爲シタリト認ムヘキ痕跡タモ發見スル能ハス斯ノ如クシテ普通保險ト競争シテ確實ナル簡易保險事業ヲ經營センコトヲ望ムハ寧ロ不當ナルヘシ

其他簡易保險ノ性質上及我邦ノ實情上研究セサルヘカラサル問題少カラヌ現ニ前章ニモ述ヘタル代理店組織ノ改良及人意的危險ノ回避等ニ關シテ我計畫

ハ何等ノ講究ヲモナサ、ルモノ、如ク其他一々之ヲ枚舉スル必要ナカルヘシ即チ本章ニアリテハ第七章簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ニ第十二章外國ニ於ケル簡易生命保險事業改良意見並ニ第十六章我邦ノ實情ニ基ク簡易生命保險事業ノ弱點等ノ項ニ述ヘタル問題ニ關シ尙ホ簡易保險事業上重大ナル問題ニ付テ十分ノ講究ヲ爲スヘキ餘地アルコトヲ信シ我邦ニ於テ爲サレタル計畫ニ對シ一應ノ批評ヲ爲シタルモノナリ

第十八章 結論

一六四

一、以上記述スル所十七章之ニ依リテ簡易生命保險事業ニ關スル大體ノ所見ヲ述ヘ得タリト信ス即チ第一章乃至第七章ニ於テ簡易生命保險ノ意義ヲ説明スルト共ニ其普通生命保險及勞働保險ニ對スル特色ヲ對照シ且ツ其本來ノ性質上ノ弱點ヲ記述セリ第八章乃至第十章ニ於テ外國ニ於ケル簡易生命保險事業ノ狀況ノ概略ヲ述ヘ第十一章及第十二章ニ於テ簡易生命保險ニ關スル外國ノ法令並ニ學說ノ一斑ヲ記シ更ニ第十三章乃至第十五章ニ於テ我邦ニ於ケル簡易生命保險ノ基本的思想並ニ勞働問題ノ概略ヲ説キテ簡易生命保險事業ハ下級人民ニ對スル經濟上及社會政策上ノ理由ヨリ其實施ノ必要アルコトヲ明ニシ尙ホ進テ第十六章及第十七章ニ於テ我邦ノ實情ニ基キ特ニ簡易生命保險事業ノ弱點トシテ舉クヘキモノヲ論シ且ツ從來我邦ニ存スル此事業ノ計畫ニ對シ一應ノ批評ヲ試ミタルナリ然シテ本章ニ於テ結論トシテ述ヘント欲スル

所ハ簡易生命保險事業ノ實施ニ關スル詳細ナル設計ニアラス唯簡易生命保險事業ハ本來特種ノ性質ヲ有スルト共ニ上述ノ理由ニ依リ我邦ニ之ヲ實施セントセハ亦我邦ノ實情ニ基キ種々研究スヘキ問題ノ少カラサルコトニ鑑ミ事業ノ實行ニ關スル大體ノ方針ヲ論セントスルナリ

二、簡易生命保險事業ノ組織ハ外國ノ實例ニ於テモ種々アルコト第十章ニ於テ述ヘタリ即チ其最モ多キモノハ私設營利會社ナリト雖トモ官營組織モ亦少カラス英國ノ郵便簡易生命保險新西蘭ノ養老金制度其他獨逸及瑞西等ニ於ケル特種ノ組織ノ如キ是レナリ故ニ簡易生命保險事業ハ其本來ノ性質上私設會社カ經營スヘキモノナリト云フコト能ハス如何ナル事業組織カ適當ナルヤハ其邦ノ事情ト其事業ニ對スル希望トニ依リテ異ラサルヘカラス

三、今實情ニ基ク利害關係ハ暫ク之ヲ措テ問ハス單純ニ理想ヨリ之ヲ論スレハ生命保險事業ハ官業組織ヲ以テ之ヲ經營スルヲ以テ至當ナリト信ス依テ其理由ノ重ナルモノヲ簡單ニ論述セントス

イ、抑モ生命保險事業ハ一般多數ノ人民ニ對シ其生活上必要缺クヘカラサ

一六五

ル組織ニシテ多數ノ人ニ對シ長期ニ亘リ巨額ノ負擔ヲ爲スモノナリ其事業ニシテ一旦失敗センカ死後若クハ老年ノ計ヲナサンカ爲メニ支拂ヒ來リタル保險料ハ全ク水泡ニ歸スルモノニシテ個人經濟上ヨリ見ルモ其慘害ノ甚シキ斯ノ如ク悲惨ナルモノ他ニ其類ヲ見サルヘシ故ニ其事業ノ主體タルモノハ其基礎永久的存在ニ適シ且ツ大規模ノ事業ヲ營ムニ足ルモノナラサルヘカラス然シテ斯ノ如キモノハ即チ國家自體ニ及フモノナキコト何人モ之ヲ疑ハサルヘシ

□、保險ノ主旨ハ避クヘカラサル危險ニ遭遇シタル場合ニ於ケル前後ノ計ヲ爲スニアリ人ニハ死亡アリ物ニハ損害アリ吾人ハ死亡及損害ニ關シ之ヲ豫防シ抑壓スルニ努ム例ハ生命ニ關シテハ傳染病豫防法アリテ之ヲ豫防シベストノ如キ一旦發生スレハ燒拂ノ如キ極端ナル手段ヲ講シテモ尙ホ之ヲ抑壓スルニ努ムルカ如キ是レナリ然レトモ人ノ死亡ハ到底免ル能ハス此ニ於テカ生命保險ノ制度起ルナリ然シテ今ノ國家ハ此豫防及抑壓ニ關シテ司法及行政ノ手段ニ依リ個人ノ自由ヲ拘束シ且巨額ノ費用ヲ投シテ種々ナル

手段ヲ實行シテ怪マス即チ豫防及抑壓ニ關シテ既ニ然リトセハ善後ノ計タル保險ニ關シテモ國家カ一臂ノ力ヲ致スハ寧ロ國家ノ性質上正ニ爲スヘキ所ニアラスヤ况ヤ豫防及抑壓ノ方法ト相連絡スルヲ得ハ保險事業ノ難問題タル人意的危險若クハ保險詐欺等ニ關シ相當ノ手段ヲ講スルヲ得テ保險事業ハ最モ便宜ニ經營セラルヘキニ於テヲヤ

ハ、又保險事業ハ官業組織ヲ以テ之ヲ經營スルニ於テハ無用ノ競争ヲ排シ事務ヲ統一スルコトヲ得ルカ故ニ營業費ヲ節約スルコトヲ得ヘク從テ多數ノ人民ハ保險ノ利益ヲ廉價ニ享受スルコトヲ得ヘキ理ナリ况ヤ生命保險ノ如キハ大多數ノ人民ノ生活上缺クヘカラサル必要ニ應スルモノナレハ全然營利ヲ目的トスル事業トシテ經營セラルヘキ性質ノモノニアラサルニ於テヲヤ

ニ、郵便、鐵道及電信ノ如キ國民一般ニ共通ノ利害ヲ有スルモノニシテ基礎確實ナラサルヘカラサル事業ハ國家自ラ之ヲ經營スヘキモノナルコト理論トシテ何人モ之レヲ爭フモノナカルヘシ生命保險ハ國民ノ大部分ヲ占ムル

中流以下ノ人民ニ必要ニシテ缺クヘカラサル事業ナルコトヲ知ルモノハ是レ亦國家自ラ經營ヲ爲スヘキモノナルコトヲ認ムルニ吝ナラサルヘシ唯今日未タ生命保險思想カ幼稚ナル故ニシテ國民一般ニ普及セサル故ヲ以テ郵便等ニ比シ性質上其範圍ニ狭マルヲ主張シテ以テ此議ニ反對スルモノ、如キハ生命保險本來ノ性質ヲ知ラサルモノニシテ殆ト反駁ノ價値ナカルヘキナリ

四、生命保險事業ハ理論上官業組織ヲ以テ之ヲ經營スヘキモノナルヤ否ニ關シ尙ホ詳細ニ論スルニ於テハ種々研究スヘキ題目アリト雖トモ單ニ上述スル所ニ依リテモ保險事業殊ニ少クトモ生命保險事業ハ國家之ヲ經營スヘキ性質ヲ有スルモノナルコトヲ主張スルニ足ルヘシ殊ニ簡易生命保險事業ニ至リテハ其特質ニ基キ一層其理由ヲ強ムルモノアリ今其重ナルモノヲ簡單ニ論セントス

イ、生命保險事業ハ多數ノ人ニ對シ長期ニ亘リ多大ノ負擔ヲ爲スモノナリ故ニ其一旦ノ蹉跌ハ個人經濟上及國家經濟上甚シキ慘害ヲ醸スモノナルコト再ヒ爰ニ喋々スルヲ要セサルヘシ故ニ其事業ノ基礎ハ最モ確實ナルコトヲ期セサルヘカラス然シテ簡易生命保險ハ一層多數ノ人民ニシテ且ツ其經濟上ノ地位劣等ナルモノニ對シテ經營スルモノナルカ故ニ事業ノ基礎ノ確實ヲ必要トスルコト普通保險ニ比シテ倍蓰スルモノアリ殊ニ既ニ第十五章ニ述ヘタル如ク下級人民ニ對スル經濟上及社會上必須ナル施設トシテ之ヲ經營スルニ當リテハ其一旦ノ失敗ハ單ニ個人ノ受クル慘害ノ甚シキノミナラス國家百年ノ大計ニモ累ヲ及ホスヘキモノナレハナリ

ロ、生命保險事業ハ大組織ヲ以テ經營スルニアラサレハ其效果ヲ奏シ難キコトハ從來ノ學說ト實驗ノ等シク認ムル所ナリ殊ニ簡易生命保險ニアリテハ小額ナル保險料ヲ支拂フ大多數ノ保險契約者ヲ有スルヲ以テ一層大組織ヲ以テスルニアラサレハ事業ヲ安全ニ經營スル能ハス從ツテ簡易生命保險ハ歐米ニ於ケル學說ニ於テモ亦事實ニ於テモ其國內ニ於テ獨占的ニ大規模ヲ以テ經營セラル、ニアラサレハ成效ヲ望ミ難キコトノ明ナルハ既ニ第八章第九章及第十二章ニ於テ之ヲ述ヘタリ即チ英國ニアリテハ其工業保險ハ

殆ト「ブルデンシアル」會社ニ、米國ニアリテハ「ブルデンシアル」及「メトロポリタ
ン」ノ二會社ニ集中シ獨逸ノ人民保險ハ「ビクトリア」及「フリードリヒ、ウキル」ヘ
ルム」ノ二會社ニ集中シ居ルナリ此等ノ獨占の大會社ニシテ始メテ此事業ノ
成效ヲ期シ得ルコトヲ明ニ反映シ居ルナリ又獨逸ニ於ケル人民保險改良建
議案ニ依レハ人民保險會社ノ獨占的統一ヲ爲スニアラサレハ十分ノ效果ヲ
奏スル能ハサルコトヲ主張シ居ルコトモ既ニ述ヘタリ斯ノ如ク簡易生命保
險事業ハ其性質上獨占的大組織ヲ以テ經營スヘキモノナルコトハ歐米ノ實
例及ヒ學說ニ於テ明ニ認ムル所ナリ然シテ此要求ニ應スルニ最も適當ナル
事業ノ主體ハ、官業組織ニ如クモノナキコト何人モ非認セサルヘシ

ハ、簡易生命保險事業ハ憫ムヘキ社會ノ下級人民ノ經濟上及社會上ノ必要
ニ基キテ其實施ヲ希望スルモノナリ故ニ此希望ニ適應セシメンカ爲メニハ
多少事業者ノ利益ヲ害スルモ忍ンテ其實行ヲ期シ以テ簡易保險ノ本來ノ效
果ヲ擧クルニ努メサルヘカラス即チ契約失效豫防ノ方法例ハ失效ノ豫告若
クハ保險料ノ「集金」ノ如キ或ハ失效契約ノ救濟ノ方法例ハ復活期間ハナルヘ

ク長カラシメ解約返戻金ハナルヘク多カラシメ若クハ拂濟證券振替ノ發行
ノ如キ出來得ル限リ下級人民タル保險契約者ノ便宜ヲ計ラサルヘカラス其
他我邦ノ事情ニアリテハ國民死亡表ノ欠缺其他ノ事情ニ依リ保險料ノ如キ
モ比較的高價トナルヘキ場合ニ於テハ事業ノ主體ハナルヘク保險料割戻若
クハ拂濟保險金額累加等ノ方法ニ依リ保險契約者ニ之ヲ還付スルノ方法ヲ
實行センコトモ亦之ヲ望マサルヲ得ス即チ簡易生命保險事業ハ相當ノ程度
ニ於テ保險契約者ニ對シ恩惠的ナルヲ望マサルヲ得ス故ニ一般ノ營利的私
立會社ヲシテ之ヲ營マシムルヲ欲セサルナリ

二、簡易生命保險事業ニアリテハ保險料ハ保險者自ラ集金人ヲ派出シテ之
ヲ徵集セサルヘカラス又下級人民ノ貯蓄心ノ全部ヲ利用センカ爲メニハ任
意拂込ヲ認ムルノ手段モ之ヲ採ラサルヘカラス然シテ一方ニアリテハ營業
費ヲ節約シ從テ保險料ヲ低廉ナラシムルコトヲ要スルモノナリ此間ニ處シ
テ最も便宜ナル方法ハ郵便局ト聯絡シテ其幫助ヲ受クルコトニアルヘシ又
不健康體ノ回避並ニ人意的危險ノ防止ノ爲メニハ或程度マテハ警察力ノ援

助ヲ受クルコト必要ナル場合少カラス此等ノ事情ニ關シテハ國家自ラ簡易
 保險事業ヲ營ムヲ以テ最モ適當トスヘク之ニ依リテ事業ハ安全ニ且ツ廉價
 ニ經營セラルヘキナリ

本、我邦ノ勞働問題ニ關シ勞働保險ハ固ヨリ必要ナリト雖トモ甚タ高價ニ
 シテ今日直ニ之カ實施ヲ希望スル能ハサルコトハ第十四章及第十五章ニ於
 テ述ヘタル所ヲ以テ明ナリト信ス論者ハ我邦ノ現情ニ照シテ下級人民ニ對
 スル社會政策トシテ先ツ簡易保險ヲ實施スヘキコトヲ主張シタリト雖トモ
 決シテ勞働保險ノ必要ヲ忘ル、モノニアラス唯勞働保險ハ高價ナリ勞働者
 ニ對スル災害保險等ハ國家ノ補助若クハ企業者ノ負擔ノ多大ナルモノアル
 ニアラサレハ其效果ヲ奏シ難キコトハ既ニ述ヘタル如ク獨逸ノ勞働保險ノ
 狀況並ニ我邦ニ於ケル職工共濟組合ノ實情ニ照シテ明瞭ナリ然レトモ我國
 家及一般企業者ハ之カ負擔ニ堪ヘサルナリ故ニ我邦ニ勞働保險ヲ實施セン
 トセハ之カ補助ヲ支給スヘキ財源ヲ求メサルヲ得ス然シテ簡易生命保險事
 業カ營利ノ目的ニ於テモ十分ノ價值ヲ有スルモノナルコトハ英米獨ニ於ケ

ル大簡易保險會社ノ成績ニ於テ之ヲ認ムルコトヲ得ヘシ故ニ我邦ニ於テモ
 若シ其經營宜シキヲ得ハ相當ノ利源タルヘキヤ疑ヲ容レス勿論前述シタル
 カ如ク此事業ノ經營ハ恩惠的ニ施設セラレサルヘカラスト雖トモ尙ホ勞働
 保險實施ノ計ノ爲ニ利用センコトヲ望マサルヲ得ス假令簡易保險事業ノ利
 益ヲ以テ現實ニ勞働保險ノ保險料ヲ補給スルヲ得ストスルモ此事業カ既ニ
 發達シ其基礎定マリタル後ニ於テ勞働保險ヲ兼營セハ少クモ其事務費ノミ
 ニ於テモ多大ノ補助ヲ爲スモノアリト云フコトヲ得ヘシ故ニ今此事業ヲ開
 始スルニ當リテモ勞働保險ノ實施ノ爲メ多少ナリトモ便宜ヲ與フルノ源ト
 爲サシメオクコトヲ希望セサルヲ得サルナリ

五、以上述ヘタル如ク論者ハ理想ヨリ之ヲ論スレハ生命保險ハ其事業ノ性質
 上官業組織ヲ以テ經營スルコト至當ナリト信スルノミナラス殊ニ簡易生命保
 險事業ハ國家自ラ之ヲ施設スルノ必要ニシテ且ツ便宜ナルコトヲ一層主張セ
 ントスルモノナリ然レトモ今日我邦ニ於テ所謂官業組織ヲ以テ之ヲ經營セラ
 ル、ヲ望マス蓋シ我國ニ於テ所謂官業トハ政府ノ收入ヲ得ル目的ノ爲メニ之

ヲ行フモノナレハナリ簡易生命保險事業カ漸次發達スルニ至ラハ保險者ハ巨額ノ責任準備金ヲ有スルニ至ルヘキヲ以テ政府ハ其運用ニ關シ多少之ヲ財政上ノ利用ニ供シ若クハ相當ノ範圍ニ於テ事業ヨリ生スル利益ヲ於テ歲入ノ補助ト爲スカ如キ固ヨリ之ヲ拒マサルヘシト雖トモ全然政府ノ收入ヲ得ル目的ノ爲メニ此事業ヲ官營セントスルハ事業ノ本來ノ性質ニ反スルモノニシテ政策上ニ於テモ亦之ヲ否認セサルヲ得ス

然シテ假令收入ノ目的ト爲サ、ルモ今ノ行政組織ニ於テ尙ホ之ヲ官業ト爲スヘキヤニ就テハ尙ホ多少研究ノ餘地アリト信ス蓋シ今日ノ官業ナルモノハ大體ニ於テ一般行政組織ノ下ニ行ハレ且ツ特別會計ノ制ナキニアラスト雖トモ原則ニ於テ一般會計法規ノ羈束ヲ脱シ難ク從テ業務執行及財産運用ニ關シ私立會社ニ於ケルカ如ク圓滑ニシテ且ツ效果多カラシコトヲ望ム能ハス元來簡易生命保險事業ノ性質上ノ弱點ノ重ナルモノハ保險料ノ高價ナルニアリ其高價ナルコトハ事業ノ性質上誠ニ止ムヲ得サル所ニシテ之カ節約ヲ爲サント欲セハ營業費ノ爲メニスル附加保險料ニ於テスルヨリ殆ト其途ナキコトハ第七

章及第十二章ニ述ヘタル所ニ依リテ明ニシテ我國ノ事業ニ於テモ營業費ヲ節約スルト共ニ財産ヲナルヘク有效ニ運轉シ以テ下級人民ヲシテ廉價ナル保險ノ利益ヲ享受セシメサルヘカラスト信ス然ルニ今日ノ官業組織ニアリテハ前述ノ如ク事務ノ簡捷若クハ財産ノ利殖ニ關シ私立會社ニ劣ルモノアリトセハ一概ニ官業組織ヲ主張スル能ハサルナリ

其他簡易保險ハ知識劣等ナル下級人民ニ對スルモノナレハ法律規則ノ疑義、契約條項ノ履行其他ニ關シテモ事宜ニ適シタル措置ヲ採ルニ相當ナル餘地ノ存スルコトヲ必要トス然レトモ今日ノ官業組織ニ於テ此等ノ餘裕ヲ有スルヲ得ヘキカ疑ハサルヲ得ス

六、斯ノ如ク我邦ニ於ケル簡易生命保險事業ハ本來ノ理想トシテ國家自ラ之ヲ經營スルヲ望マサルヲ得ス然レトモ今日ノ官業組織ニハ前述シタル如キ事情アリ故ニ之ヲ改メ得ヘクシハ論者ノ最モ希望スル所ナリト雖トモ若シ到底之ヲ望ミ得サルニ於テハ寧ロ信用ノ確實基礎ノ鞏固、獨占的大組織並ニ非營利的施設等ニ關シ前ニ述ヘタル條件ニナルヘク適合スル會社組織ヲ實施スルヲ

以テ我邦ノ事情ニ關シ最モ適當ナルモノナリト主張セサルヲ得ス即チ論者ハ
 一種ノ私立會社ヲ特許シ國家ハ之ニ相當ノ補助ト便宜ヲ與フルト共ニ特別ノ
 監督ヲ勵行シ以テ經濟上及社會政策上重要ナル簡易生命保險事業ノ效果ヲ完
 全ニ舉ケンコトヲ切望セサルヲ得ス
 以上述ヘタル所單ニ大體ノ方針ニ過キス唯此方針ニ基キ詳細ナル設計ヲ爲ス
 コトニ付テハ之ヲ後日ニ讓ラサルヲ得スト雖トモ目下勞働問題工場法勞働保
 險法等ノ聲ヲ聞クト共ニ簡易生命保險事業ノ計畫漸ク多カラントスルニ際シ
 一應自ラ信スル所ヲ述ヘテ大體ノ方針ヲ決定スル議論ノ材料トナサンコトヲ
 希フニ外ナラス幸ニ微衷ヲ諒セラル、コトヲ得ハ望外ノ幸トスルノミ

明治四十一年三月十三日印刷

明治四十一年三月十六日發行

著作權所有 農商務省商工局

東京市京橋區築地二丁目廿一番地

印刷者 岡 功

東京市京橋區築地二丁目廿一番地

印刷所 株式會社 國光社

257
352

終

